



私、
義弟の

兄貴より
デカくて

アレ
で...
感じてる!

いい
だろ?

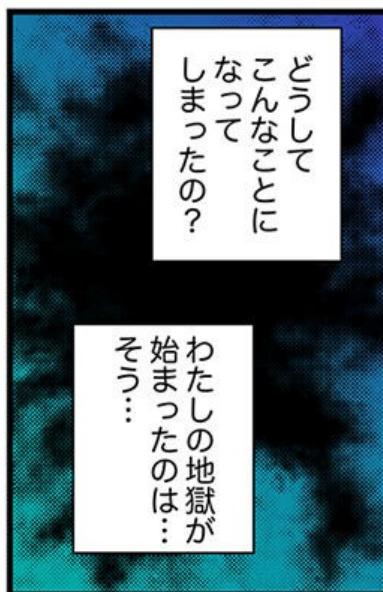
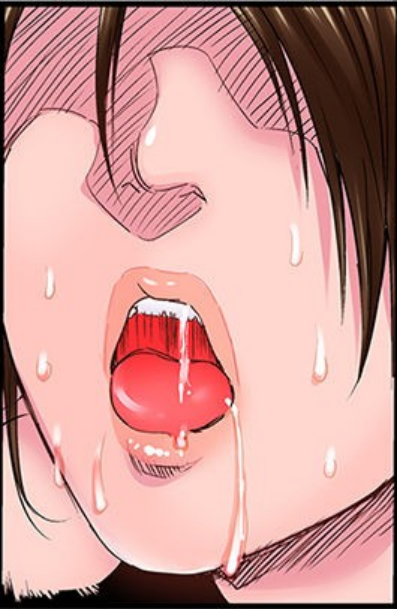
1

義弟に
後ろから
激突かれ...
しゅ

完全版

市井時計

エロマンガ島

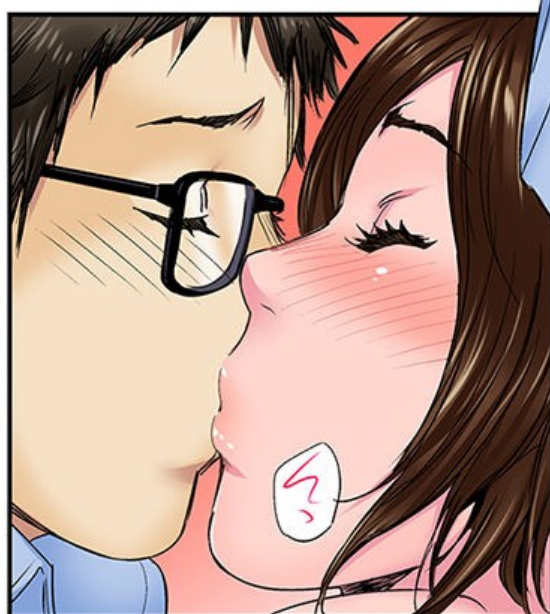
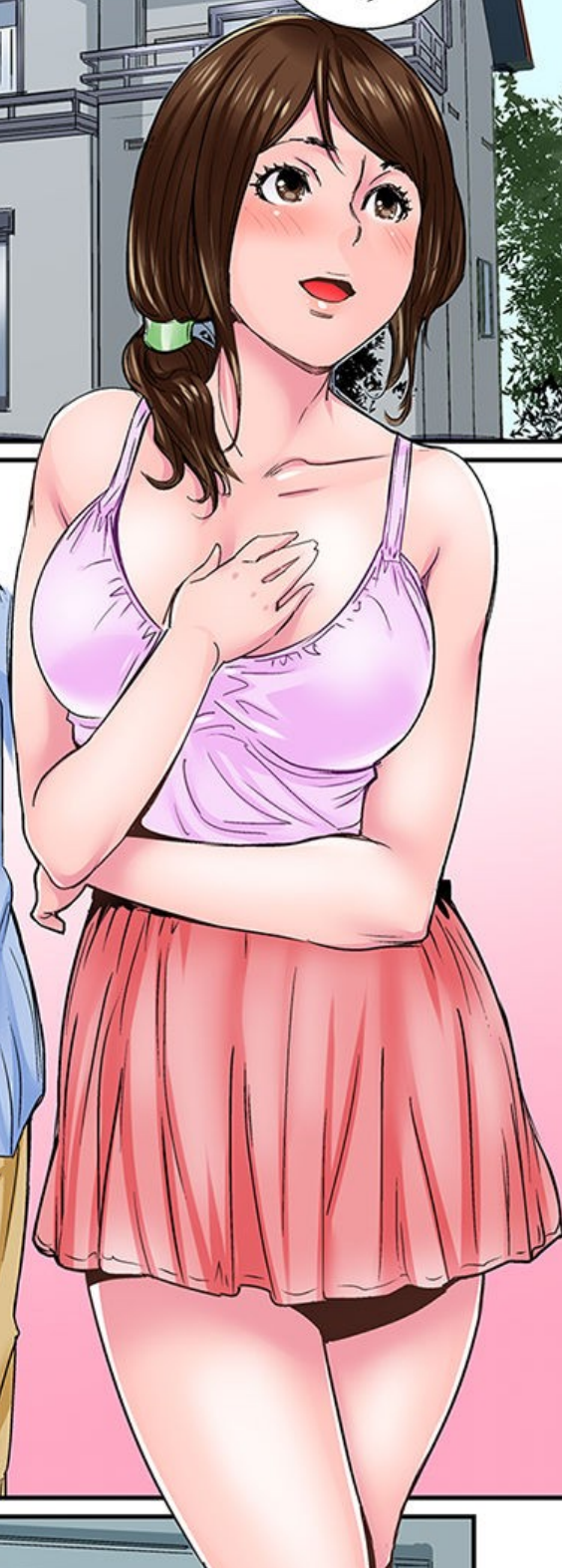


まるで
夢みたい

これが
わたしたちの
家なのね

まあ
ローンは大変
だけどな

あなた
わたし幸せよ

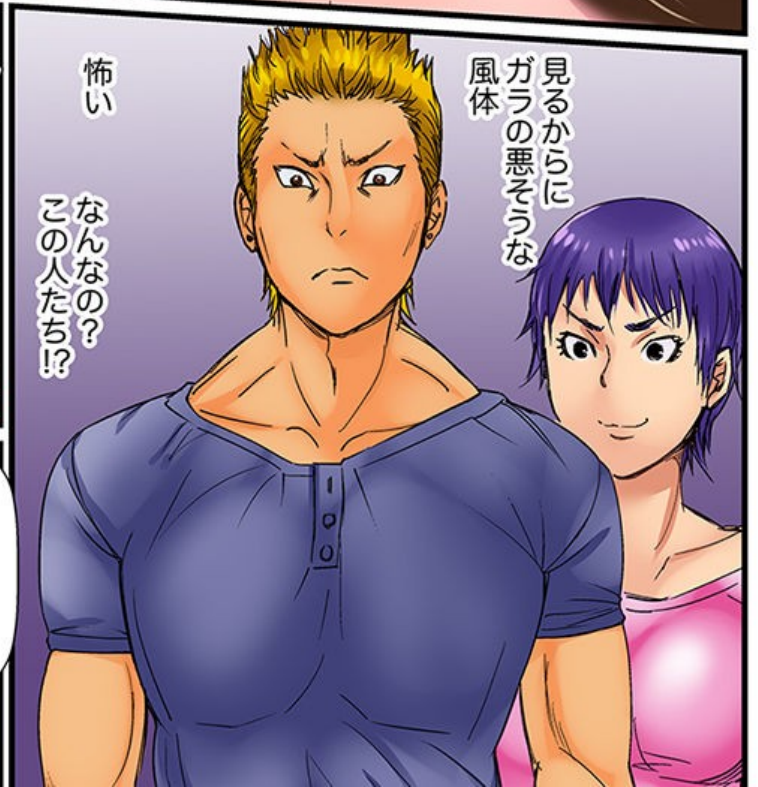
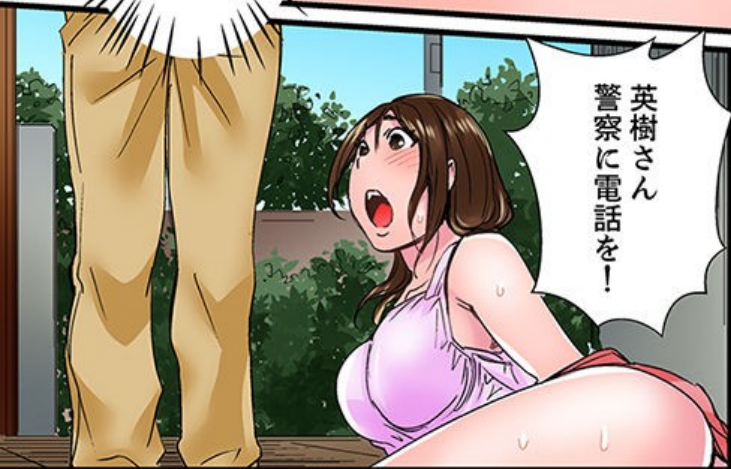
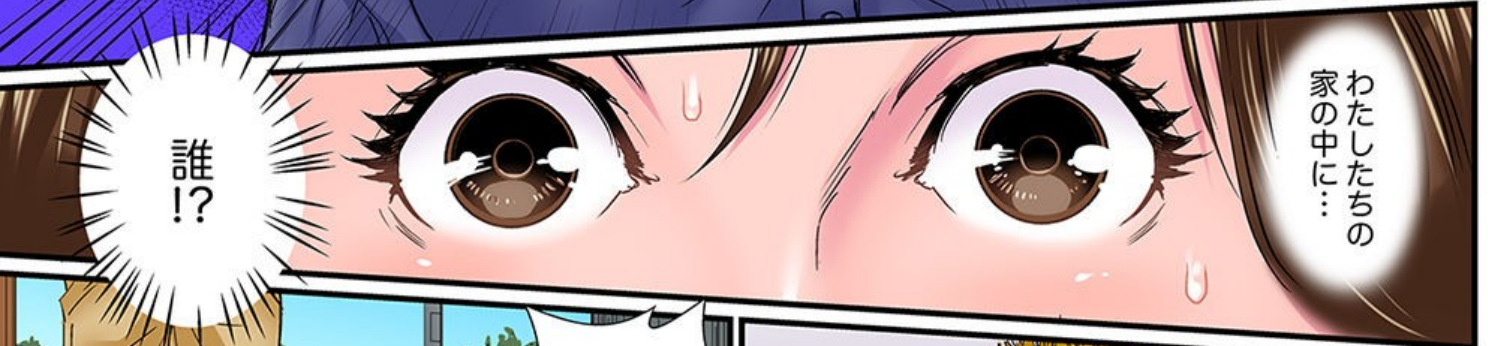
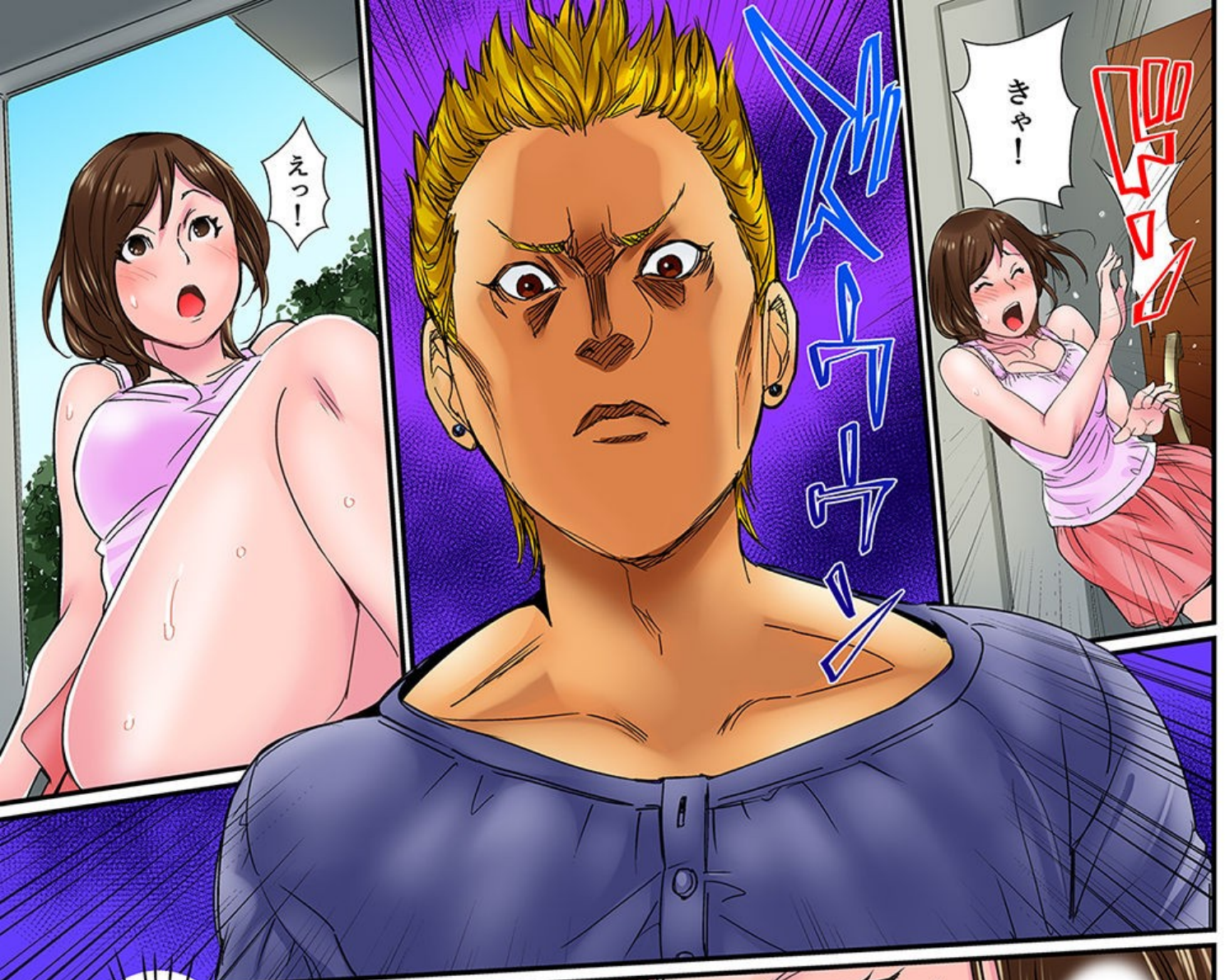


だから
マイホームの
購入は
念願だった

わたしたちは
そろそろ
子供をと
考えている

今日は
まさに人生
最良の日だわ







え？え？
どういう
こと？

拳二は無職に
なったばかりで
これから
職探し部屋探しを
するらしいんだ



暫く一緒に
住むことに
なるから



弟の拳二と
奥さんの
美奈さんだ
ほら
結婚式のときに
一度会ってる
だろ？



アタシら
住んでたアパートを
追い出され
ちゃってえ

すみませんね
義姉さん



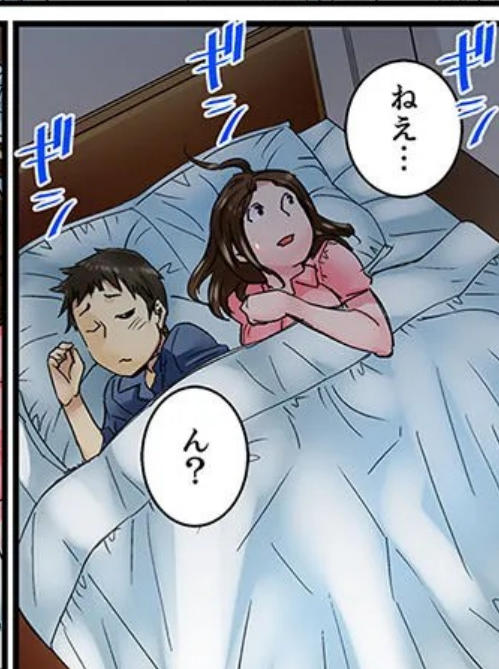
新築の
マイホームに
いきなり
同居：

しかも
それから
毎晩のように



えええ
えー！！

すまん
短い間だから
我慢してくれよ





え…
わたしが？



そういうの
苦手なんだよ
俺…
頼むよ
な！

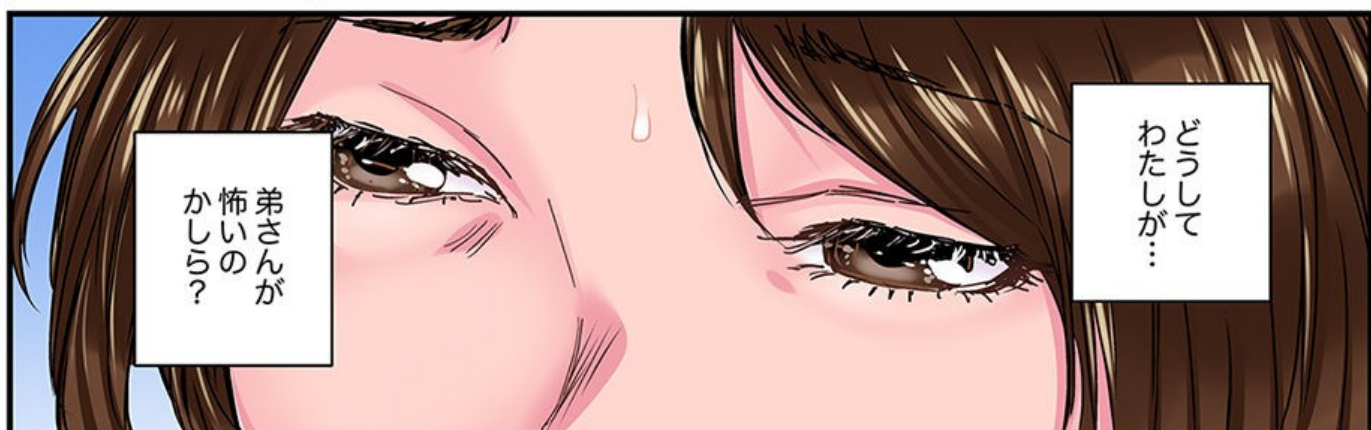


そう思うなら
お前が注意して
くれよ

うーん…

本当に
大丈夫
なの？

ハロワに
行くでもなく
毎日ゴロゴロ
してばかり



どうして
わたしが…

弟さんが
怖いのかしら？



ノック
してね



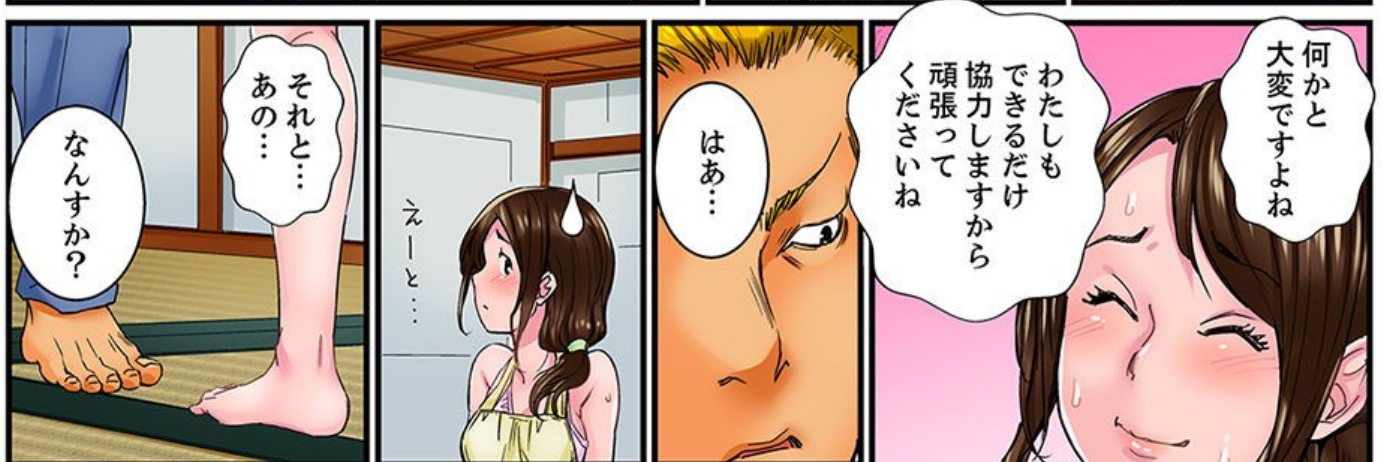
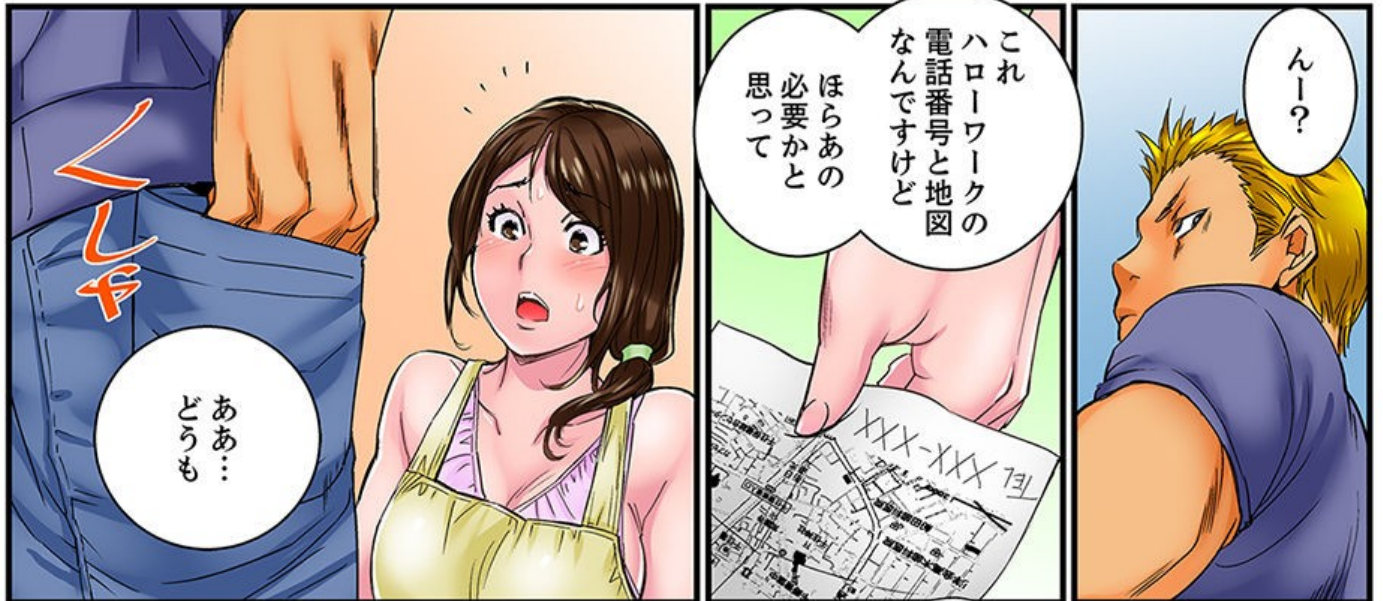
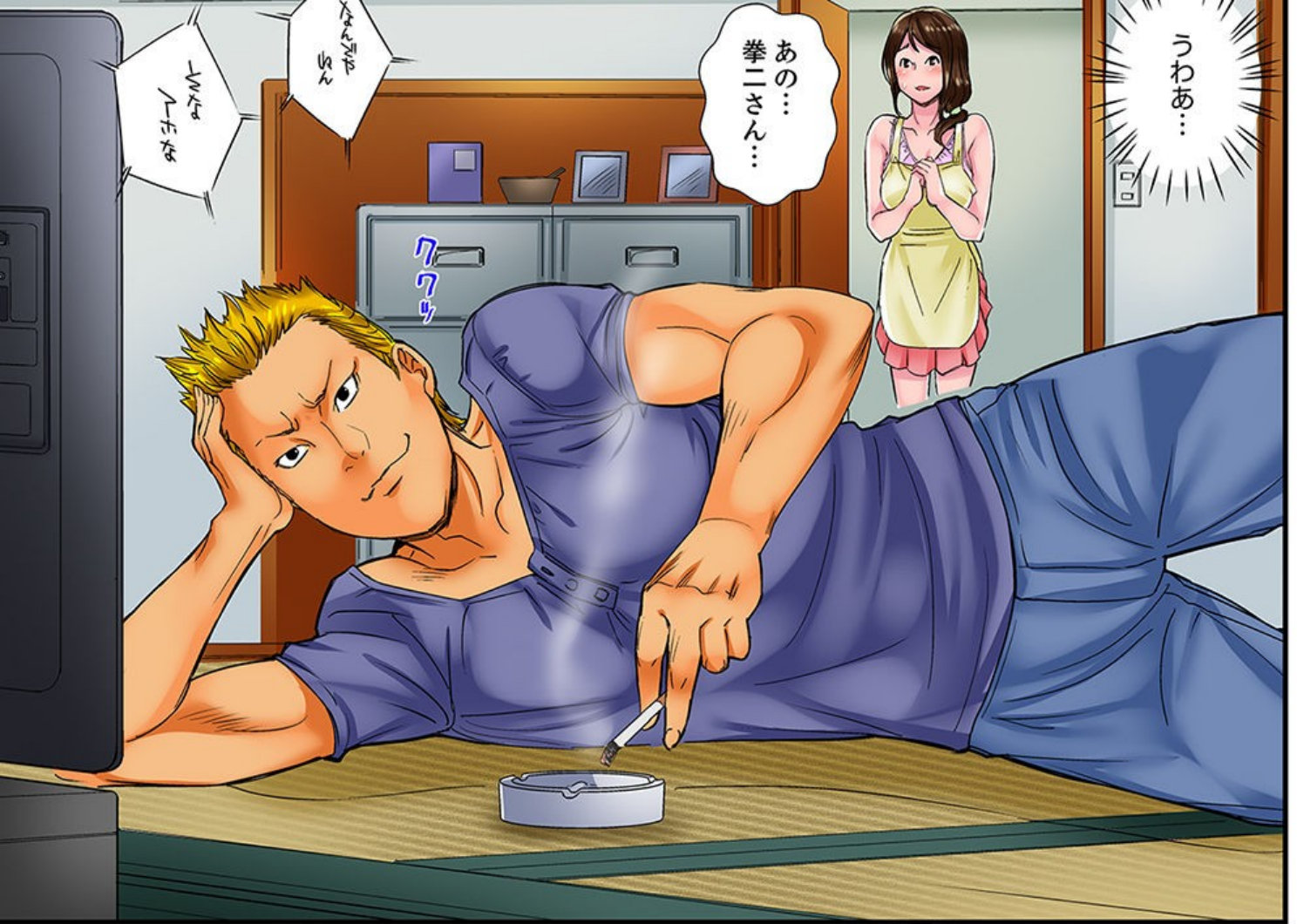
よし

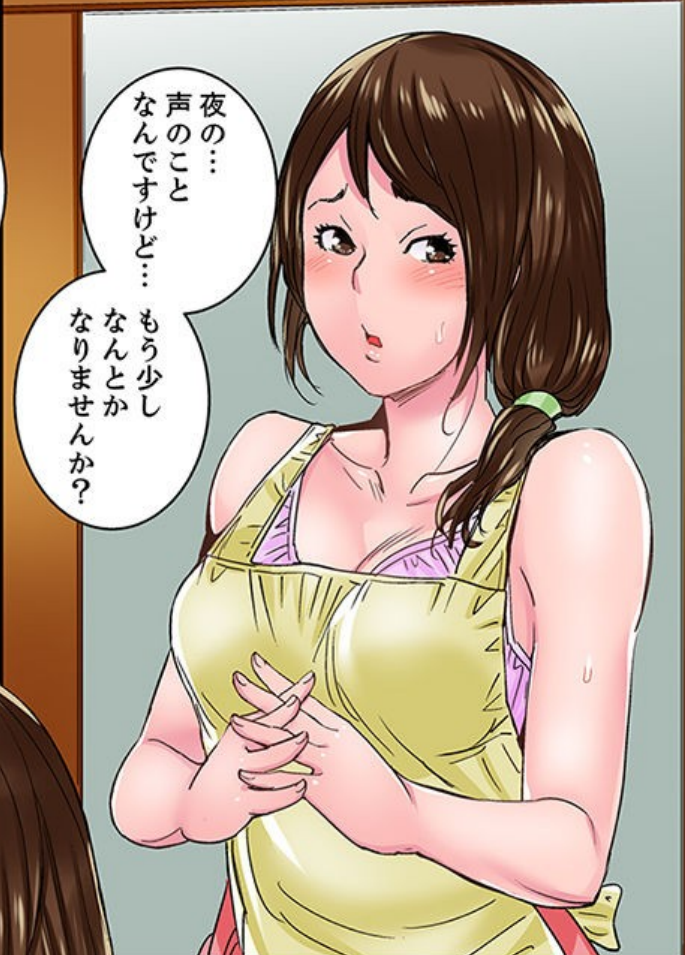


嫌な役
だなあ

でも
早く再就職
してもらって

英樹さんと
子作り
しなくっちゃ





夜の…
声のこと
なんですけど…
もう少し
なんとか
なりませんか？



声？
なーんの
ことっすか？

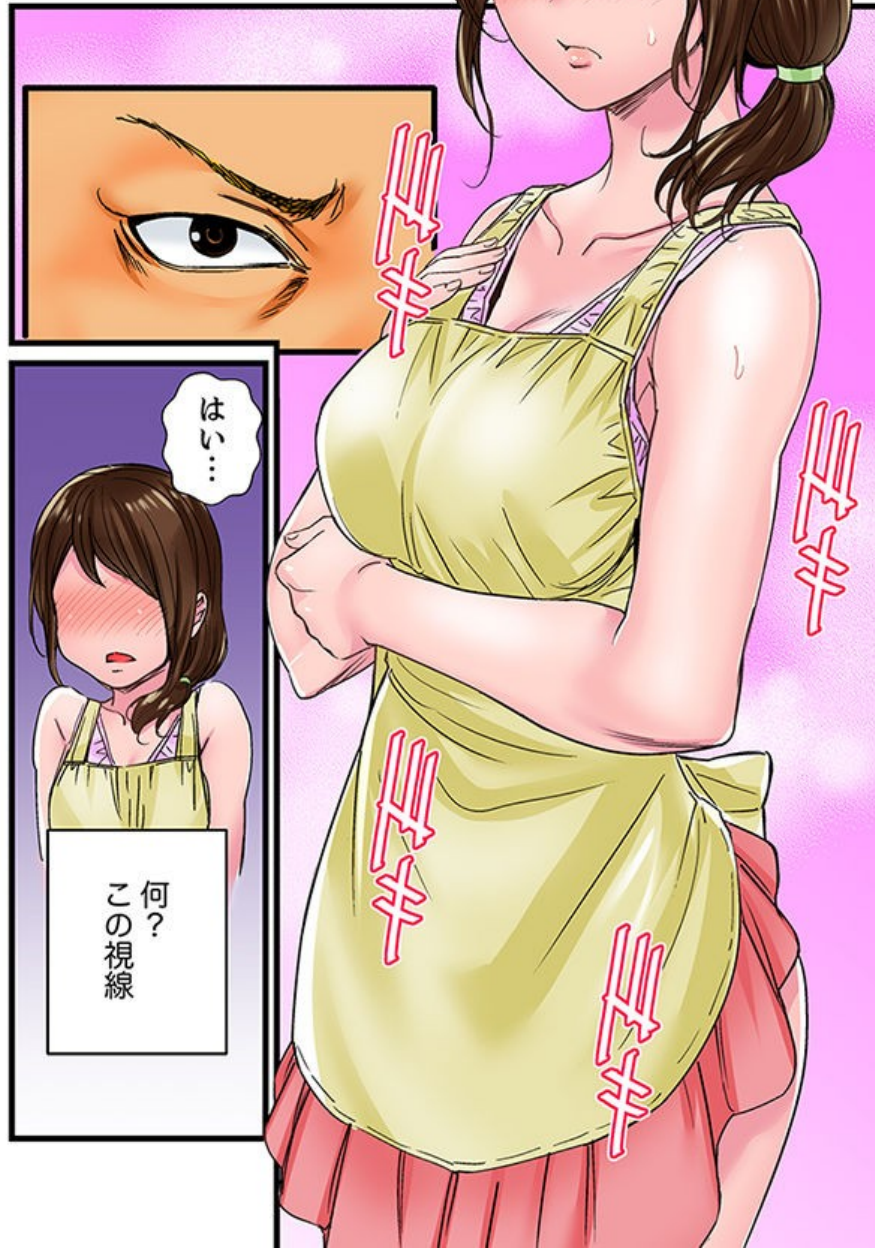


いえ…
だからあの…
夫婦の営みと
いうか…

ヤメヤメ



ニタリ



ヤメヤメ

ヤメヤメ

ヤメヤメ

ヤメヤメ



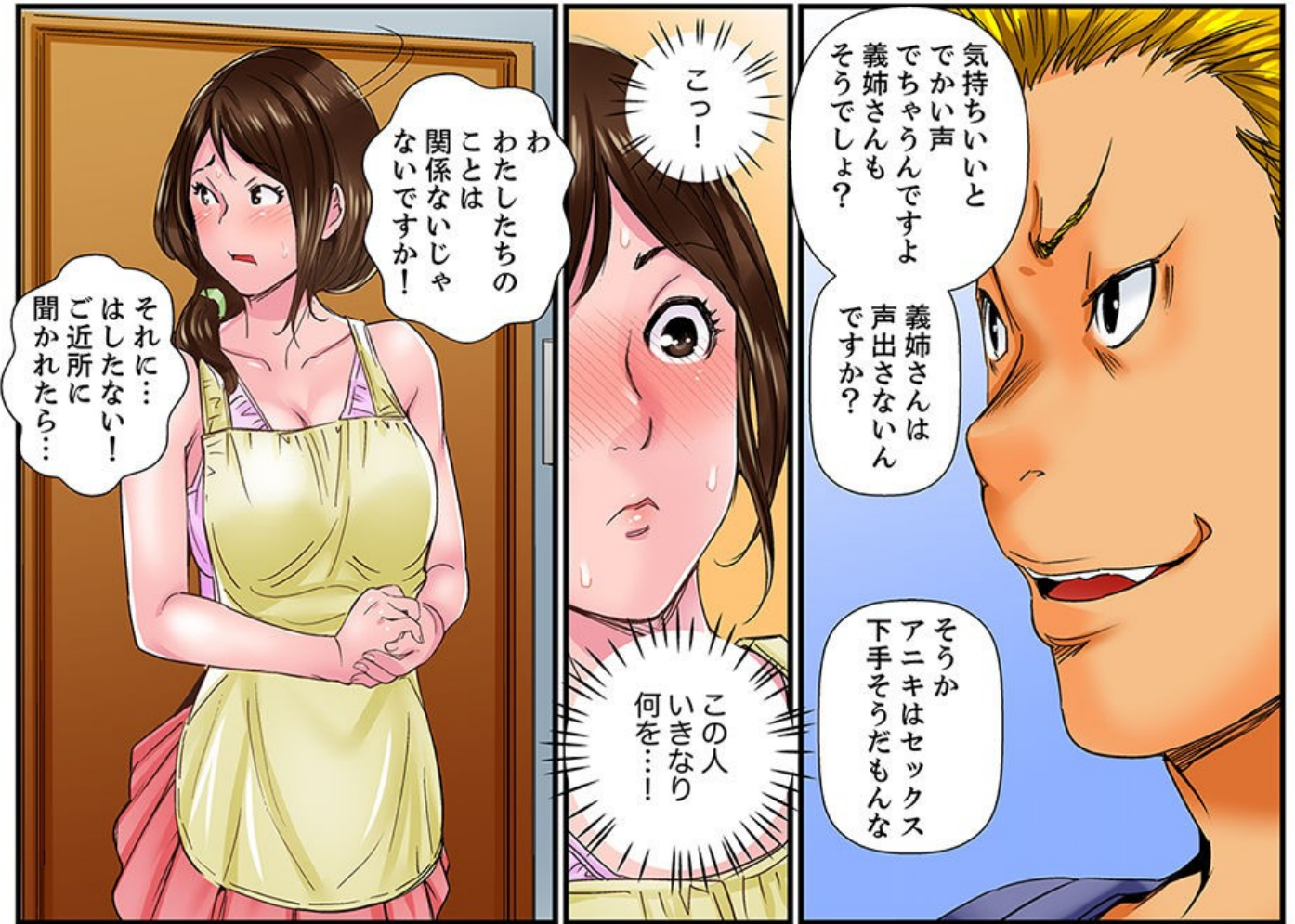
はい…

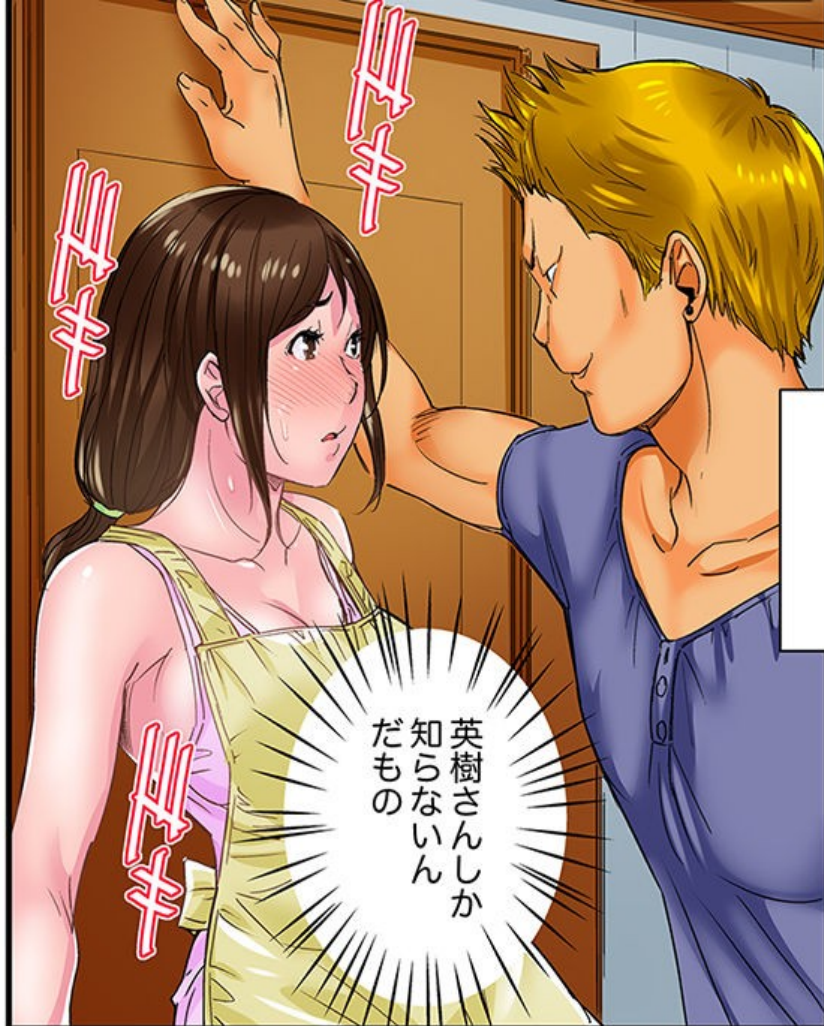
何？
この視線



ああ
聞こえちゃって
ます？

ニタリ

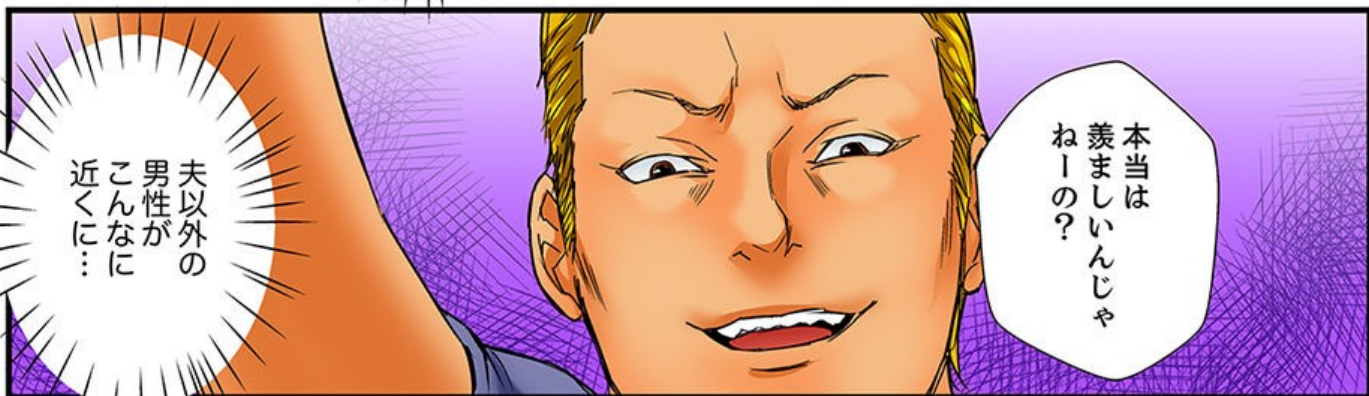




だけど…
セックスって
そんなに
違うものなの？

そんなこと
言ったって
わたし…

英樹さんしか
知らないん
だもの



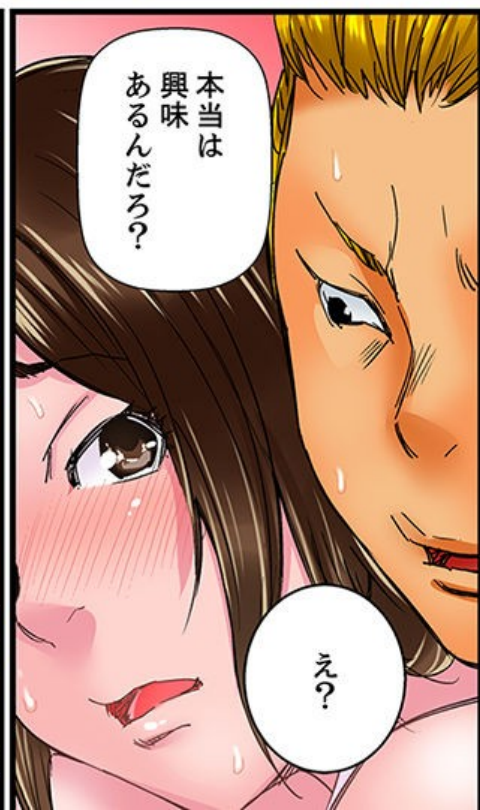
本当は
羨ましいんじゃないの？

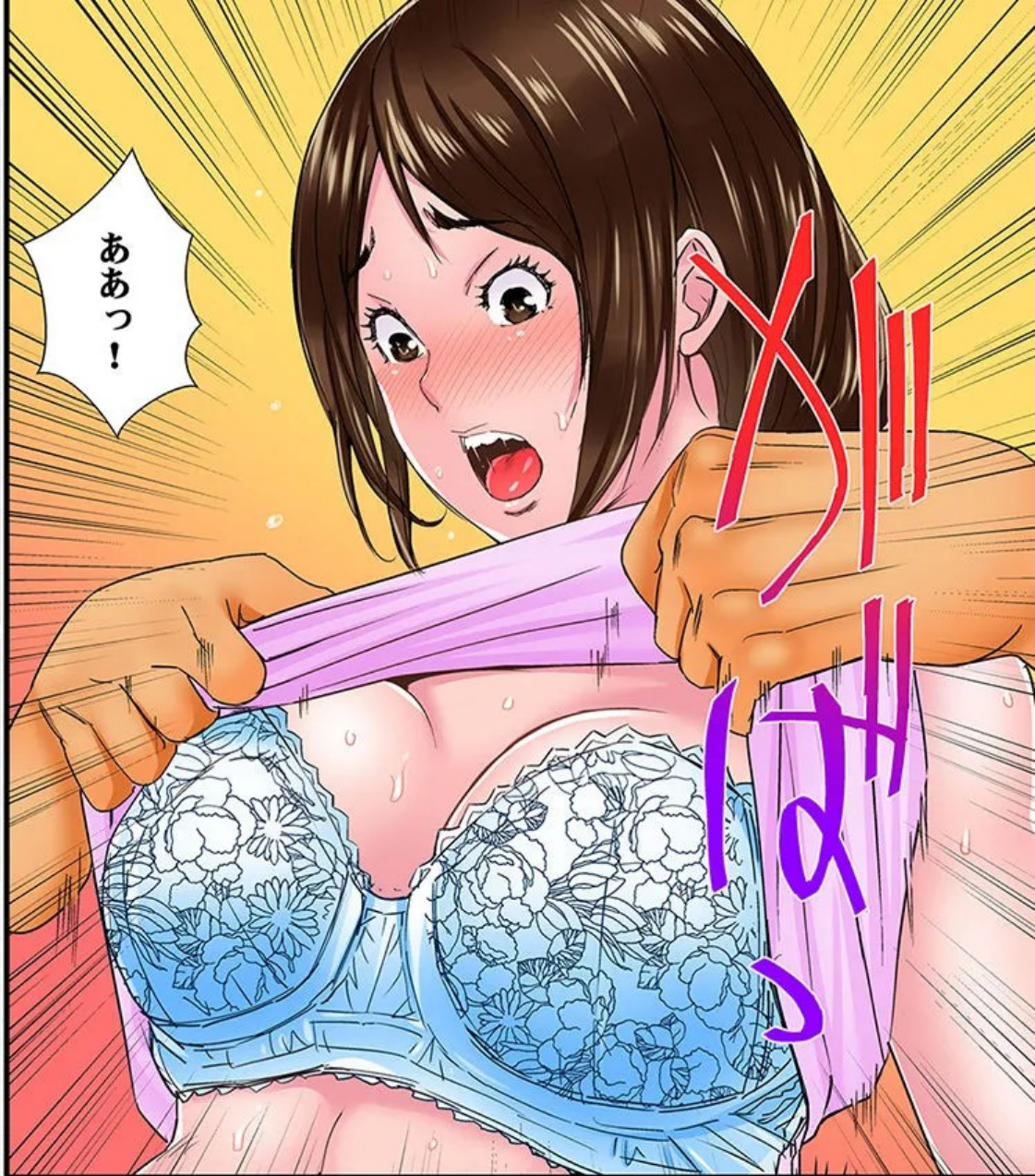
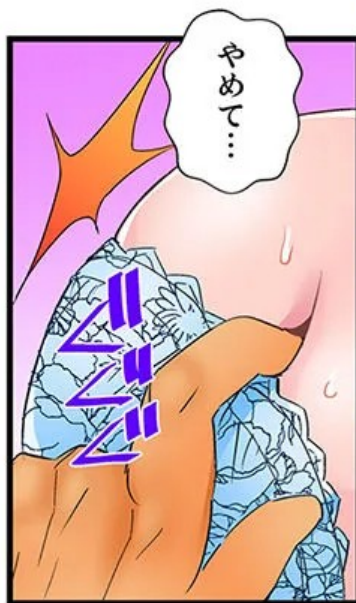
夫以外の
男性が
こんなに
近くに…

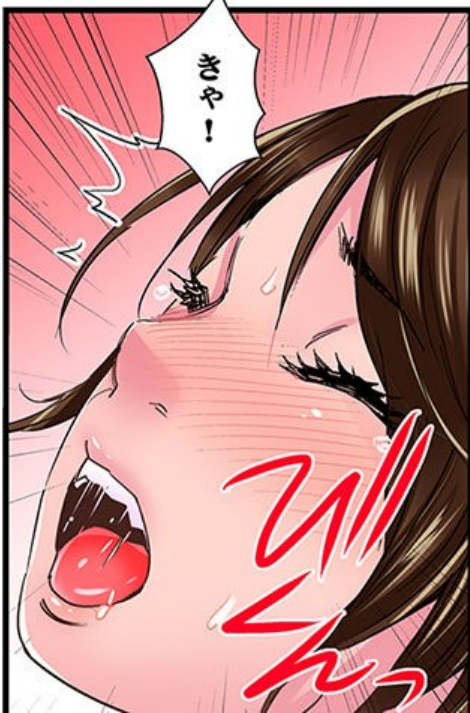
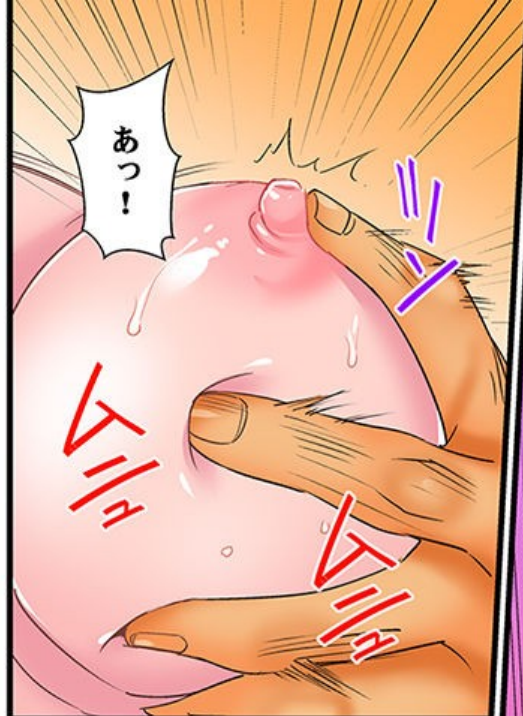


オトコと
オンナはね
獣になるのが
一番気持ち
いいんだよ

なっ…







こっちの
感度は
どうかな
へへへ

スッ

あつ！
そこは！！

だめっ！

あああ！

クチュ

はあつ！

あつ！

ひゃああ！

ツンツン

フワフワ

フワフワ

クリ

クリ



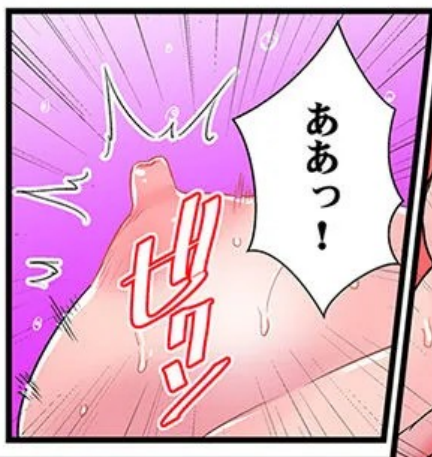
そんなに
いじられたら…



感じちゃ
いけないのに！



ダメえ
えっ！



ああつ！



ああつ！
イクっ！
イっちゃう！！

クチュ

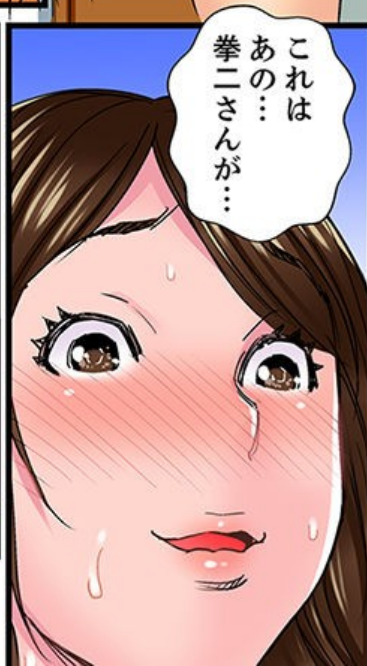
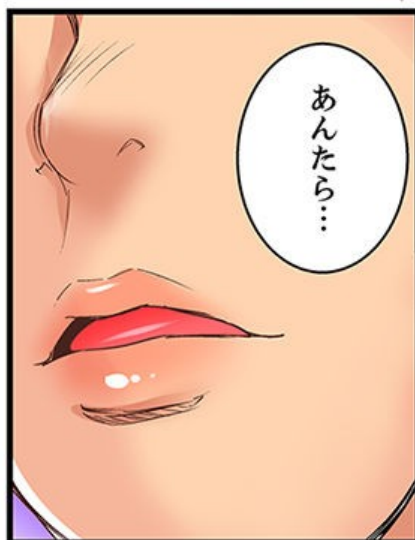
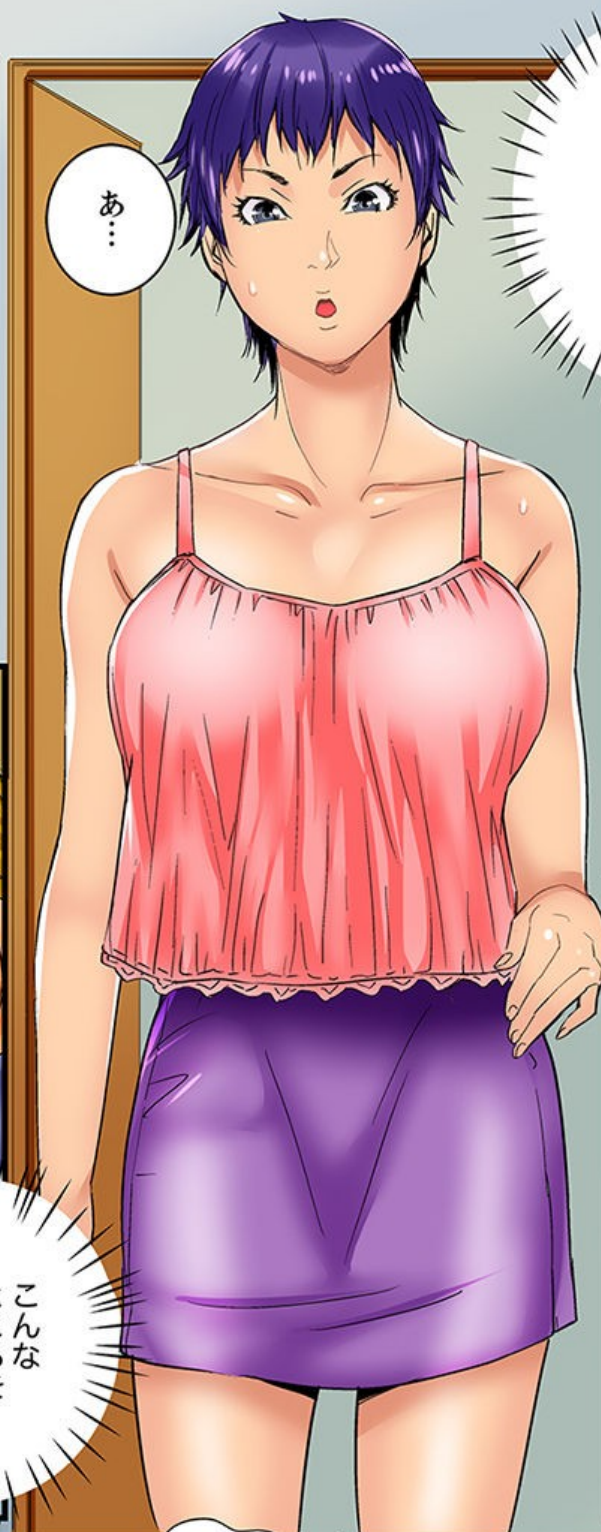
クチュ

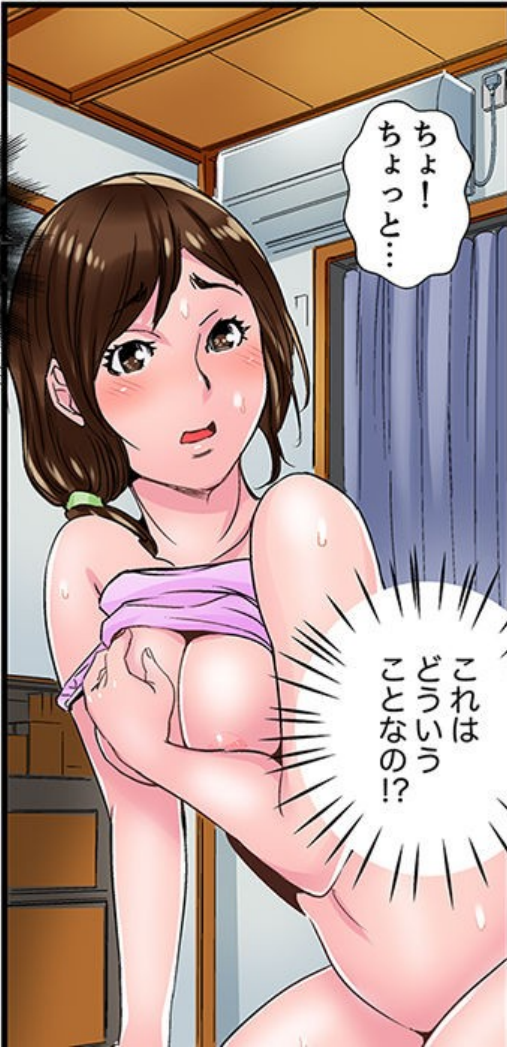
クチュ

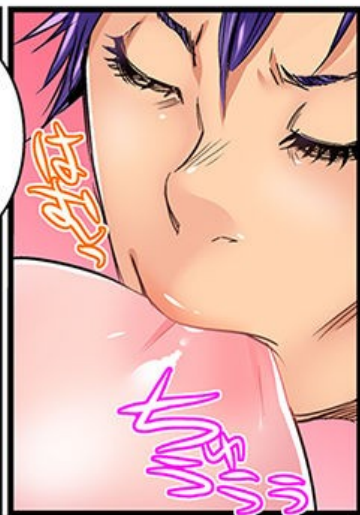
クチュ

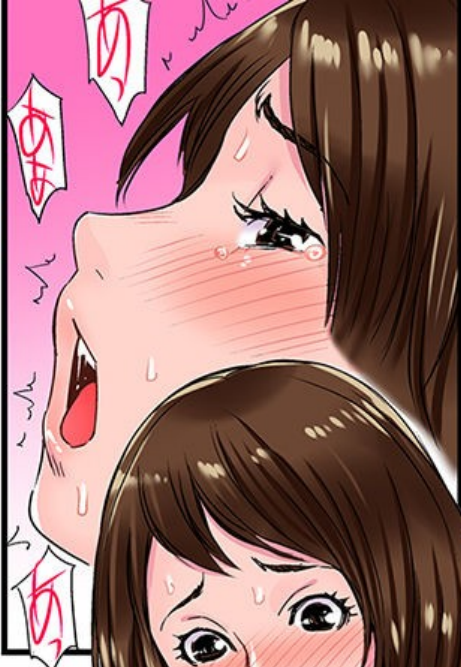
クチュ

クチュ











あああ!



あつ!!
やつ!!

ダメなのに…
感じちゃ
ダメなのに!



わたしの
中を
かき回してる



舌がまるで
生き物みたい



義姉さん
蜜があふれて
きたよ

こんなの…
すごく
感じちゃう



はああ!



へへへ
まだまだ
休ませねえよ



きゃふう!



なんで
なんで
こうなるの!?

あああつ!



もう
気が遠く
なりそう



二人
がかりで
何度も
何度も
イカされて...



さあアンタ
ぶち込んで
あげなよ

お義姉さんに
ドピュドピュ
中出し
するとこ
見せて

はあ



やべえ
俺もう
ギンギンだぜ

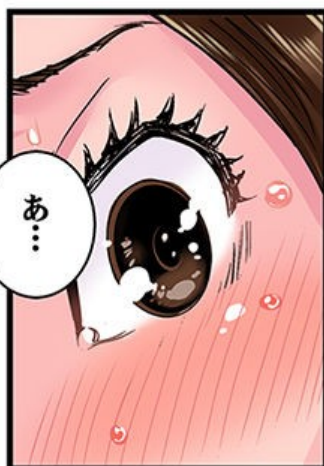
フッフ



え？
まさか…



はあ

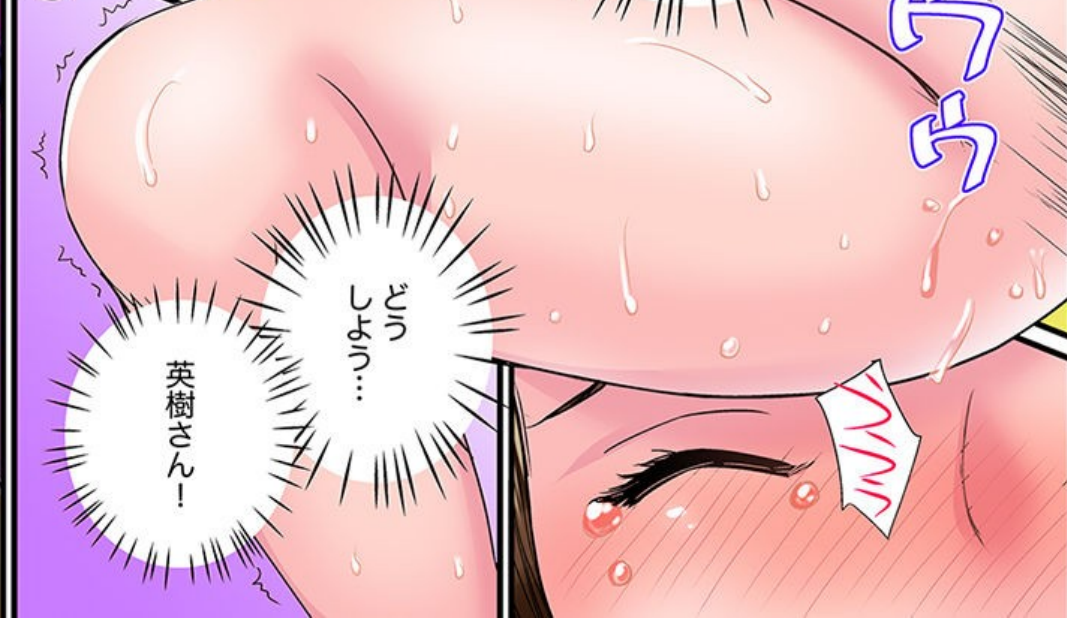


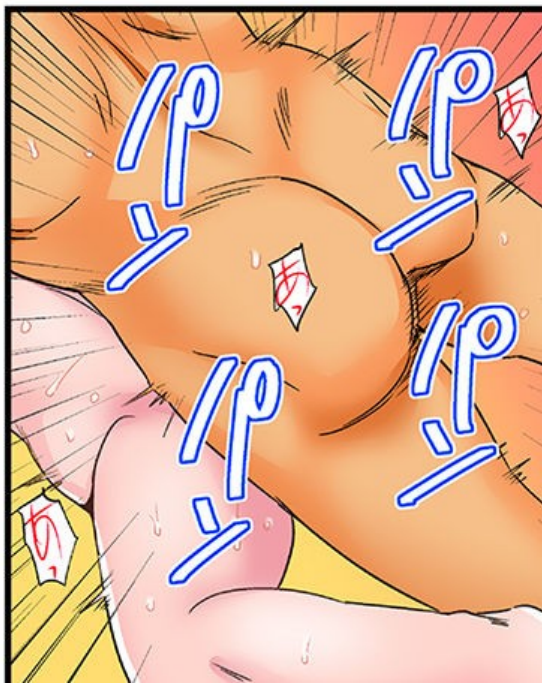
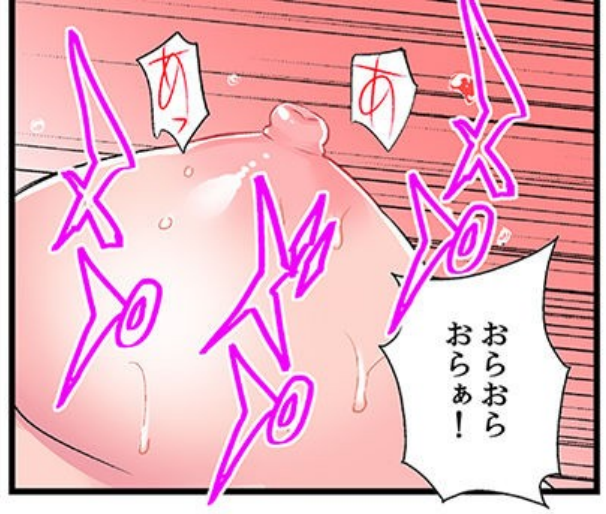
あ…

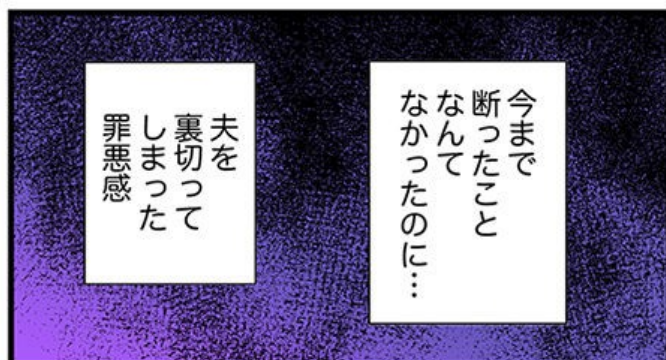
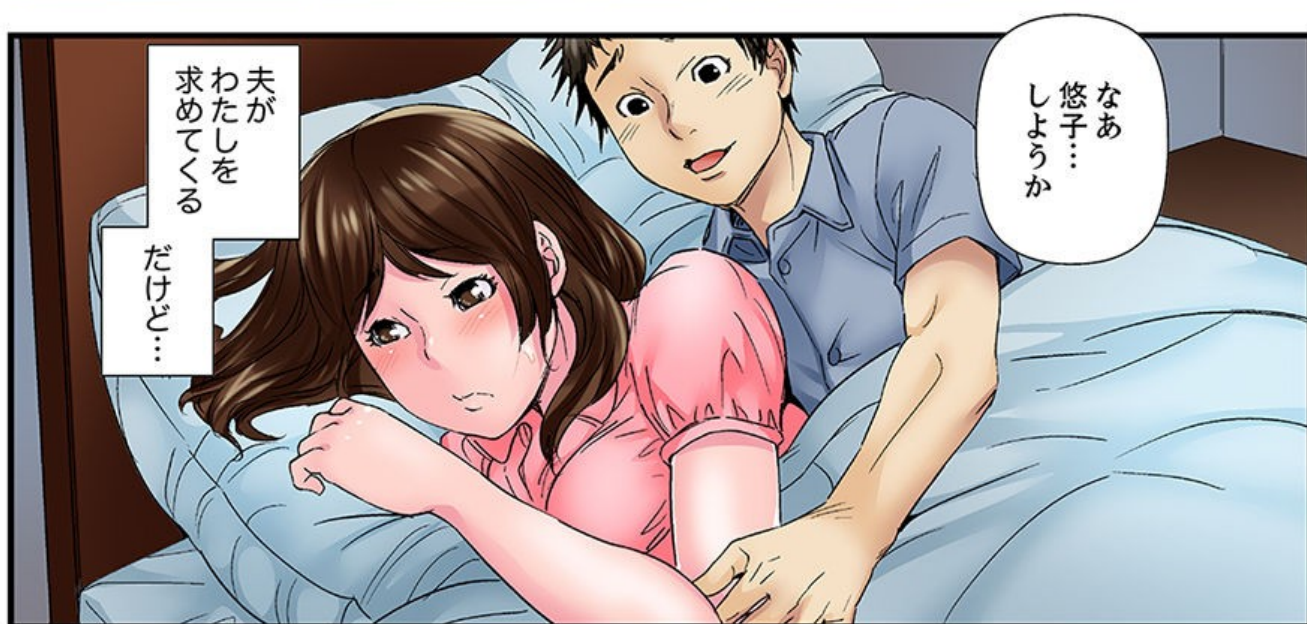
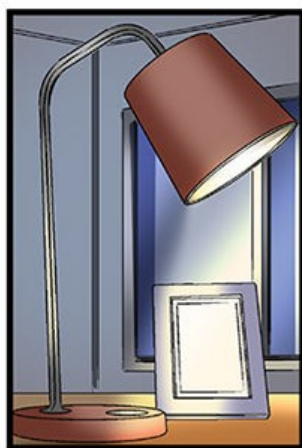


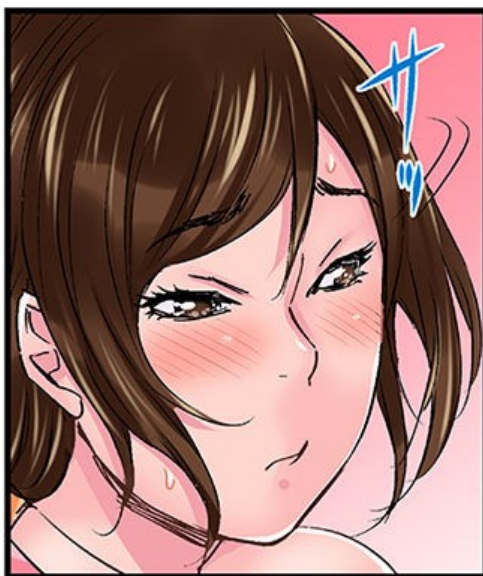
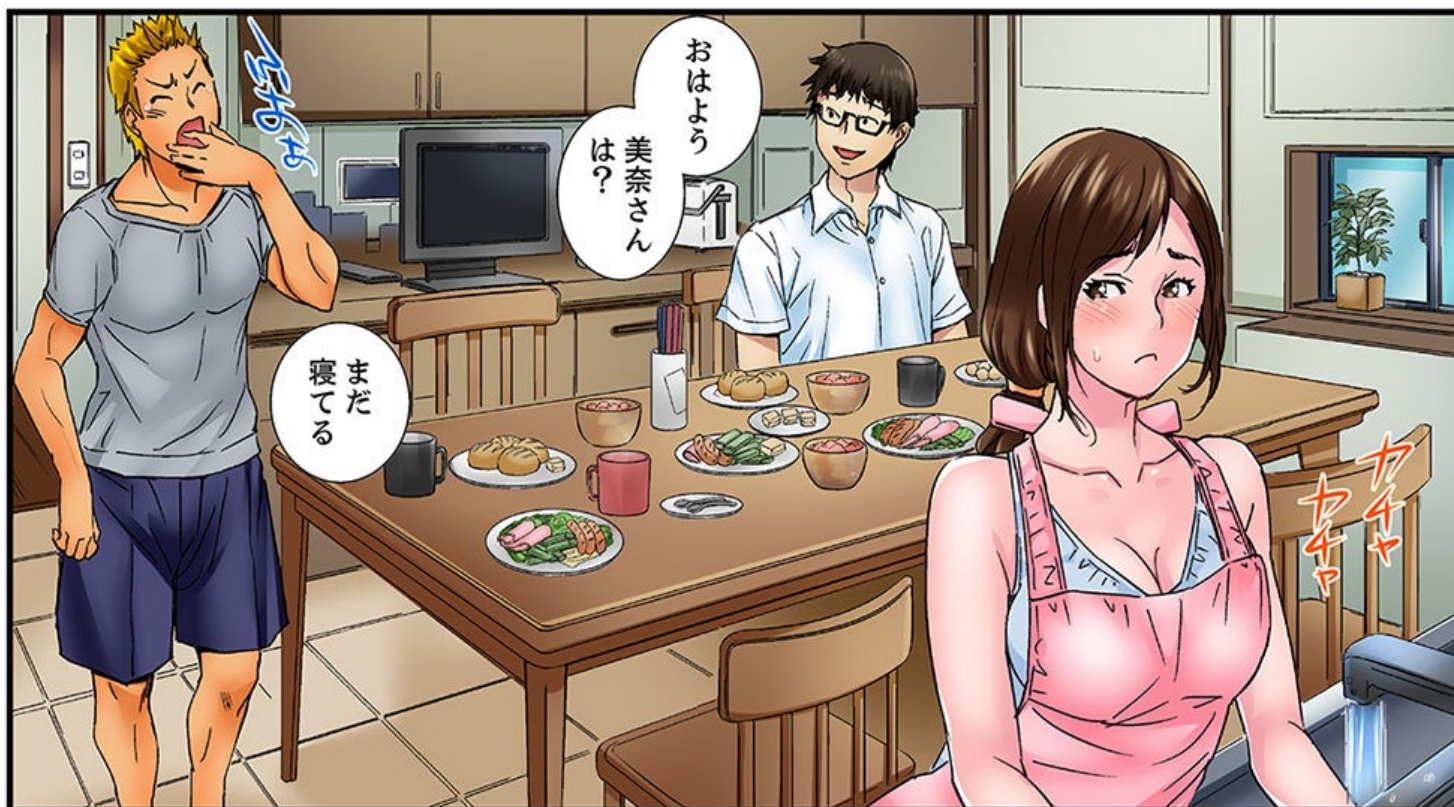
ええっ！
ウソでしょ!?

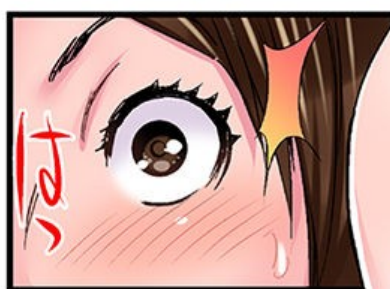
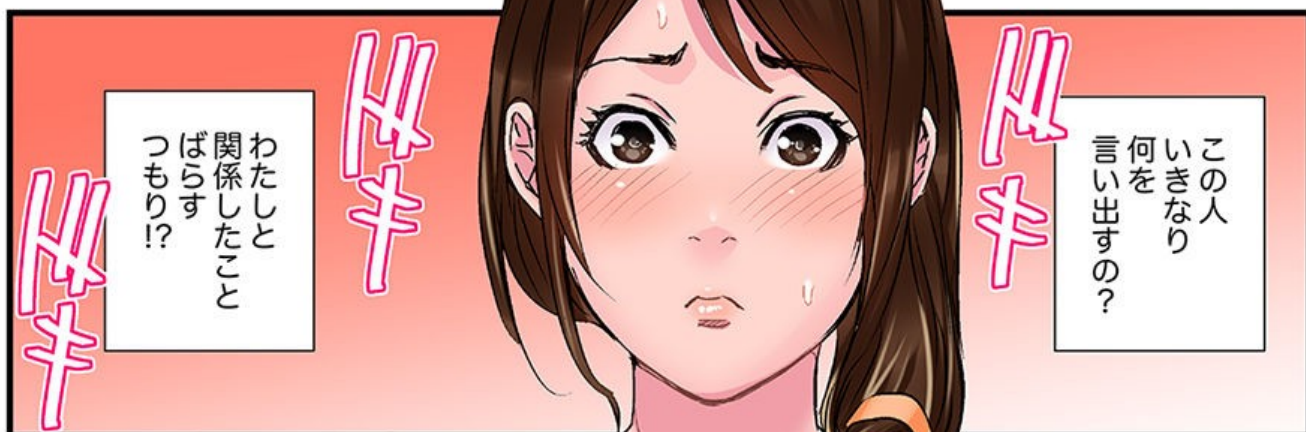
はあ

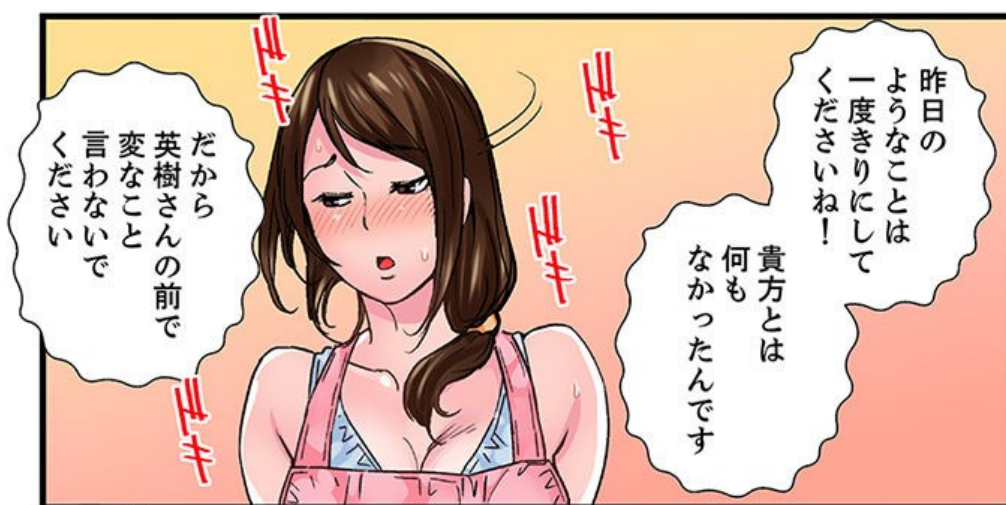
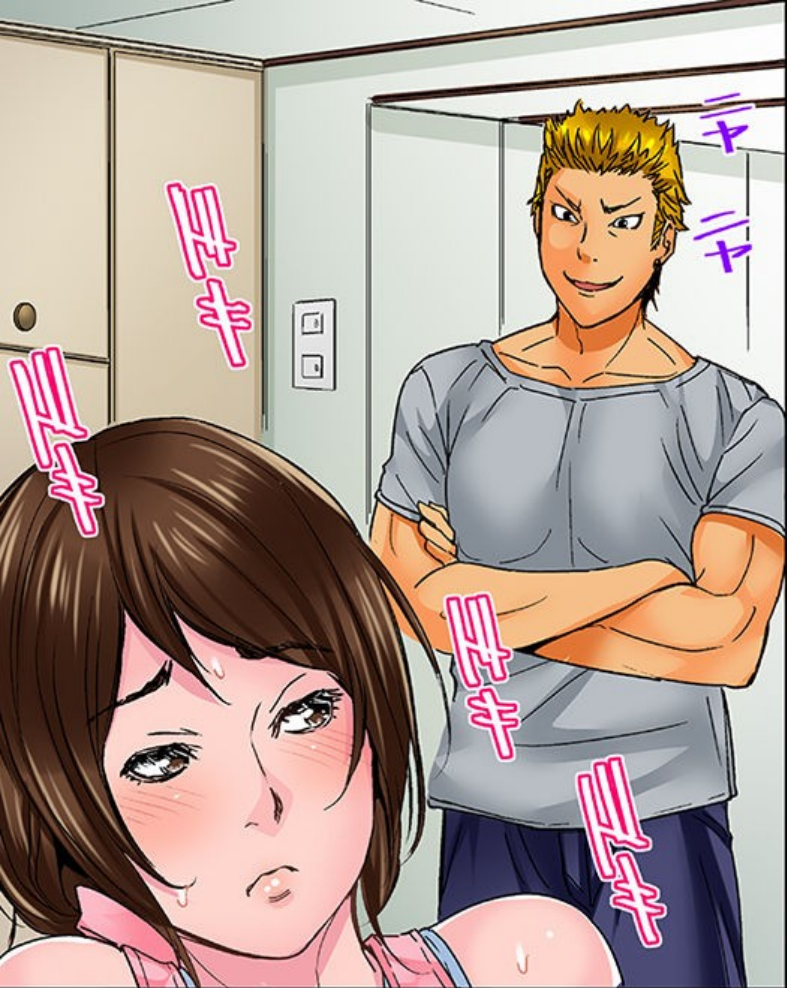


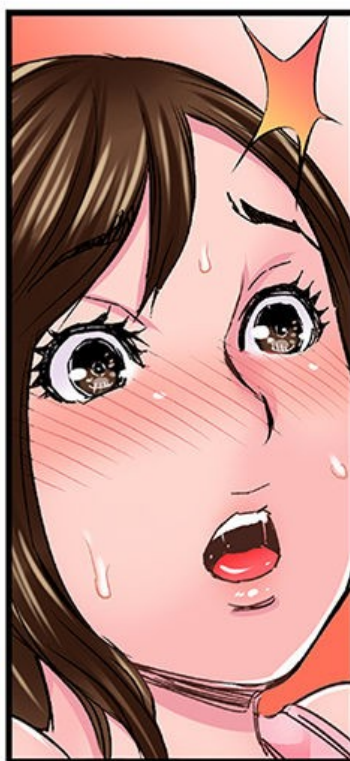
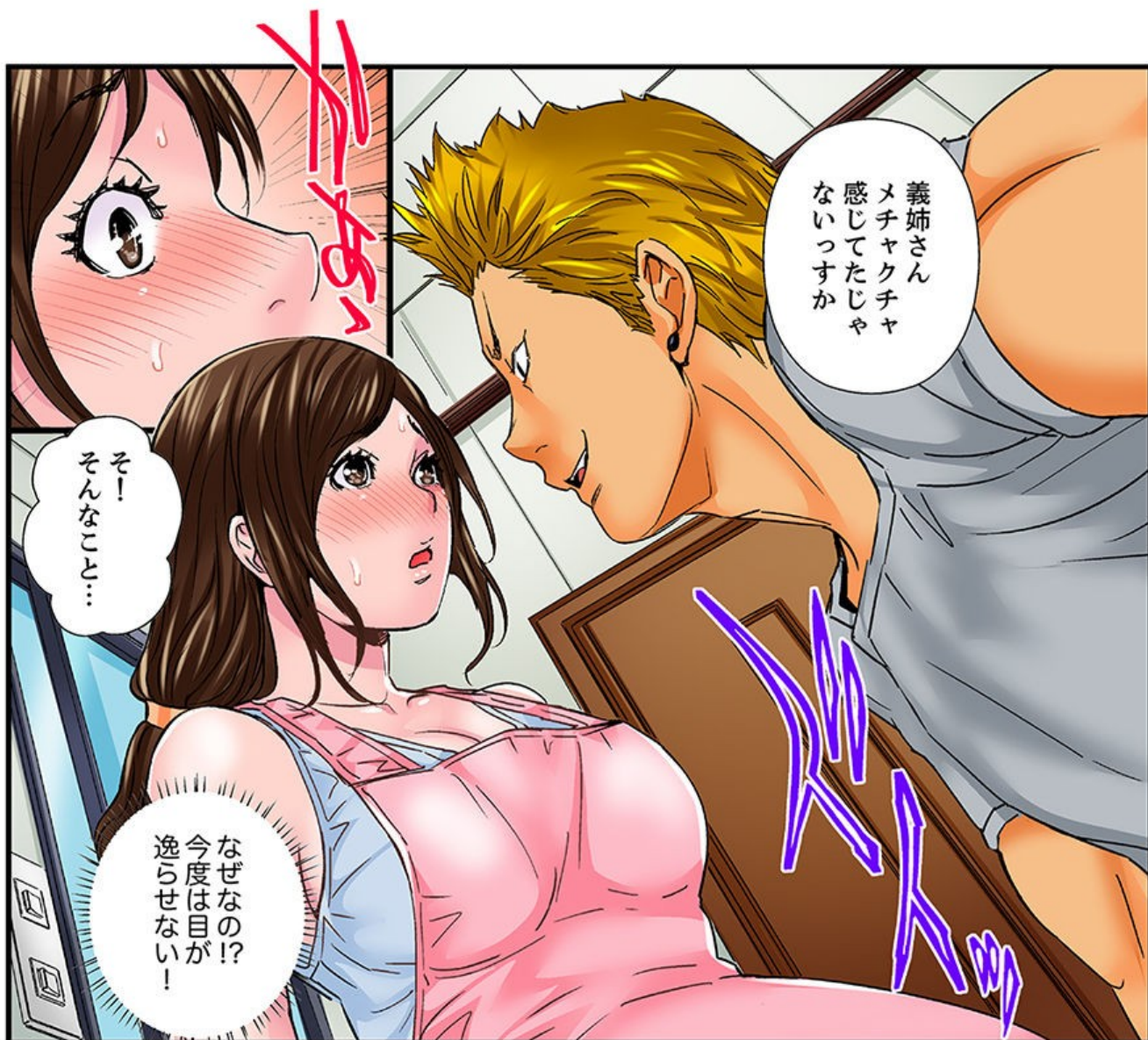


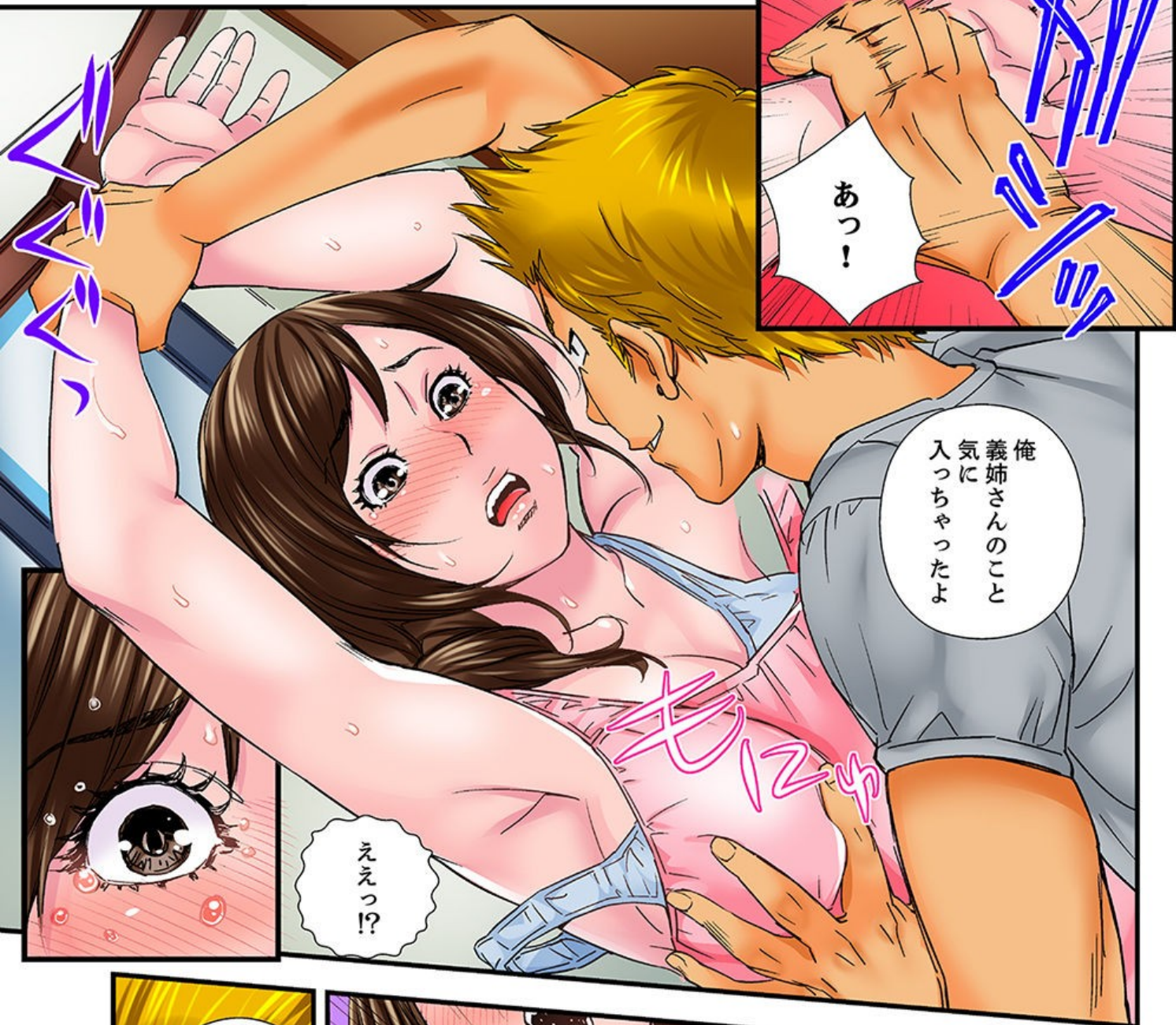


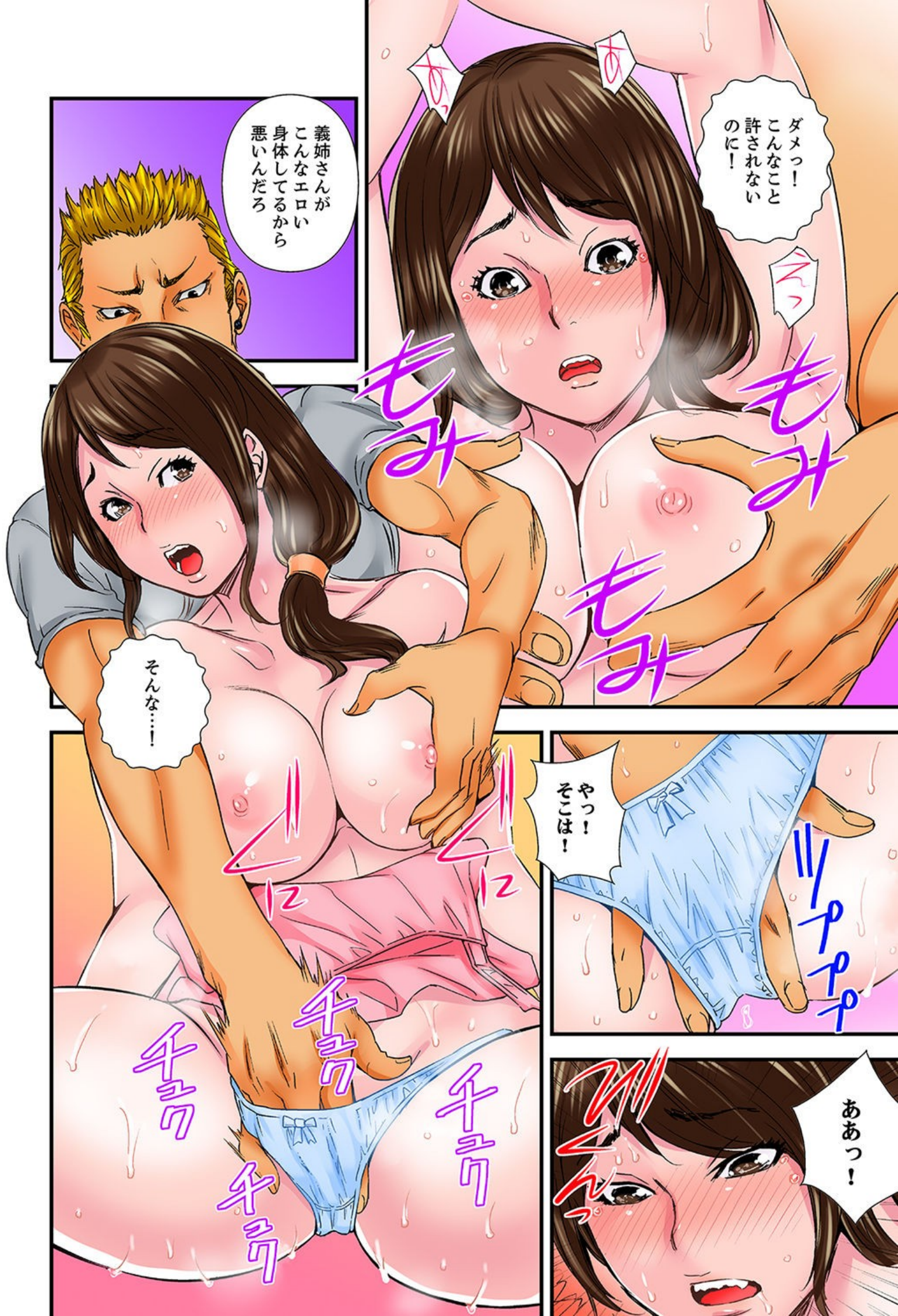


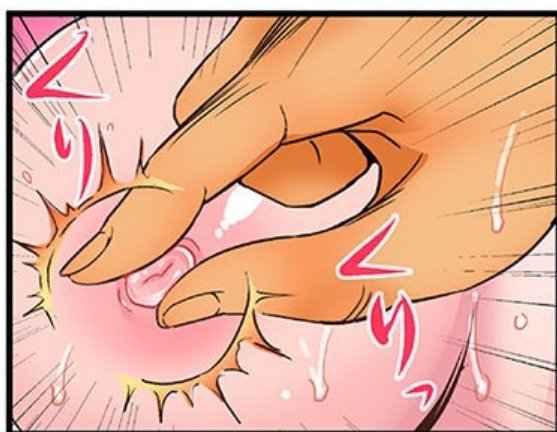
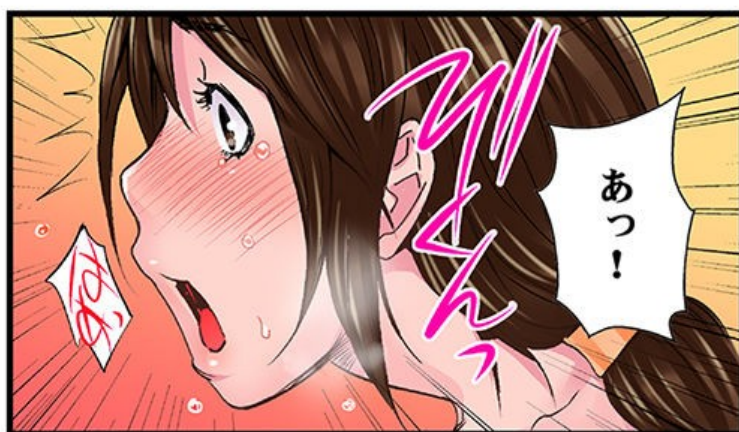


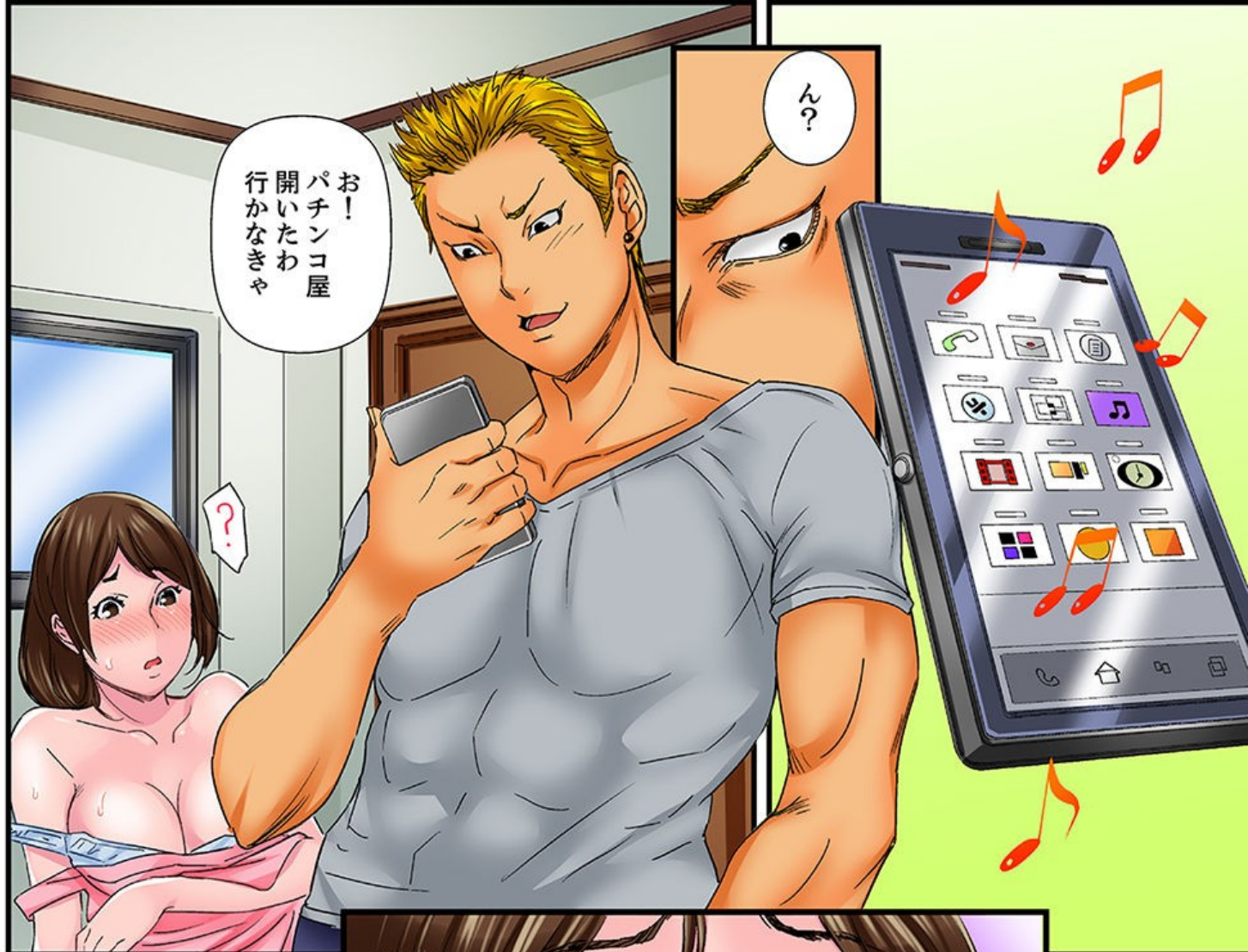


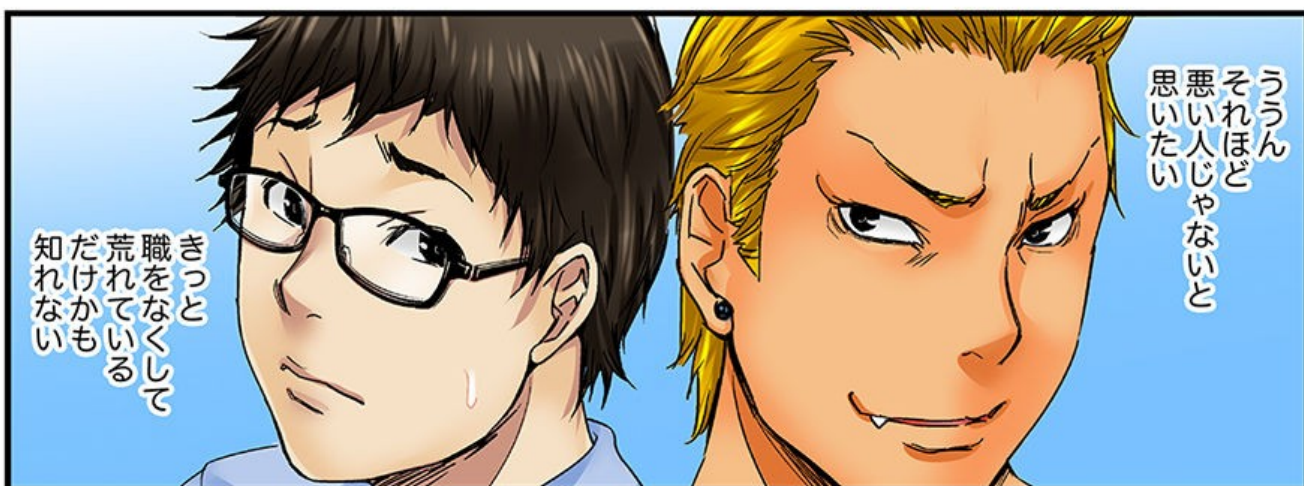
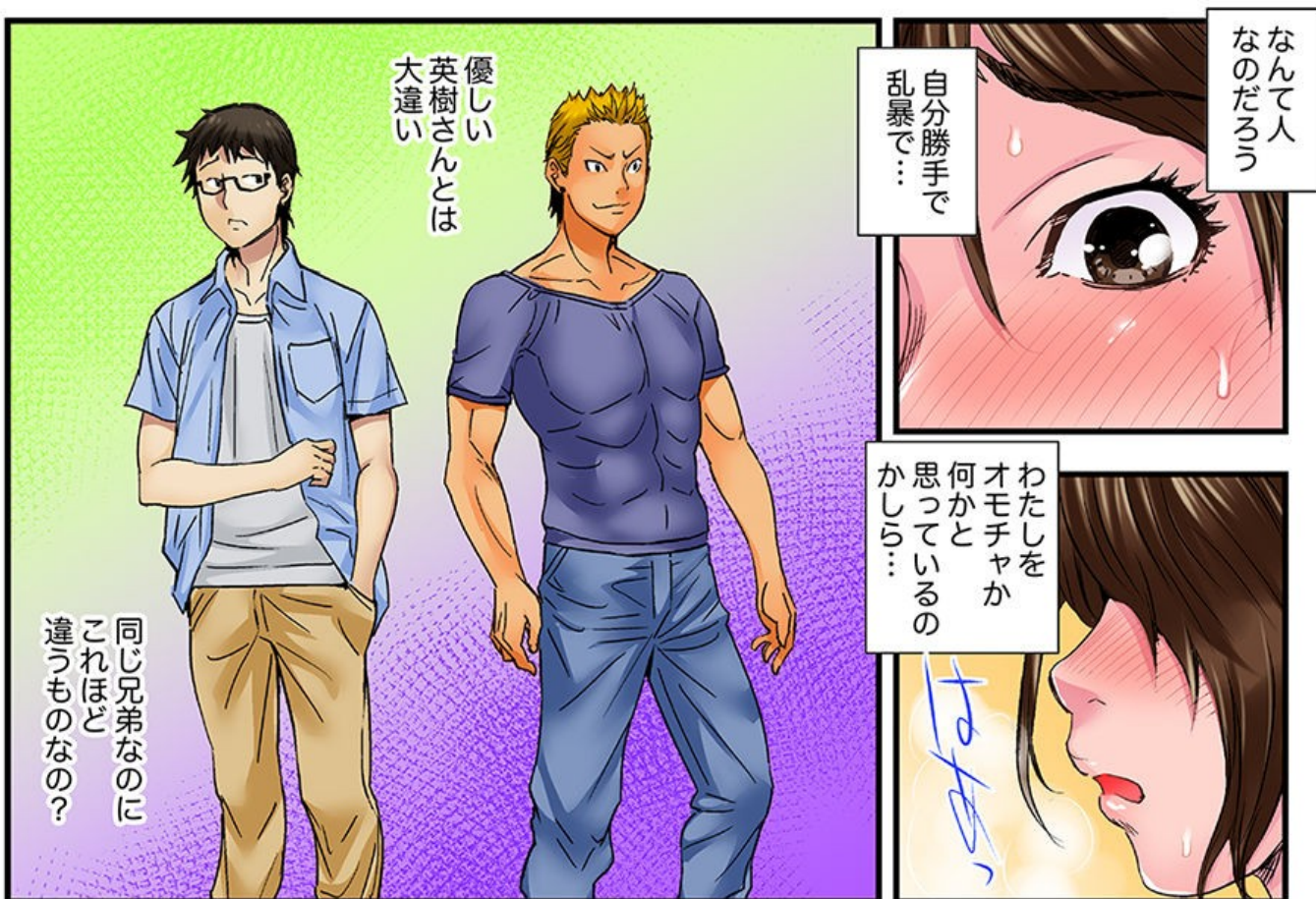


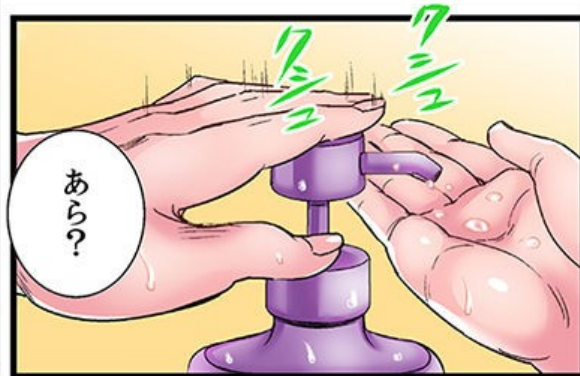
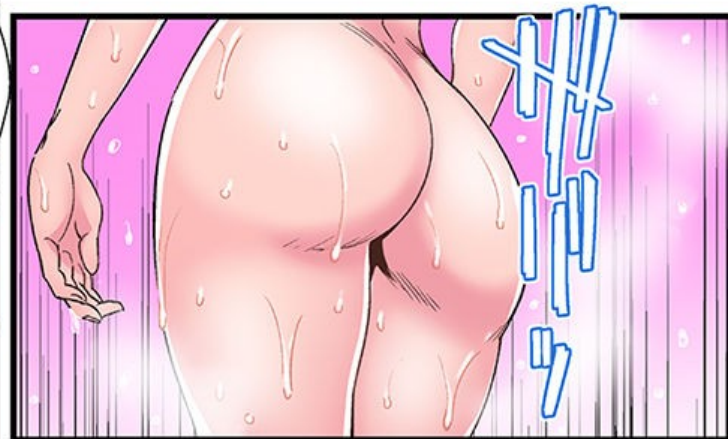


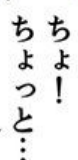
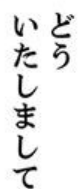
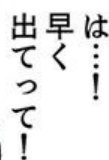
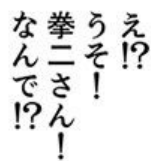


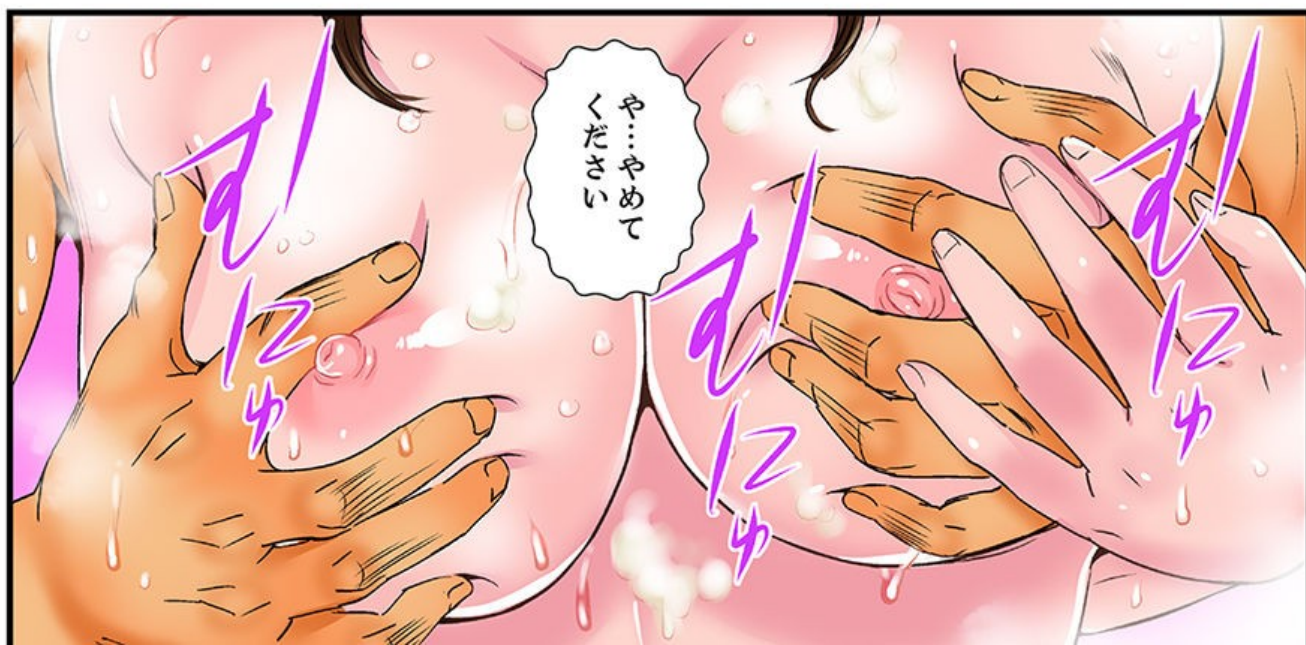


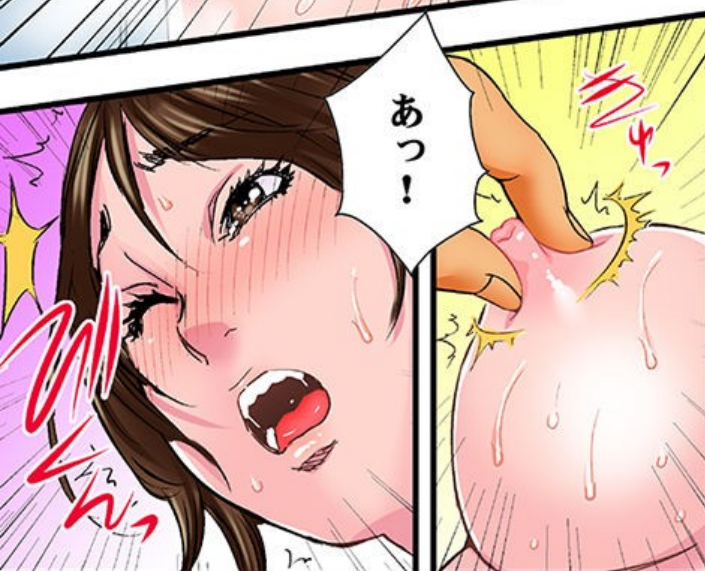
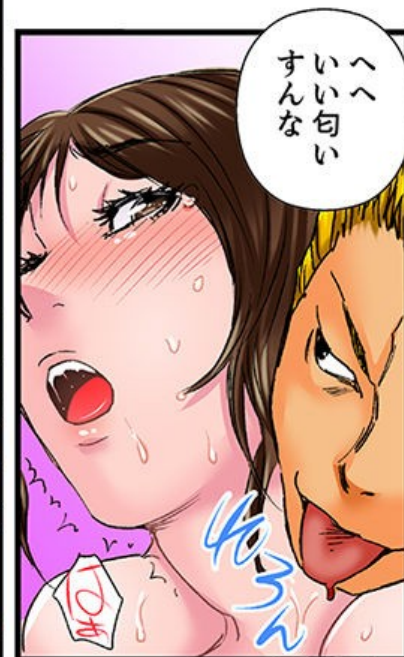


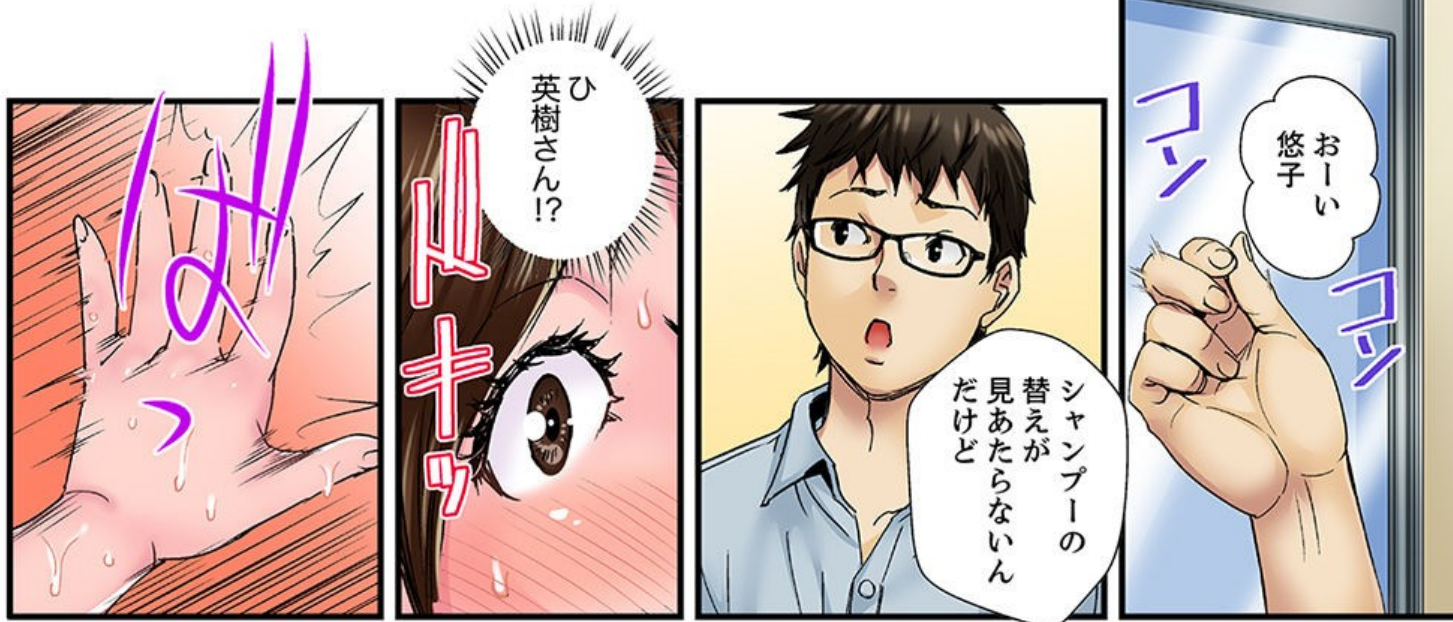


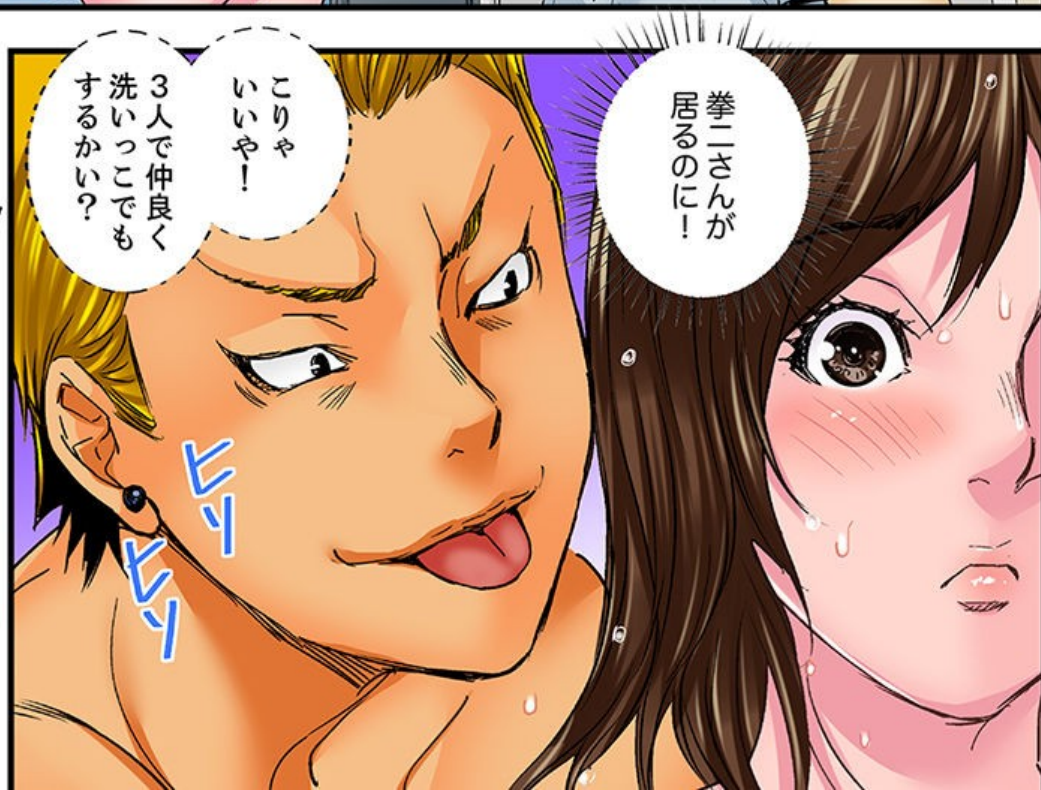
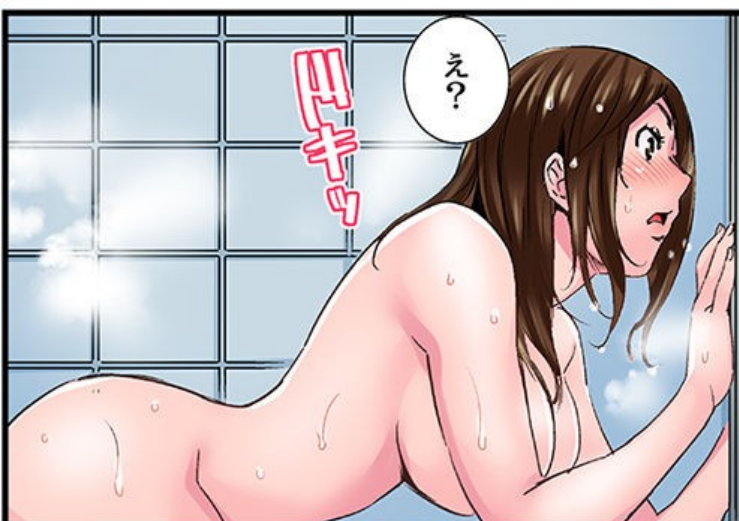
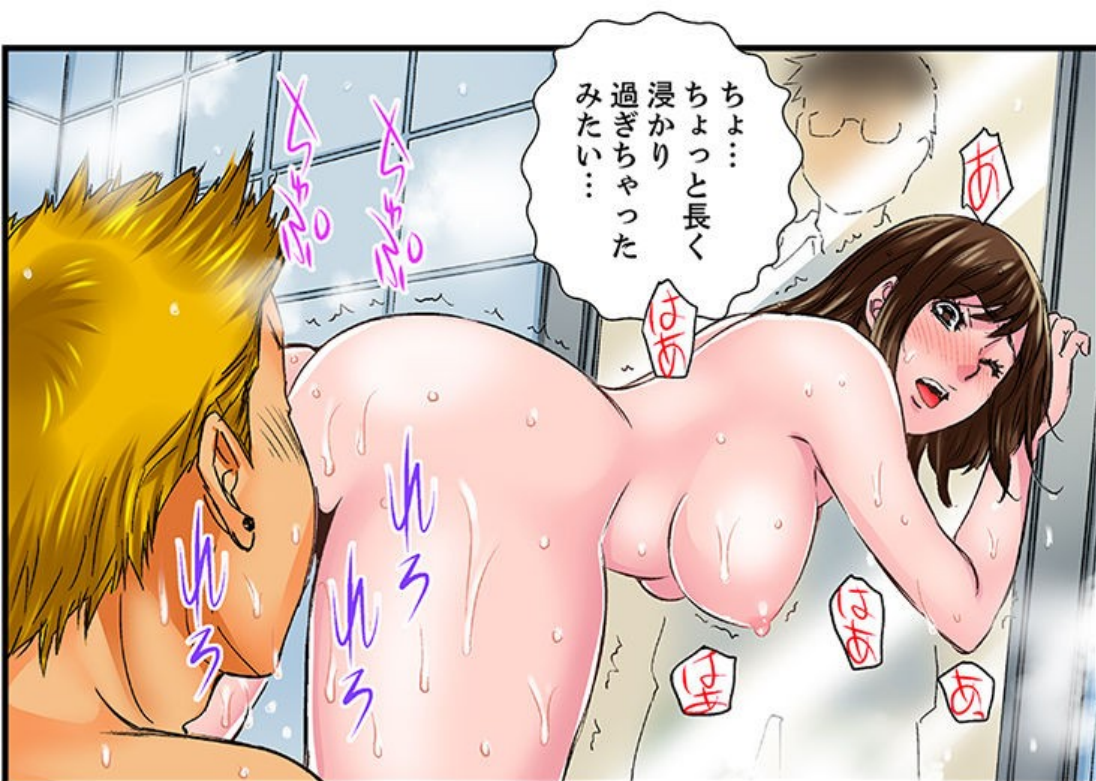


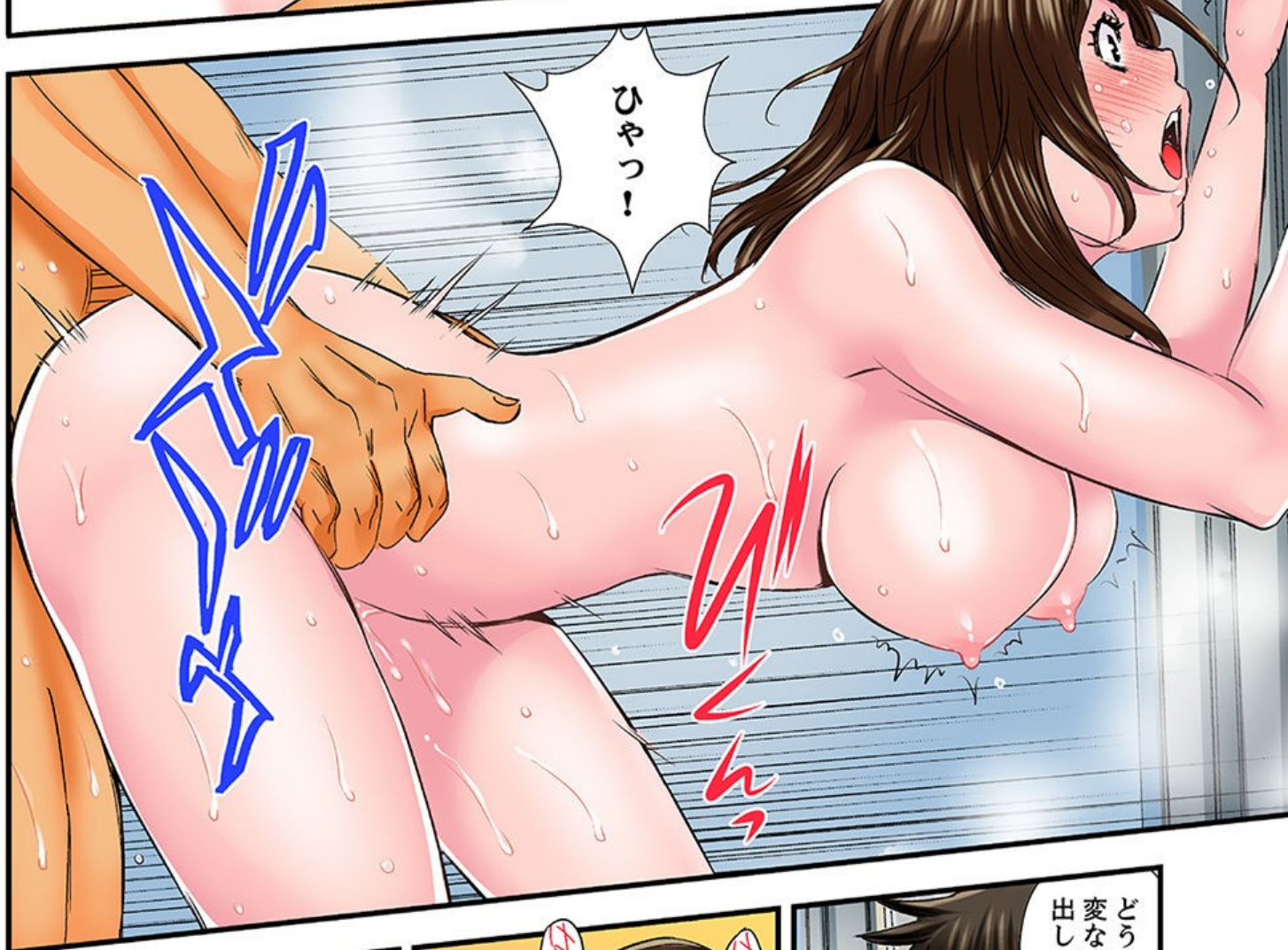
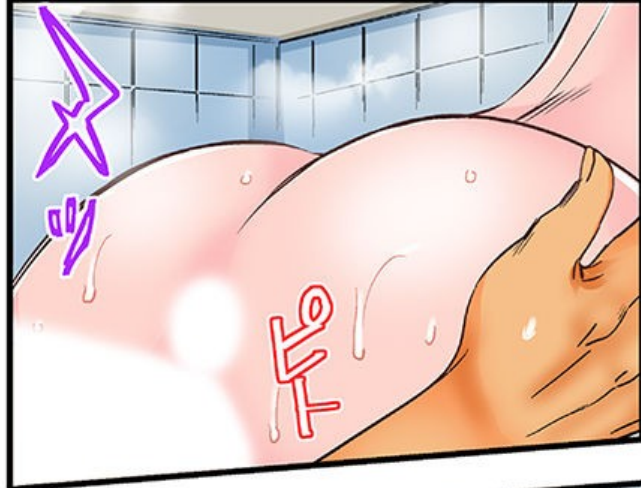












う...うん
なんでも
ない!

はあ

はあ

はあ

ククク

こんなところ
アニキが
見たら
なんて言うかな

義姉さんが
よがり狂ってる
この様をさ

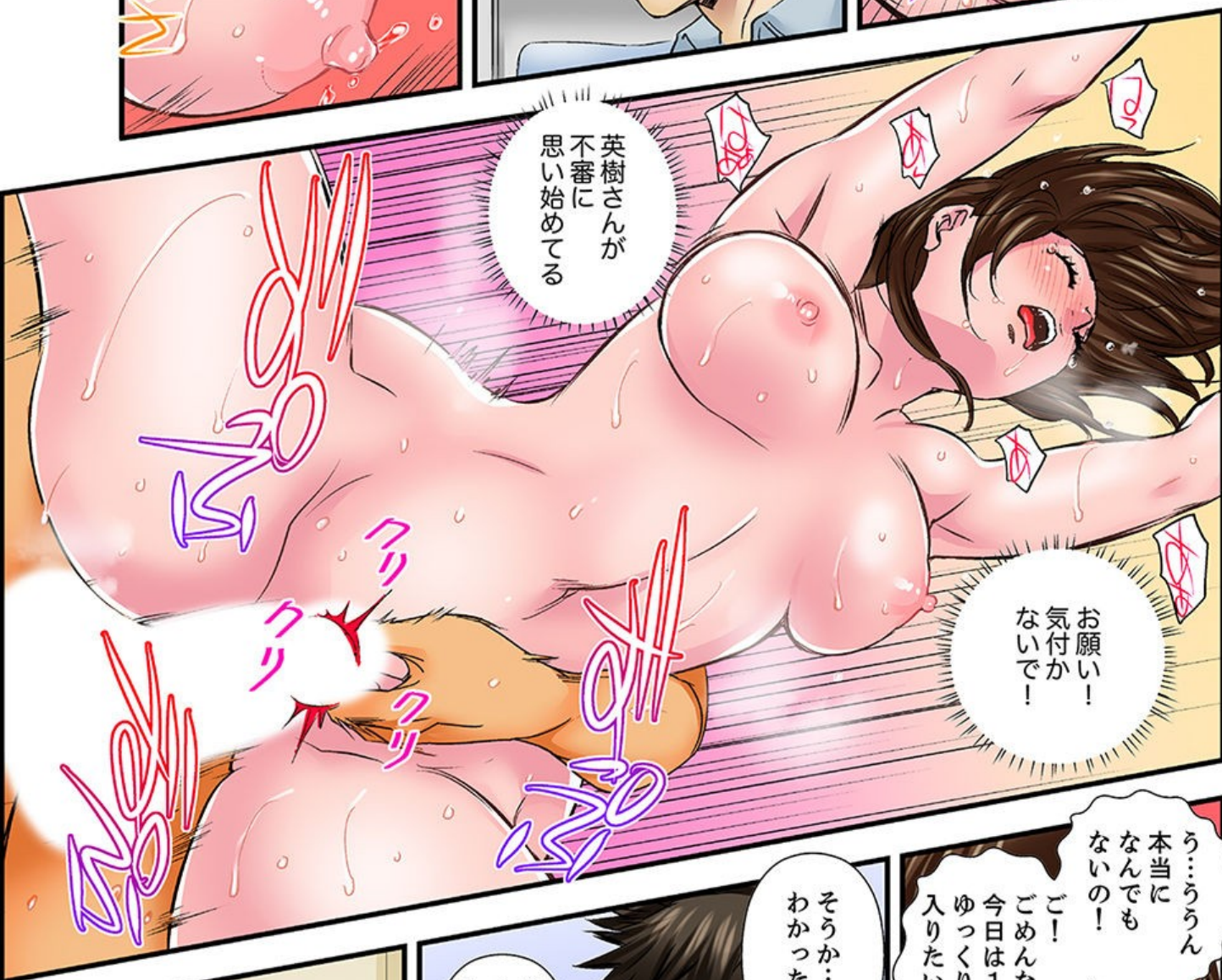
だめっ!
声が出ちゃう!

そんなこと
できるわけ
ないじゃない!!

アニキも
入れて
3Pでも
しようか

どうだい
義姉さん





よく
ごまかしたね
義姉さん

えらい
えらい

お願い…

もう
許して…

ご褒美だよ
ほれほれ

あーあっ
!!!

あっ!
ダメっ!

はっ!
激しいっ!

あああっ!!



あつ

バックから
突かれるほうが
感じるのかよ

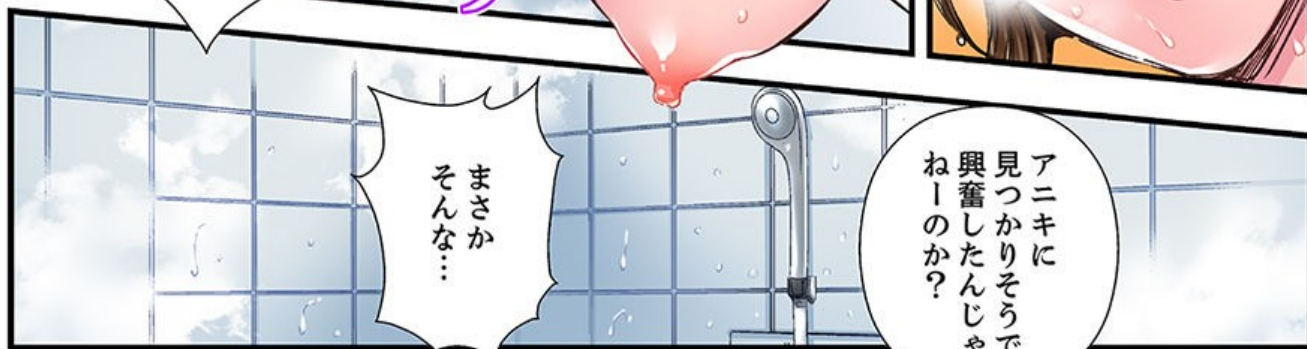
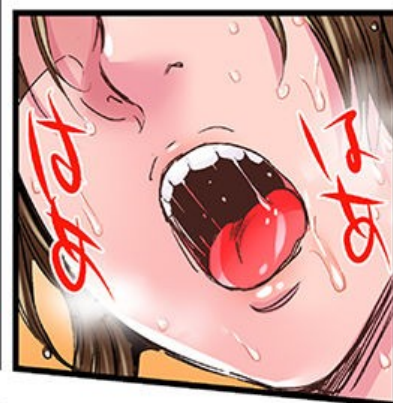
それとも
風呂でやるのが
興奮すんのか？

ちが…

ああつ！

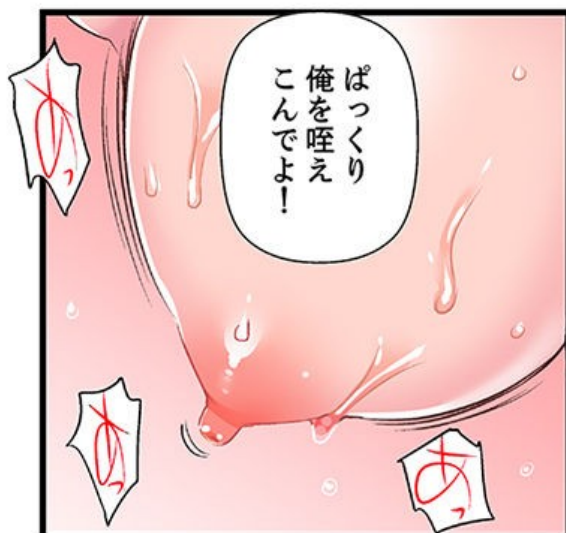


義姉さん
よがり
まくってる
じゃん



まさか
そんな…

アニキに
見つかりそうで
興奮したんじゃ
ねーのか？

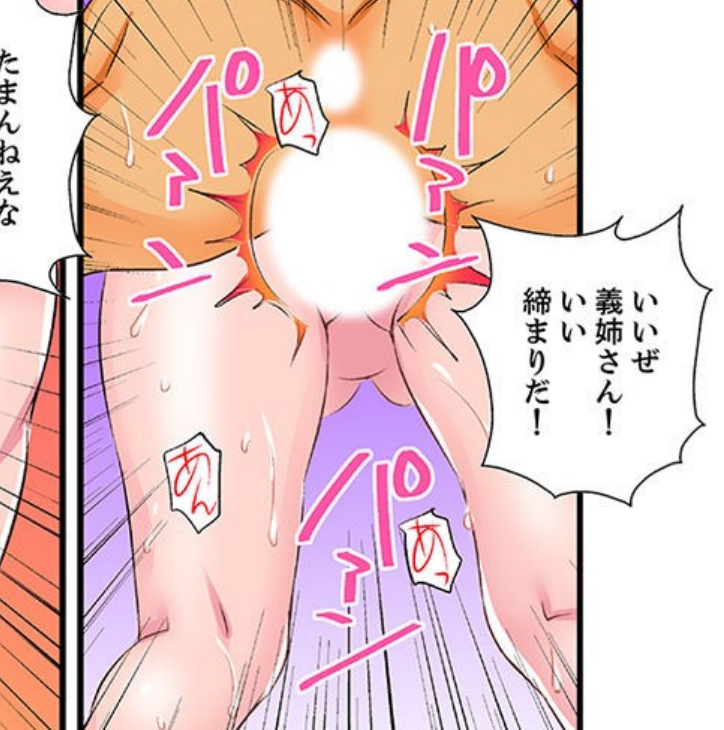
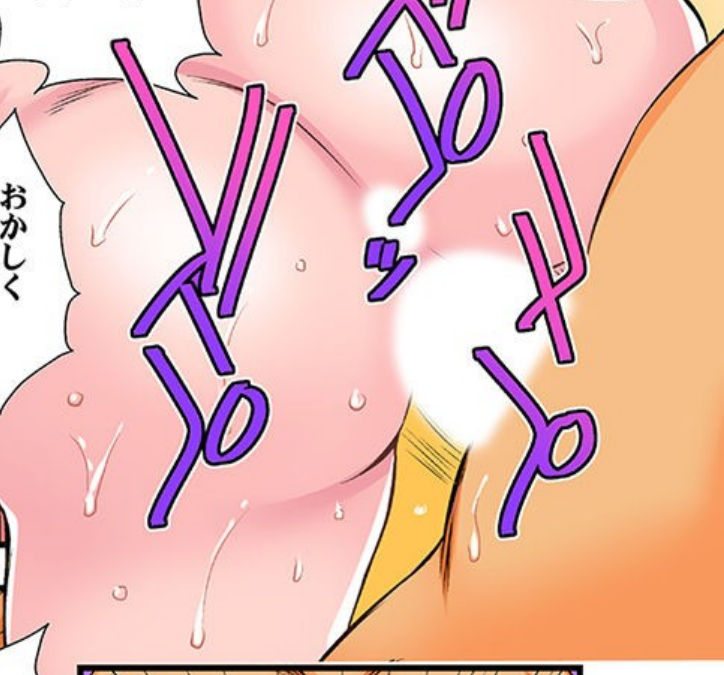
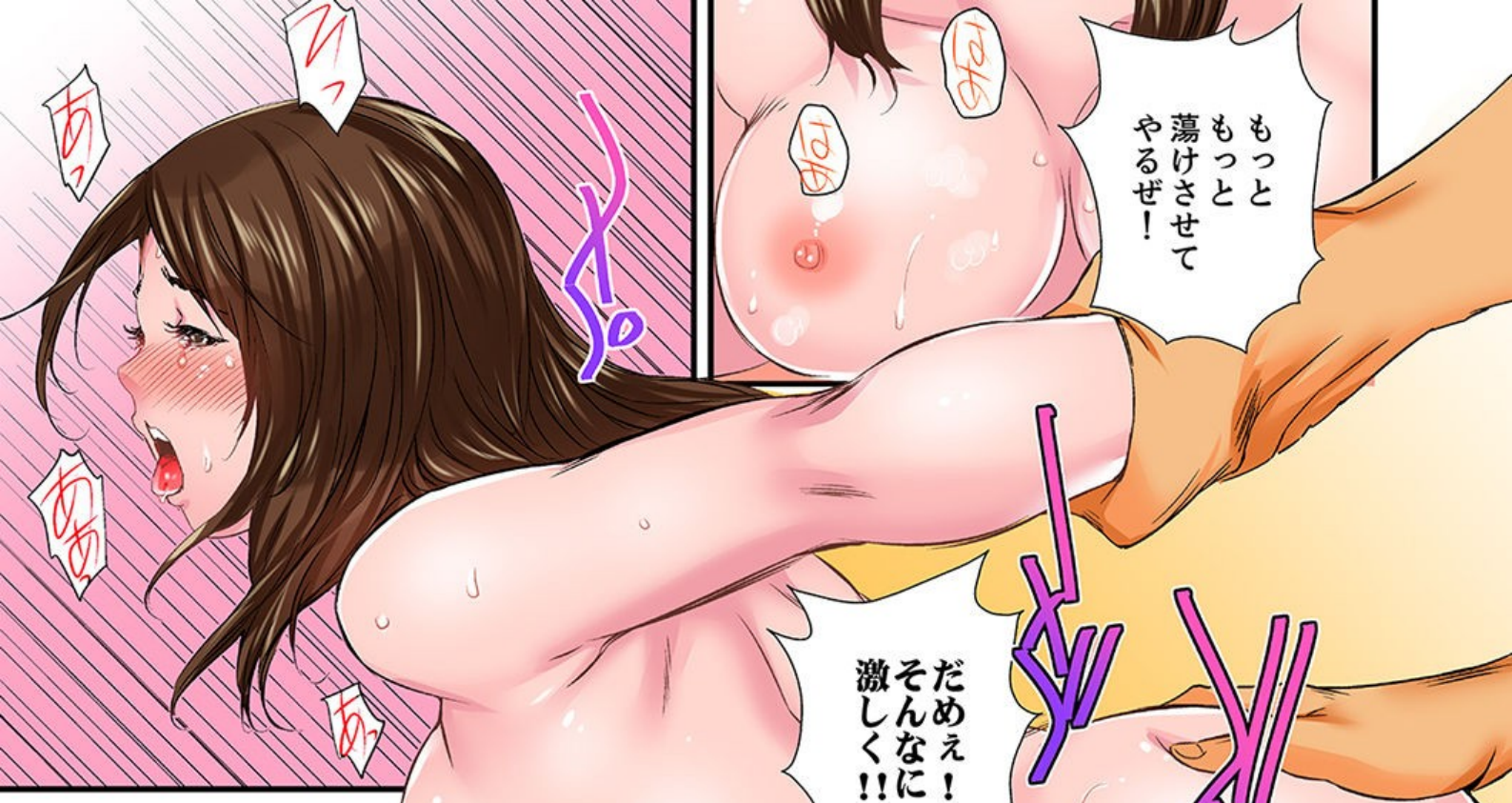


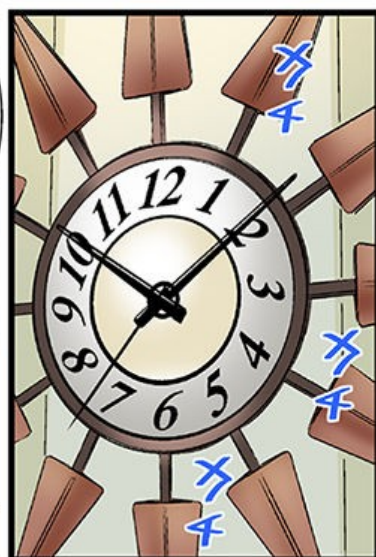
ぱっくり
俺を咥え
こんでよ！



それにしちゃ
えらく
濡れてる
じゃねえか









あつ
あつ
あつ!!



そら
そらあ!



思いつきり
ぶちかまして
やるからな!

思い切り
イケよ!



イクっ!
また
イツちやうう!!

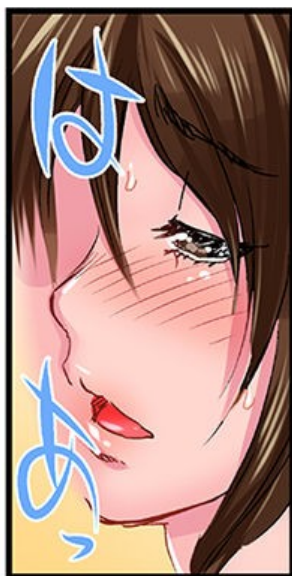


もう
許してえ!!



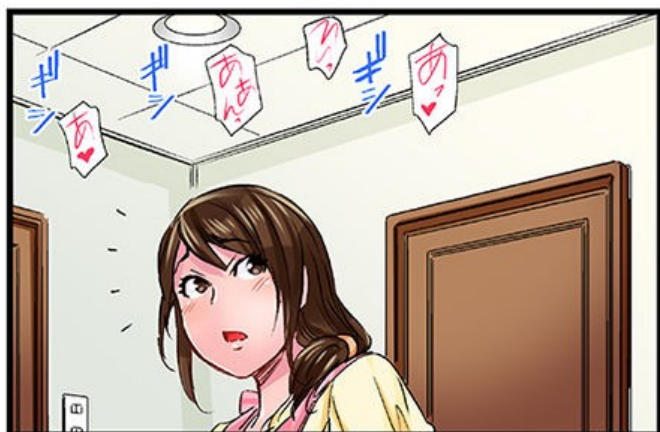
ひいひいっ!
すこひいっ!







2週間が
過ぎた

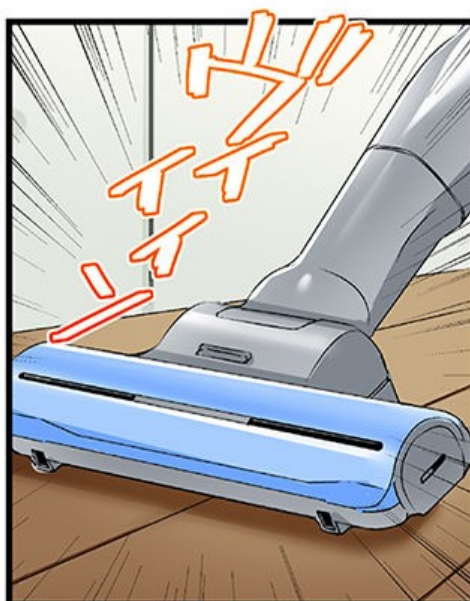
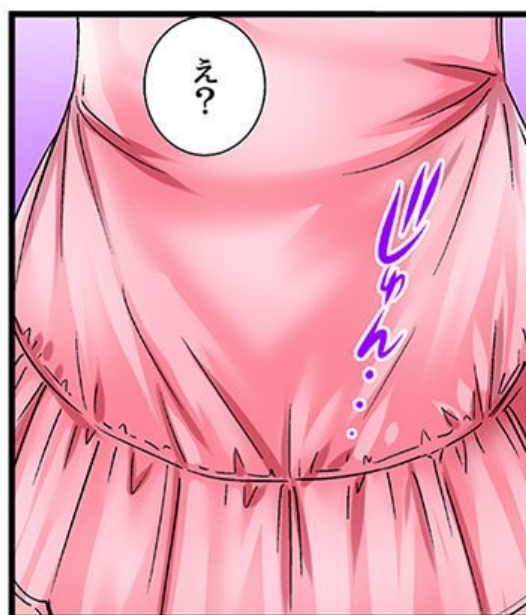
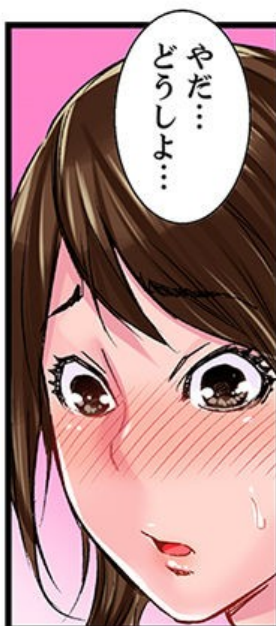


あの二人
こんな
昼間から…

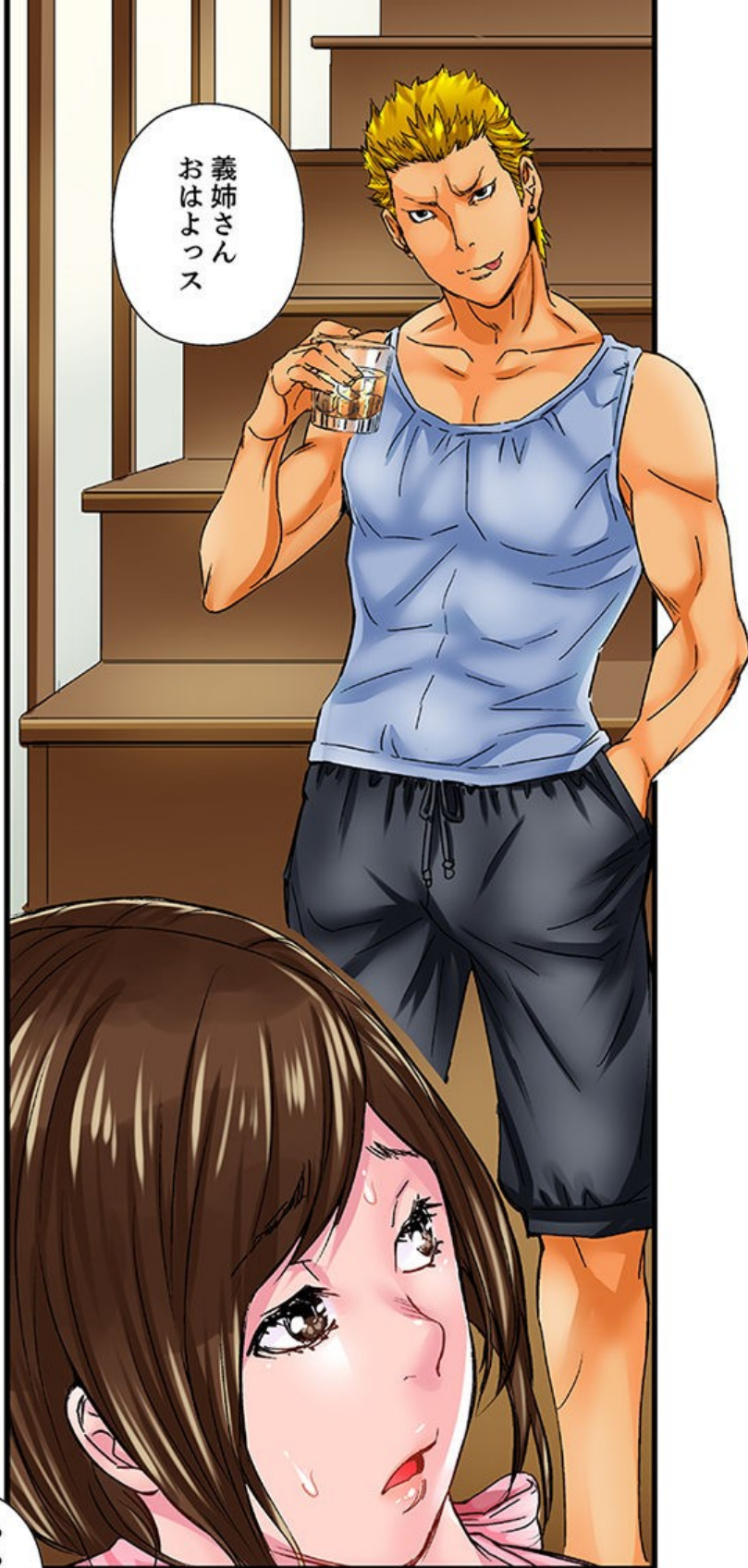


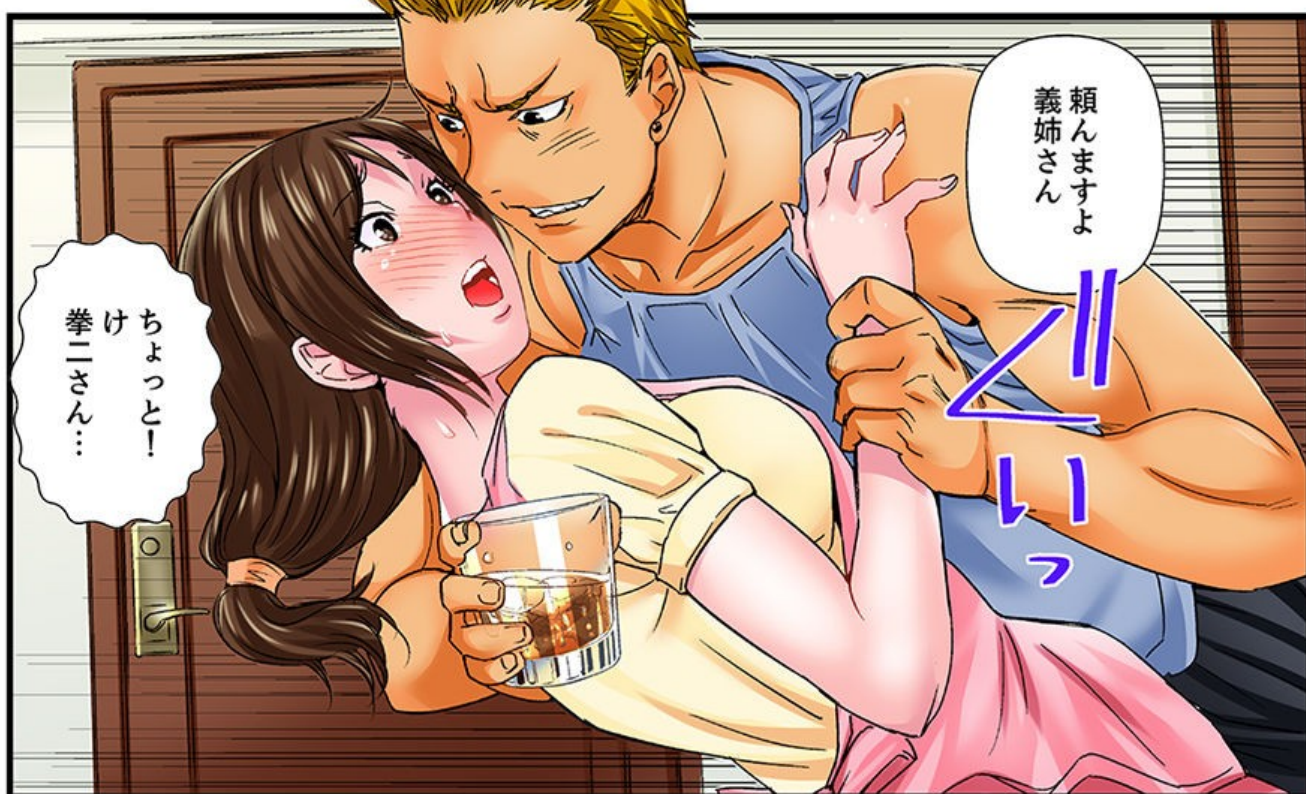
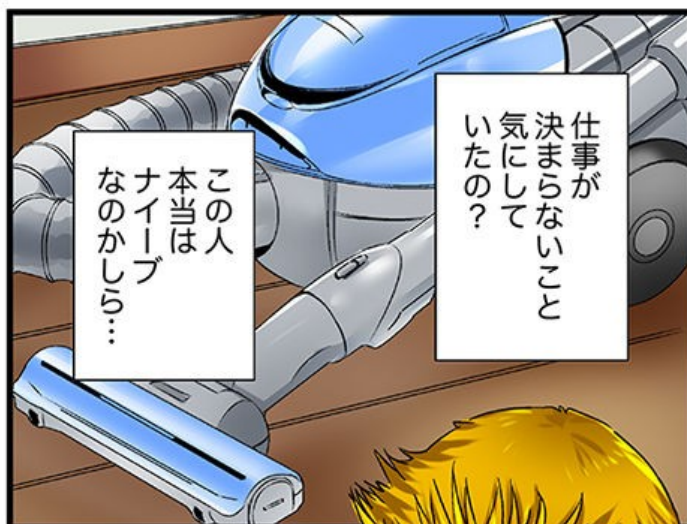
拳二さん
夫妻との
同居が
始まってから

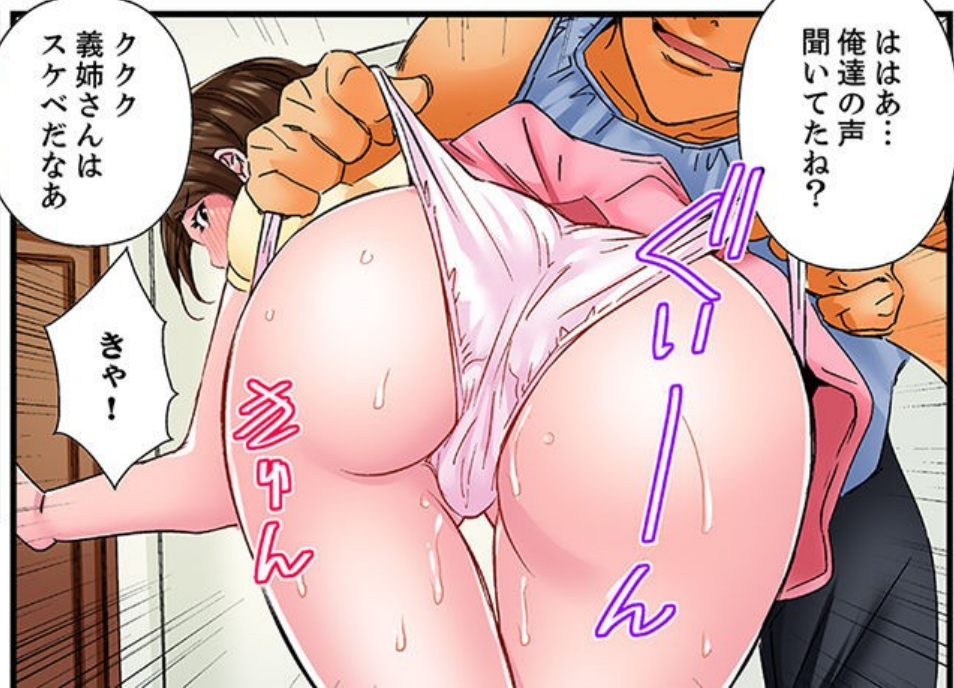
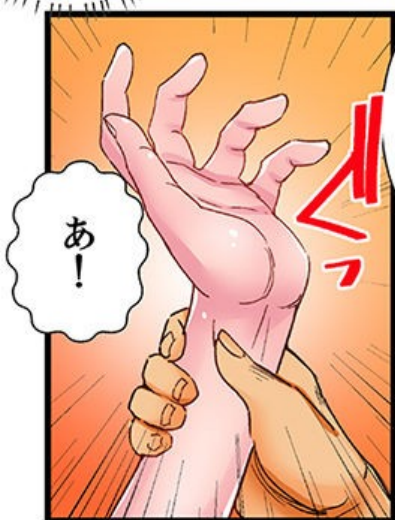
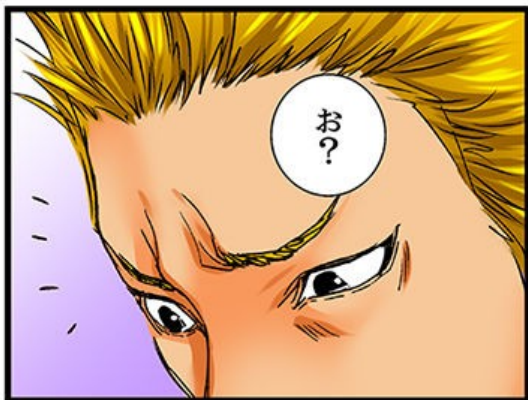


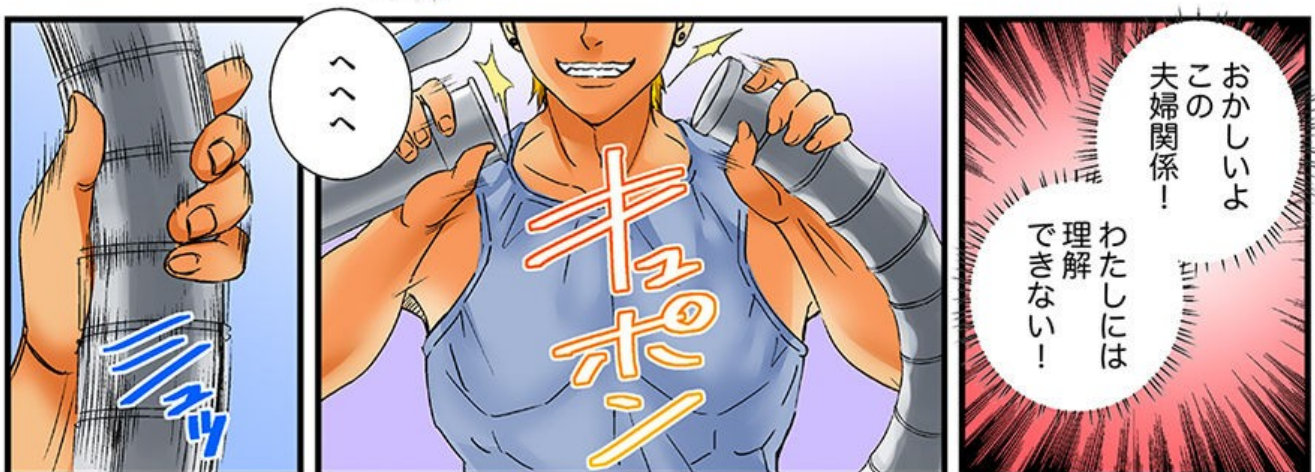
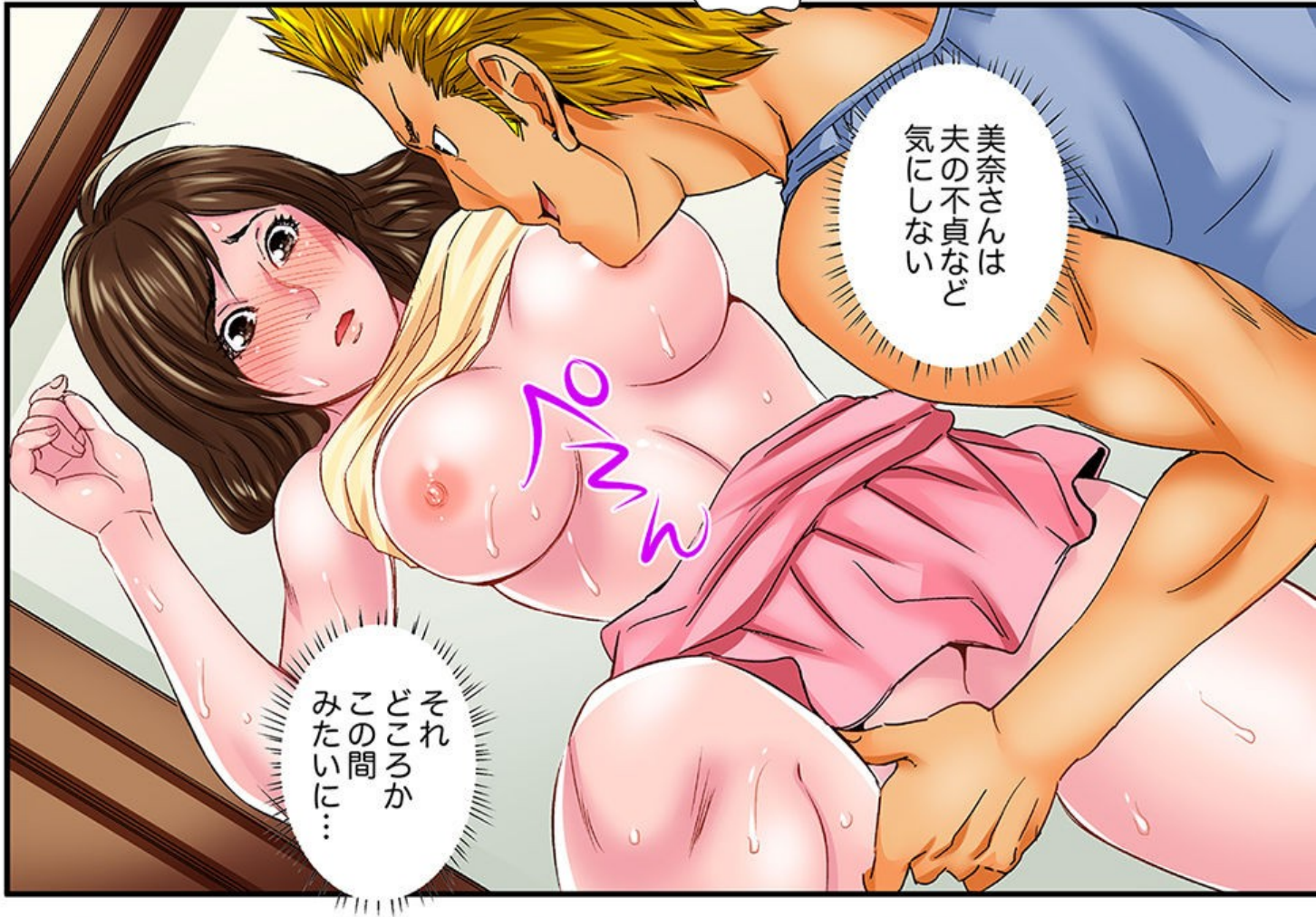


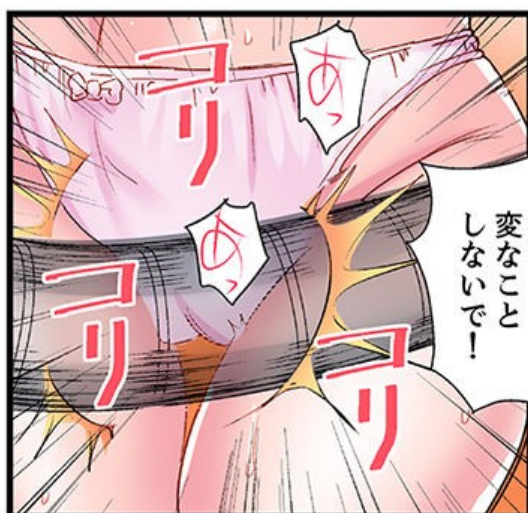
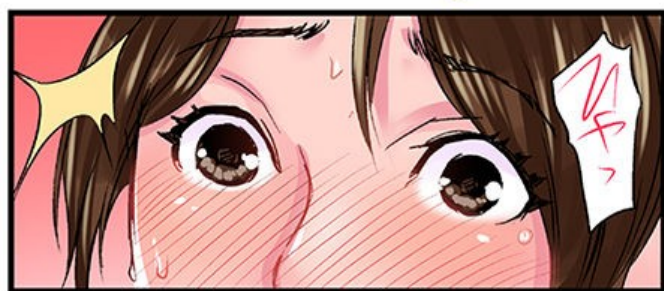
下半身の
熱さが
治まらない…

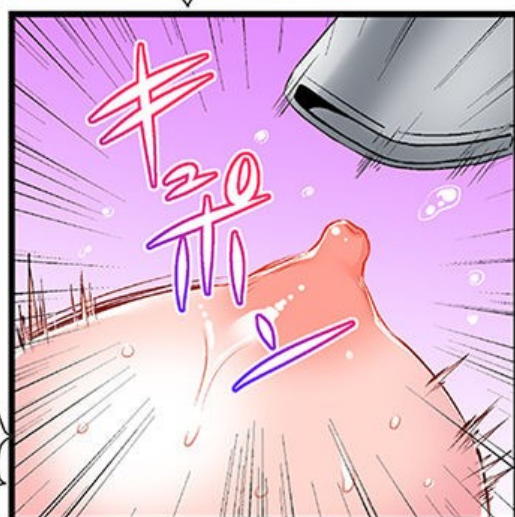
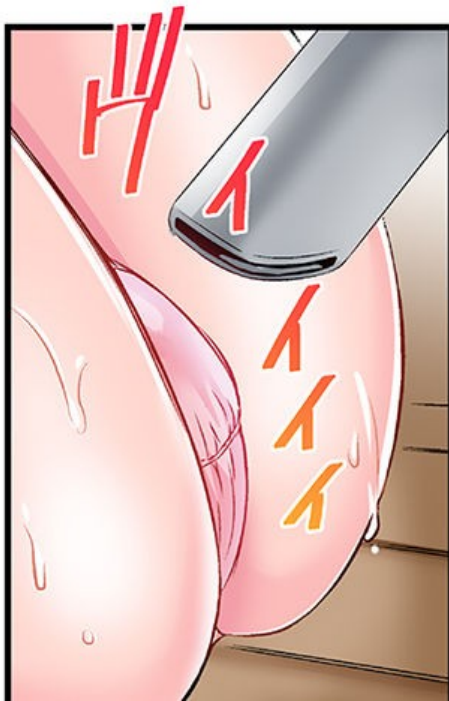


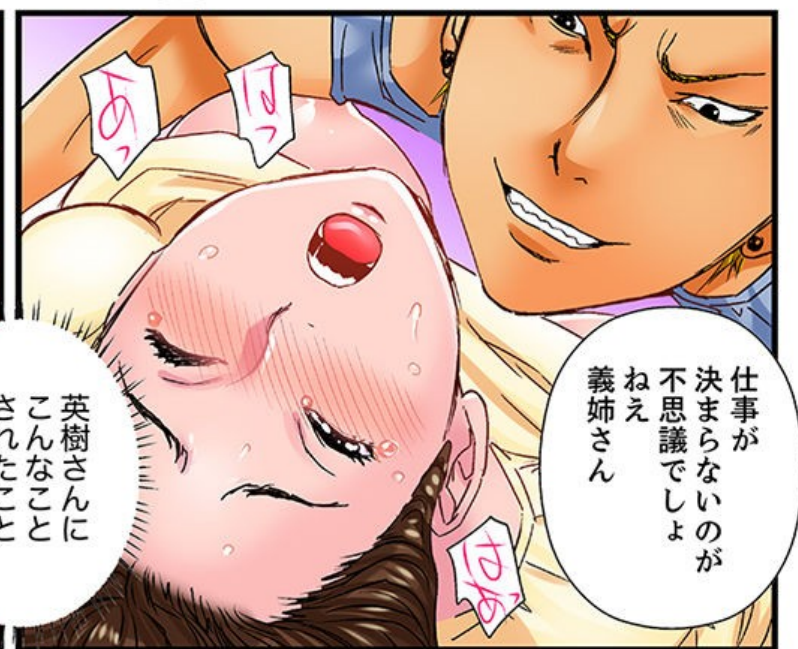
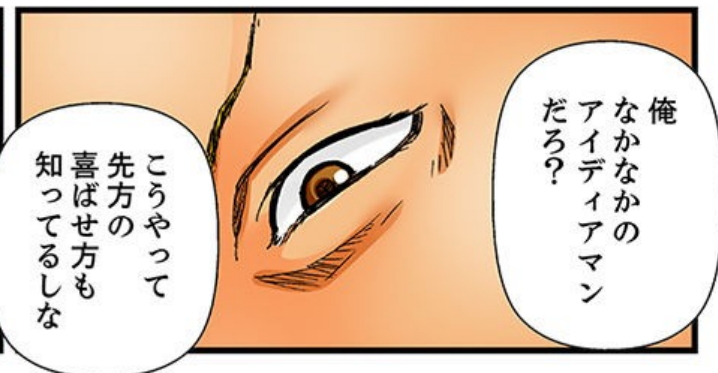
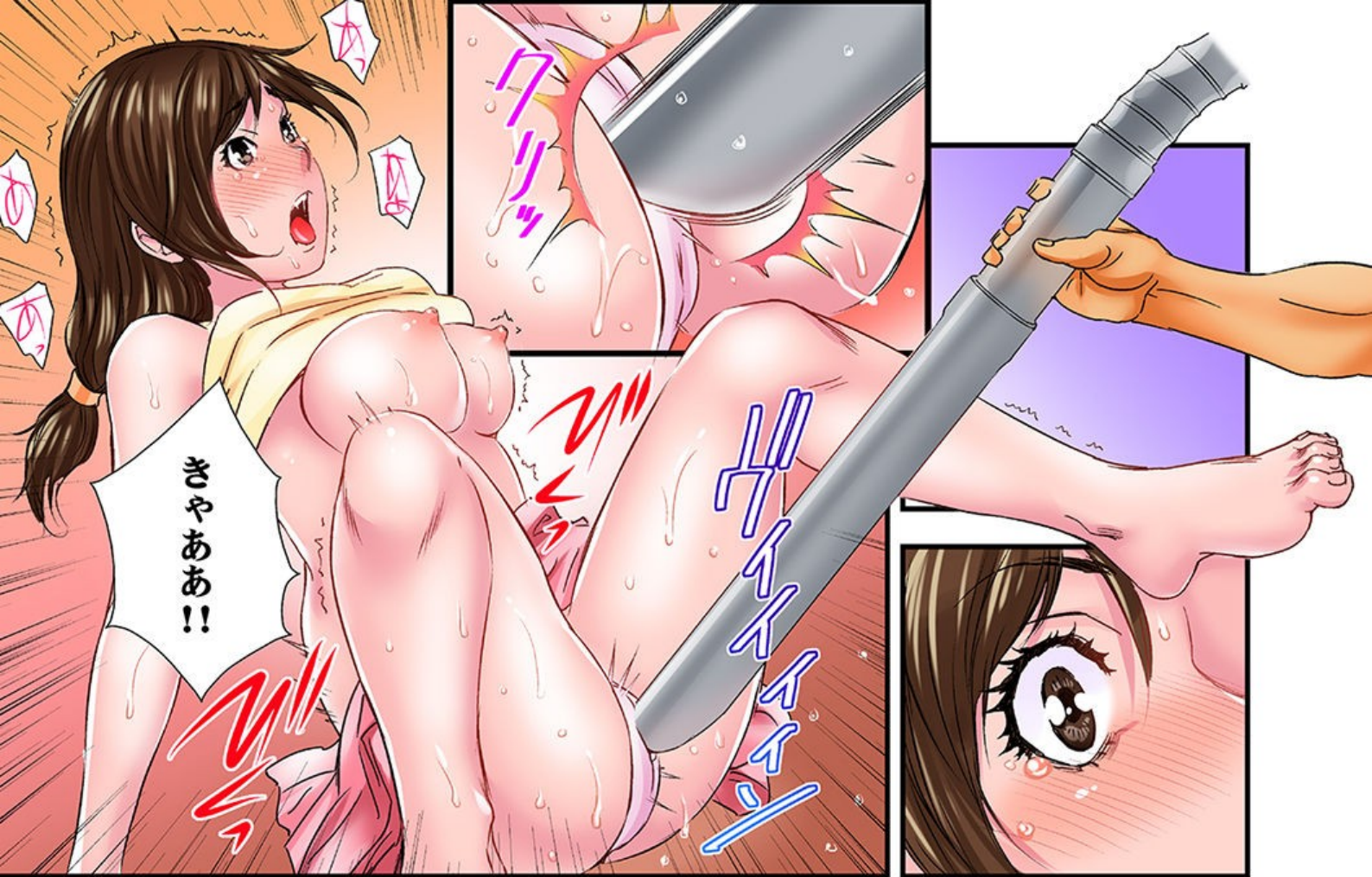


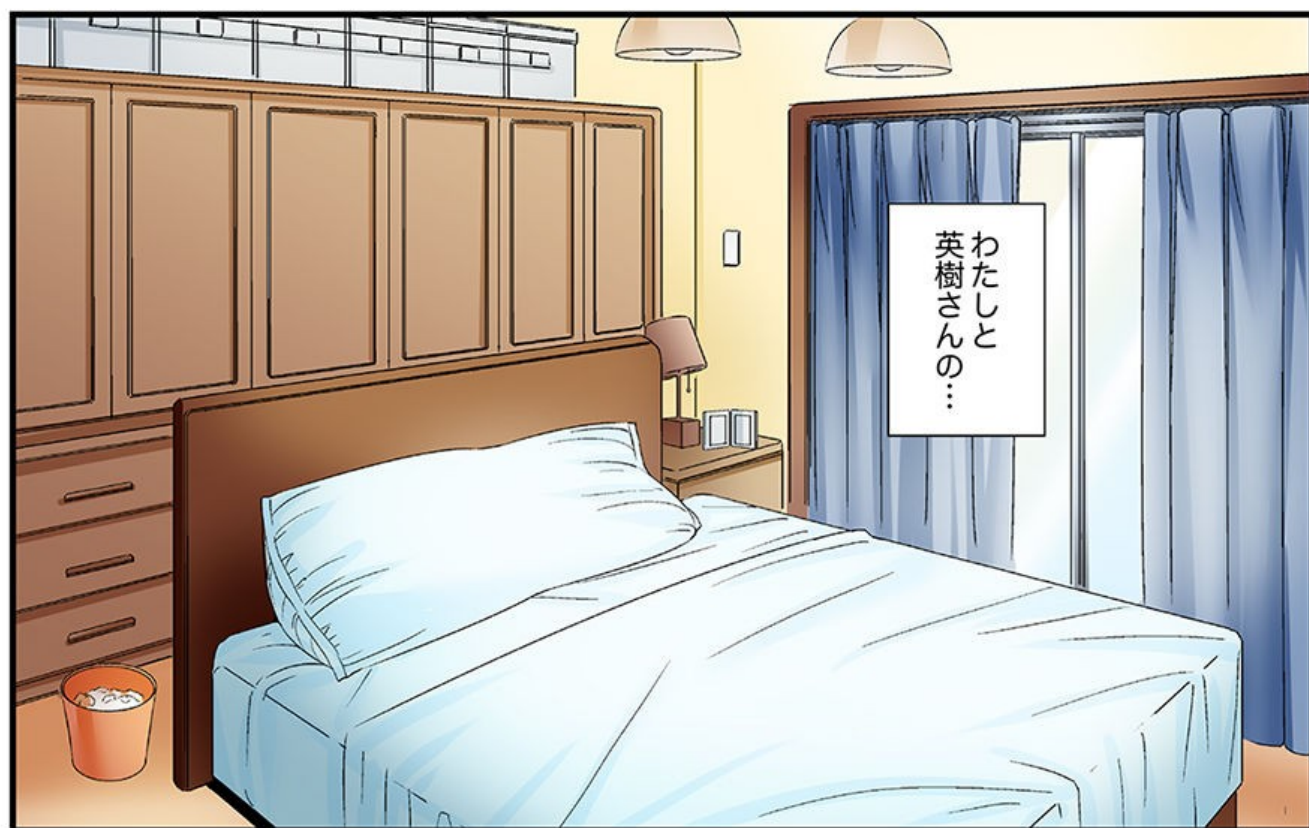
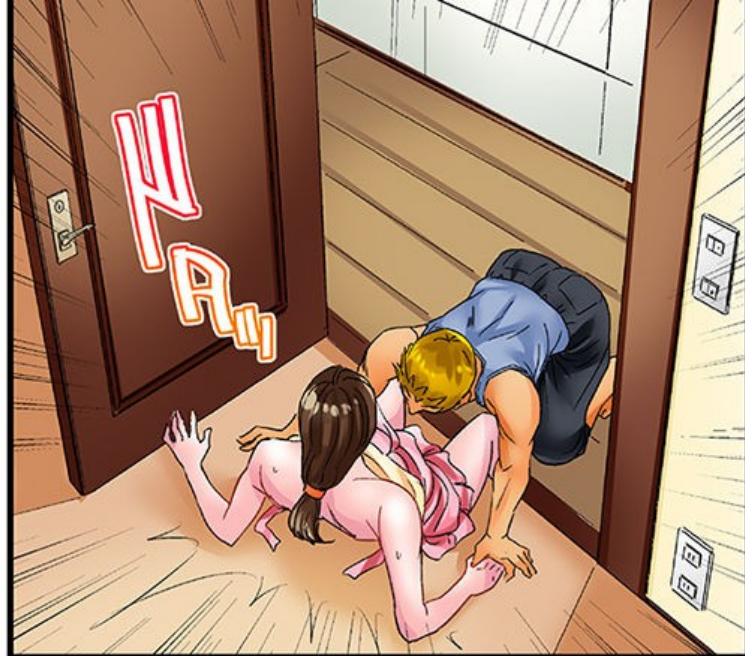


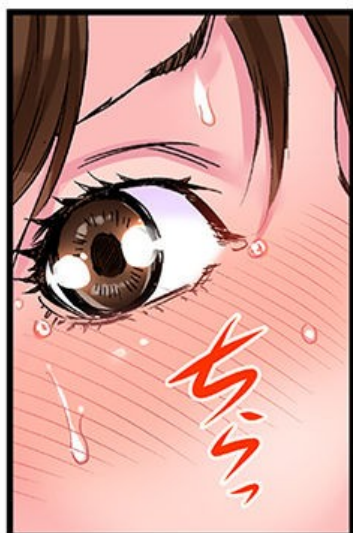


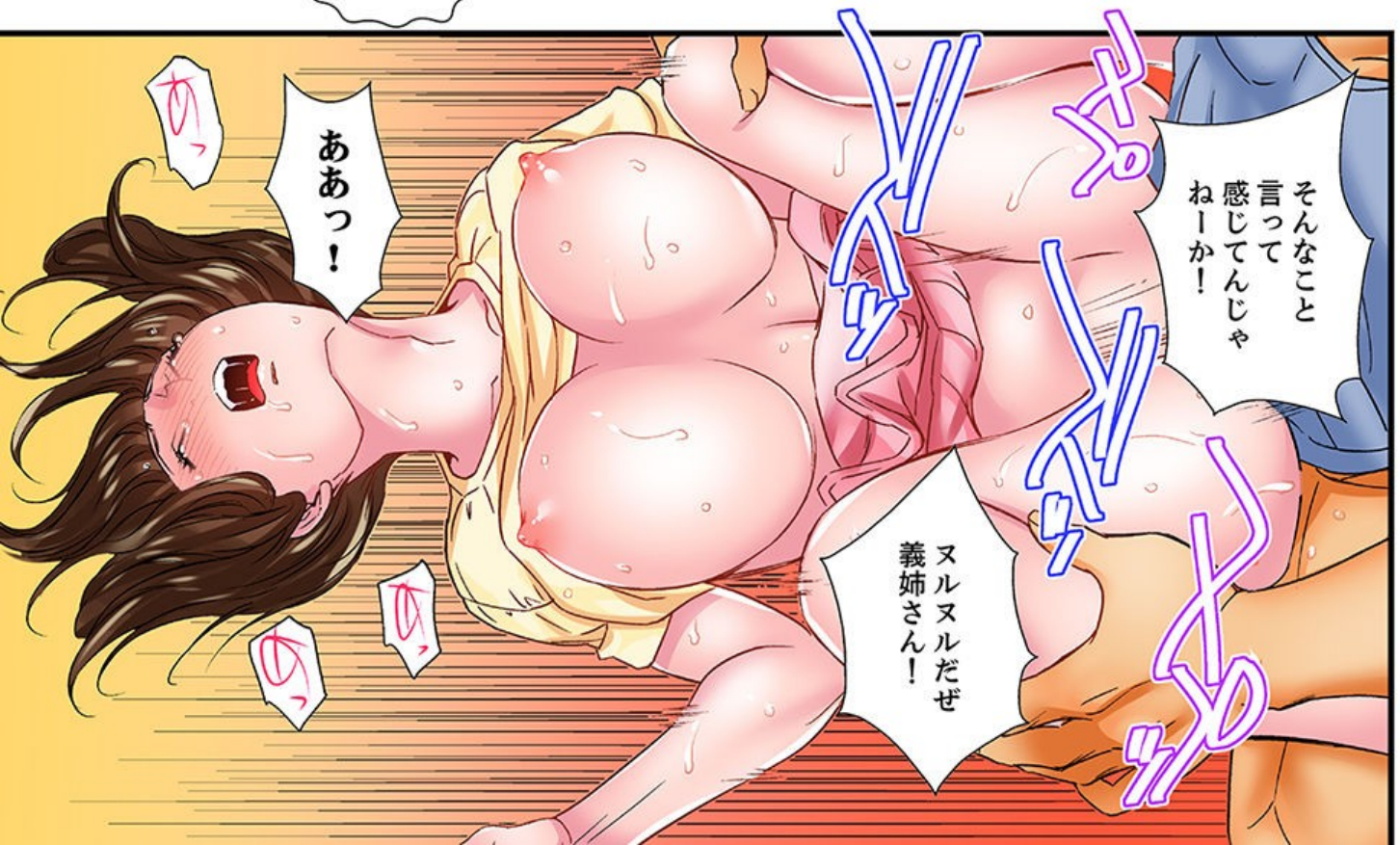
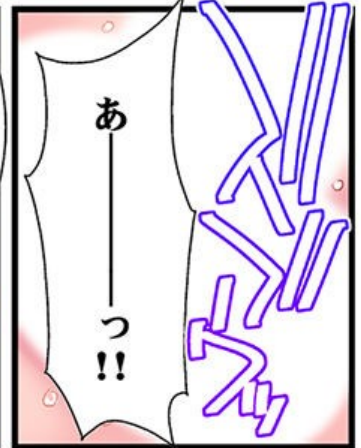














わたしの
懇願など
聞こえぬ
かのような

激しい
陵辱



感傷に
浸る暇も
与えずと

激しい
快感が
押し寄せてくる



ごめんなさい
英樹さん

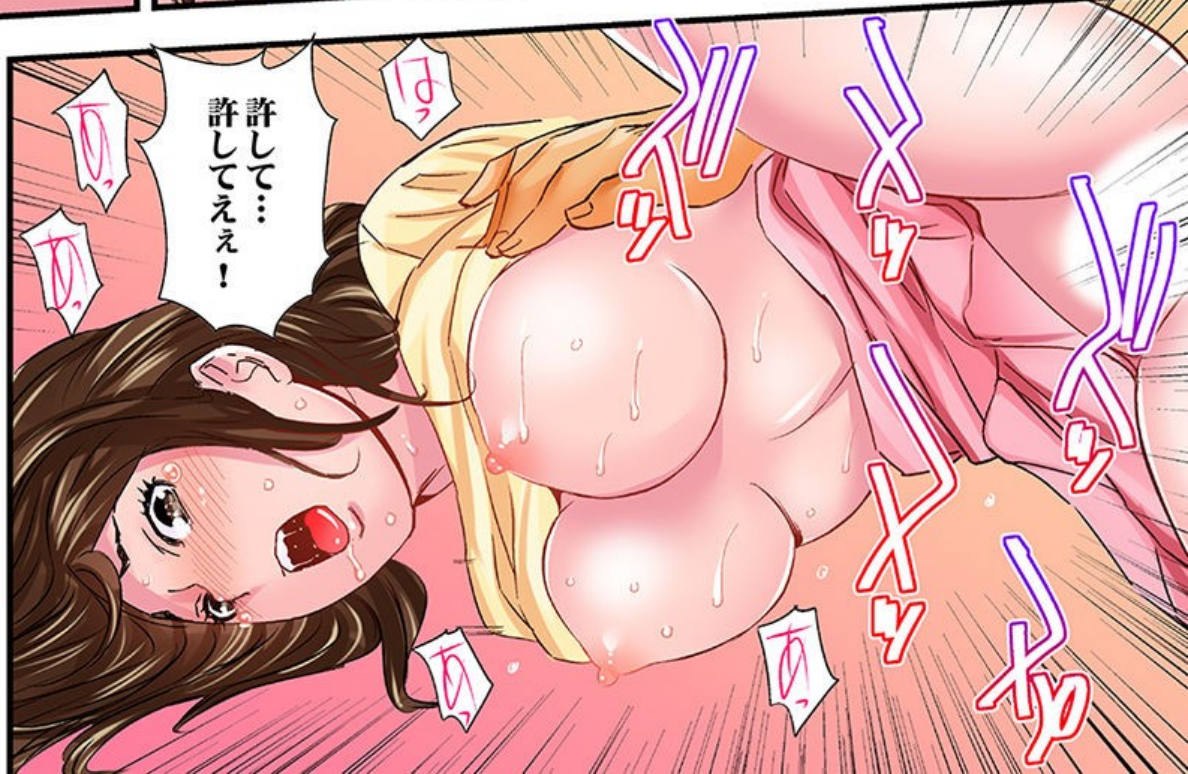
汗と涙で
顔は
ぐしゃぐしゃ



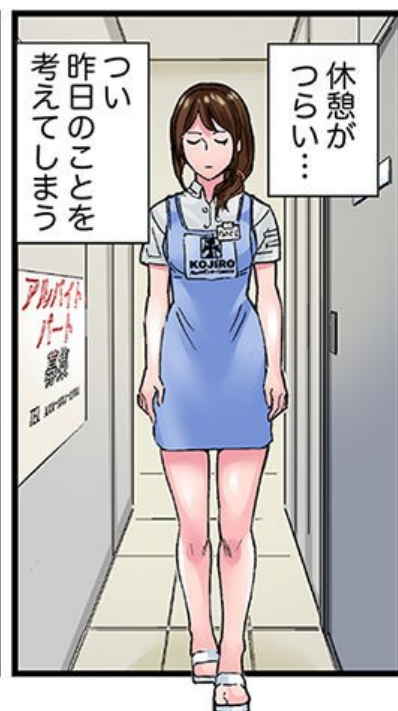
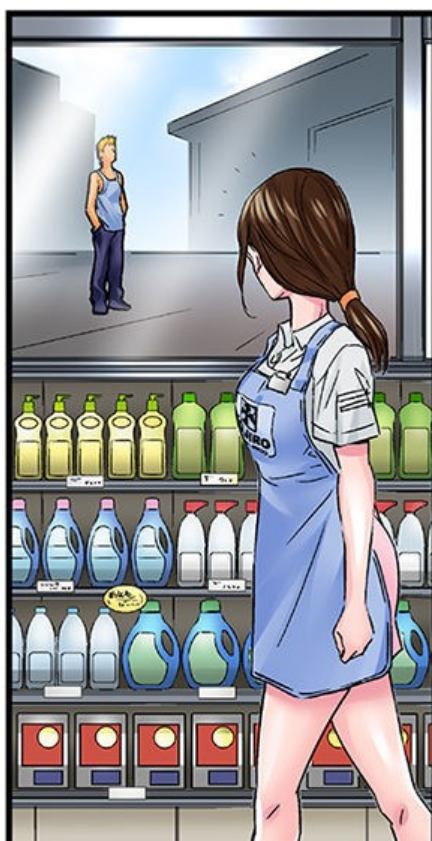
拳二さんの
匂いと
英樹さんの
匂いが
混じりあう

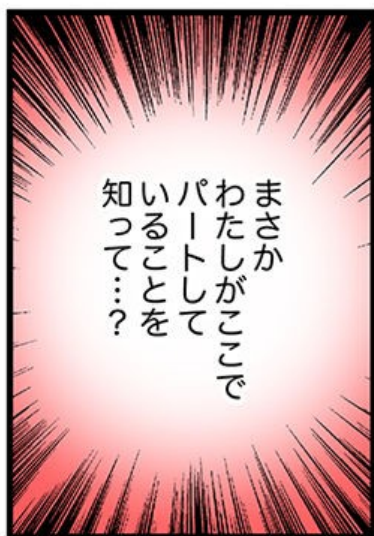
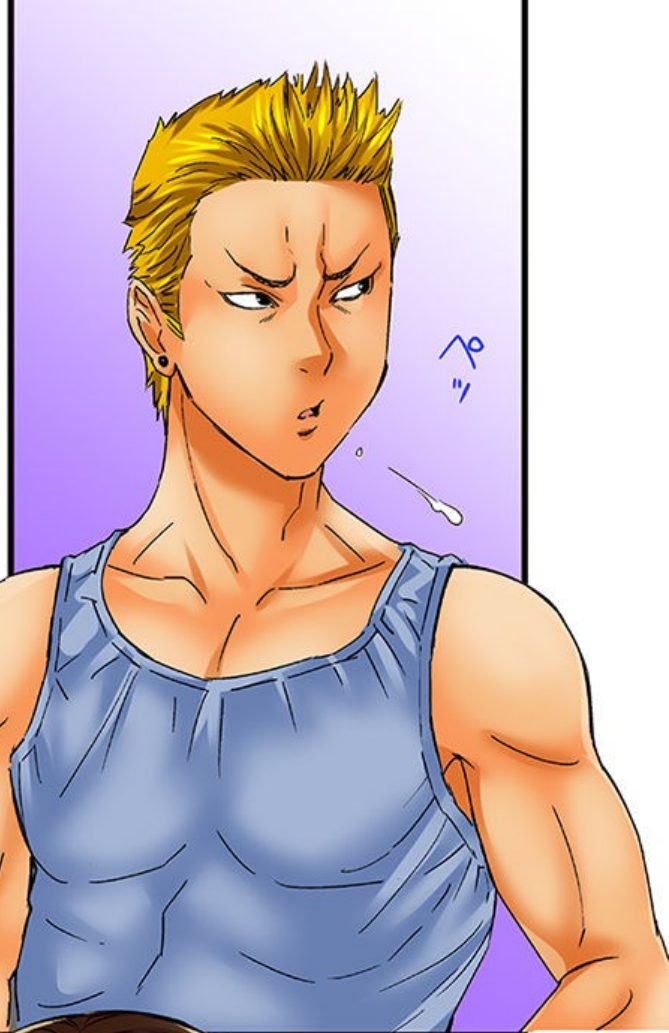
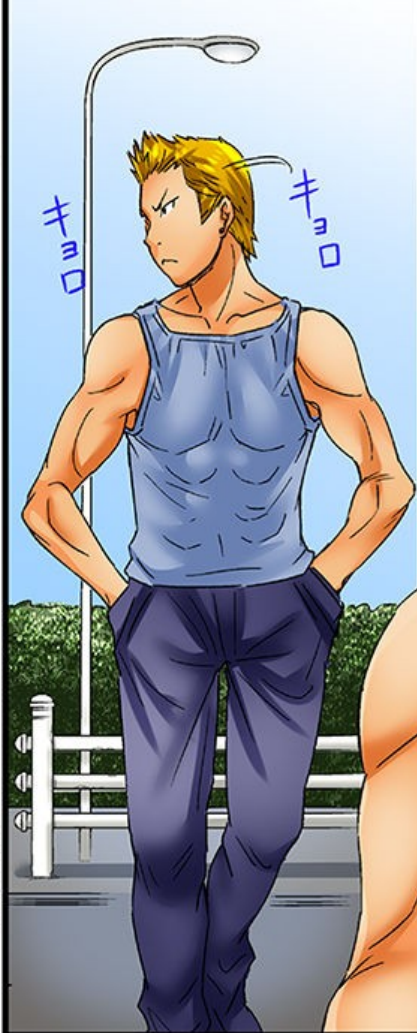
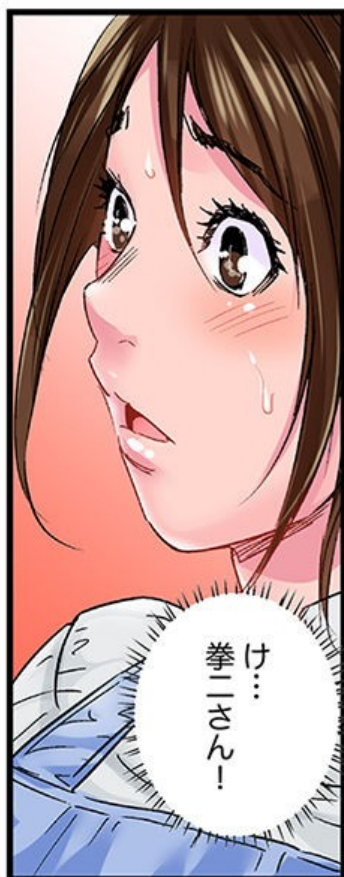


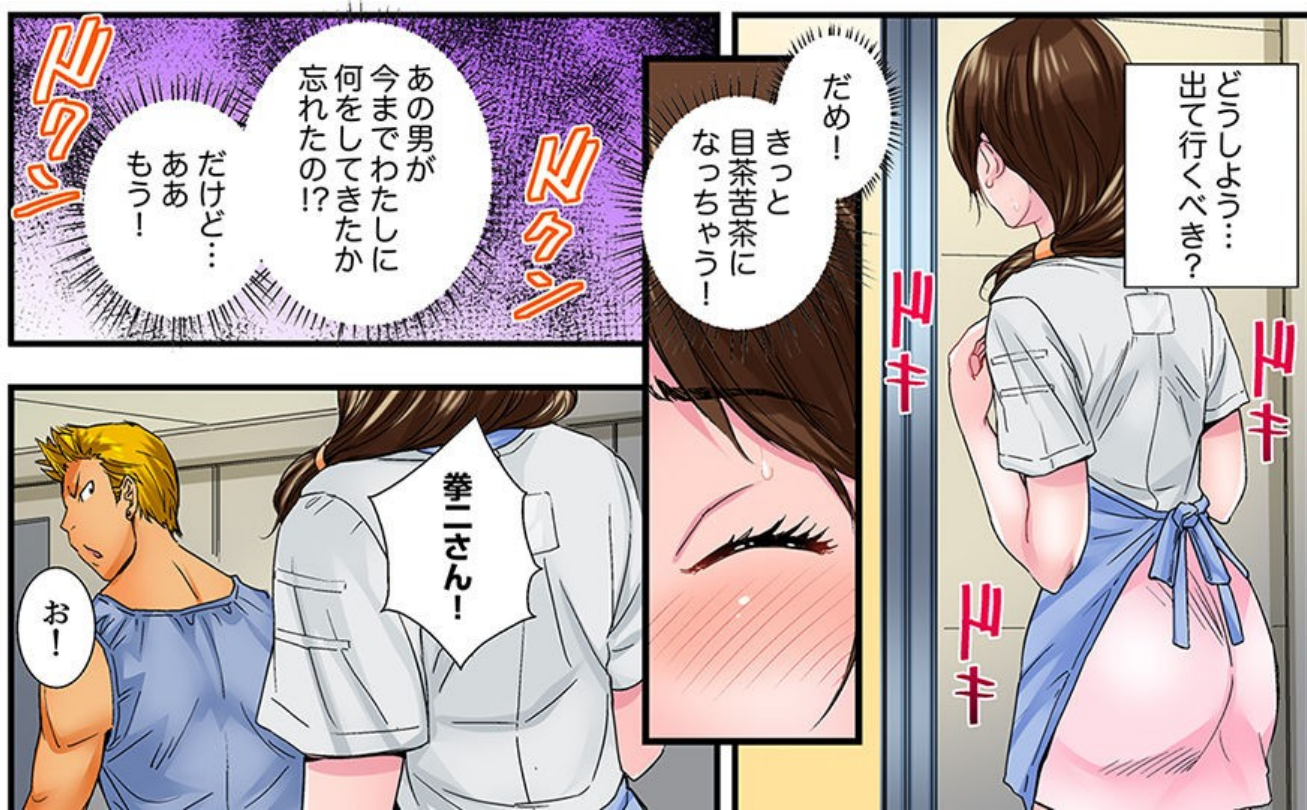
わたしは
泣きながら
何度も
絶頂した



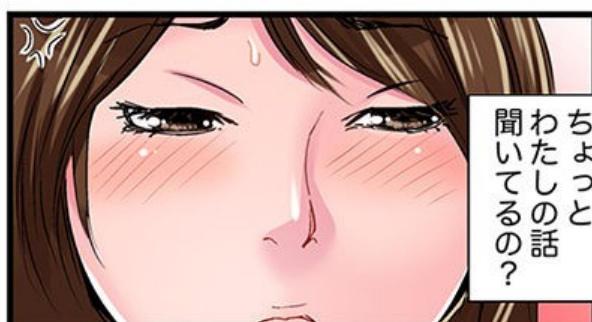
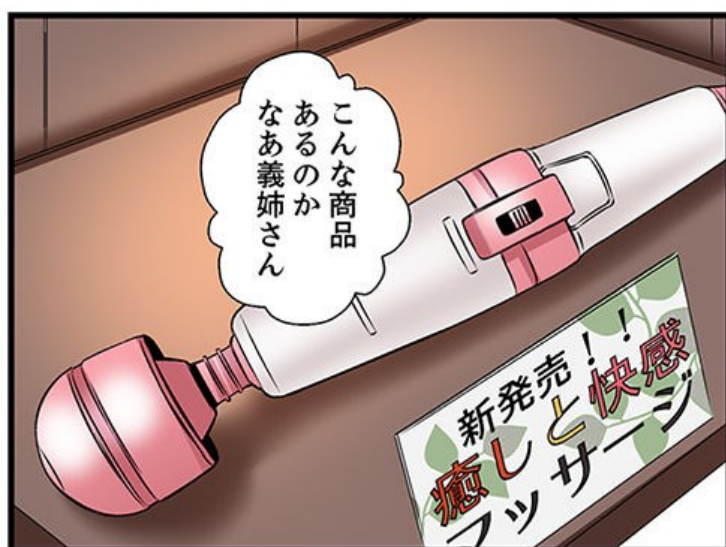
許して…
許してええ！

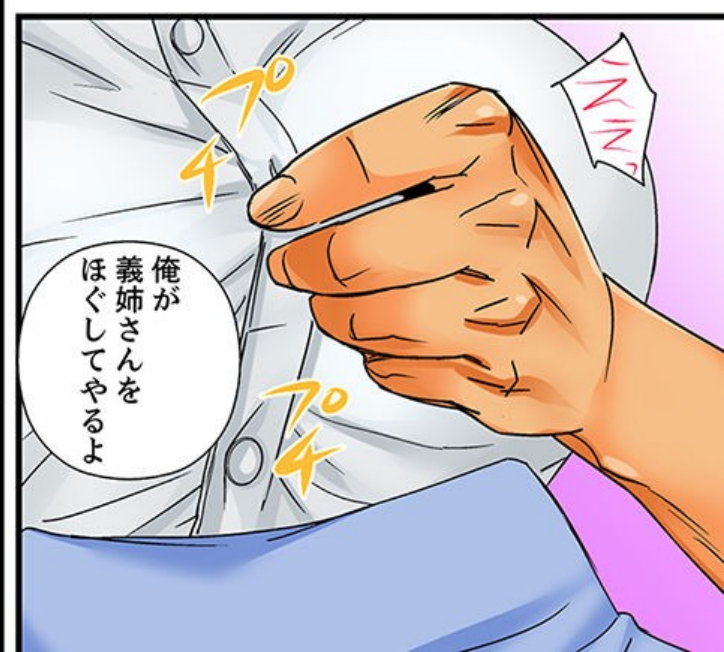
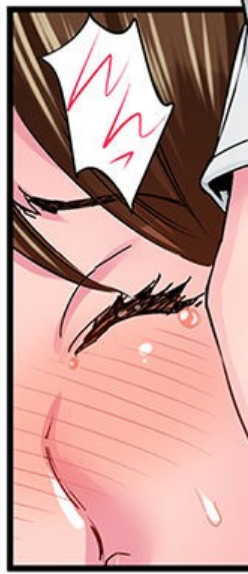
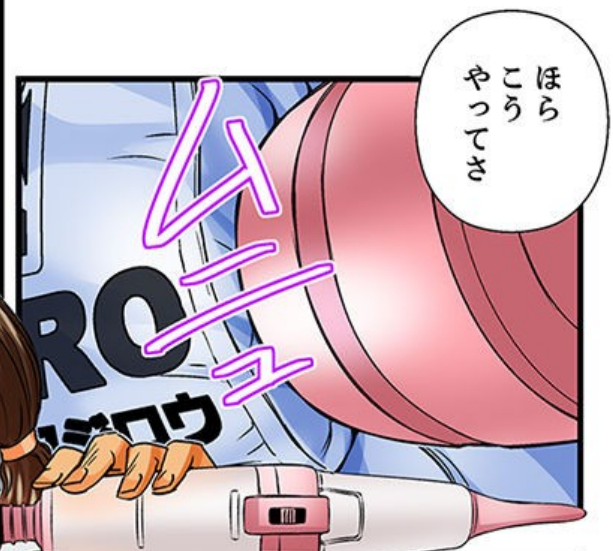
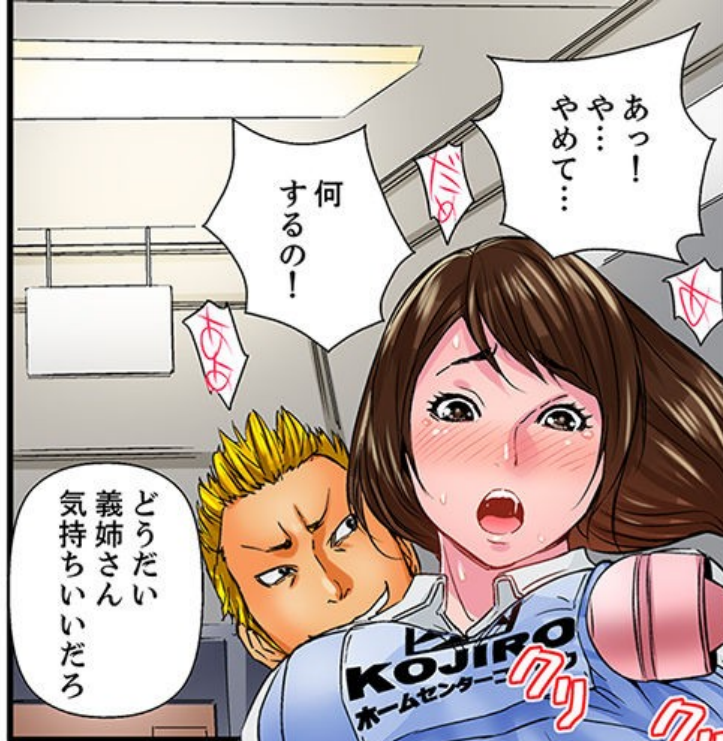


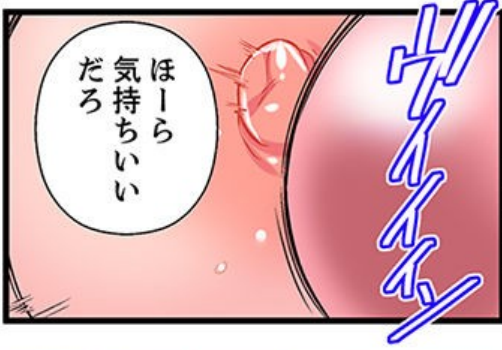


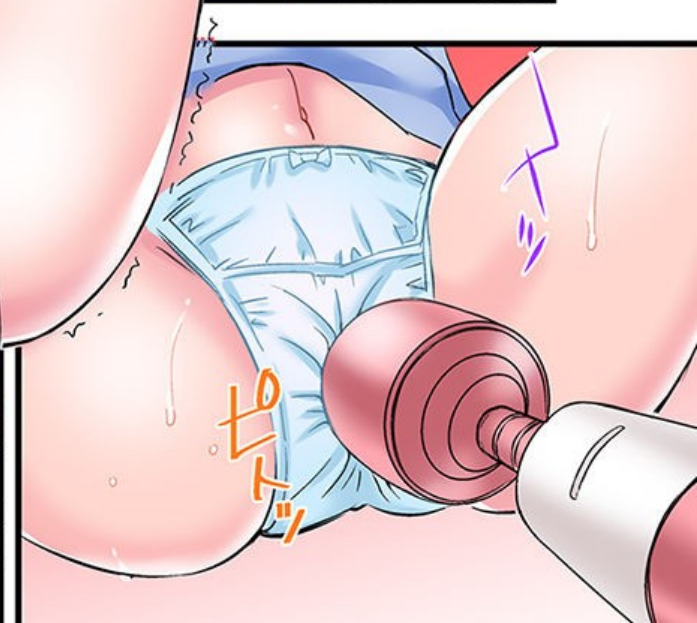
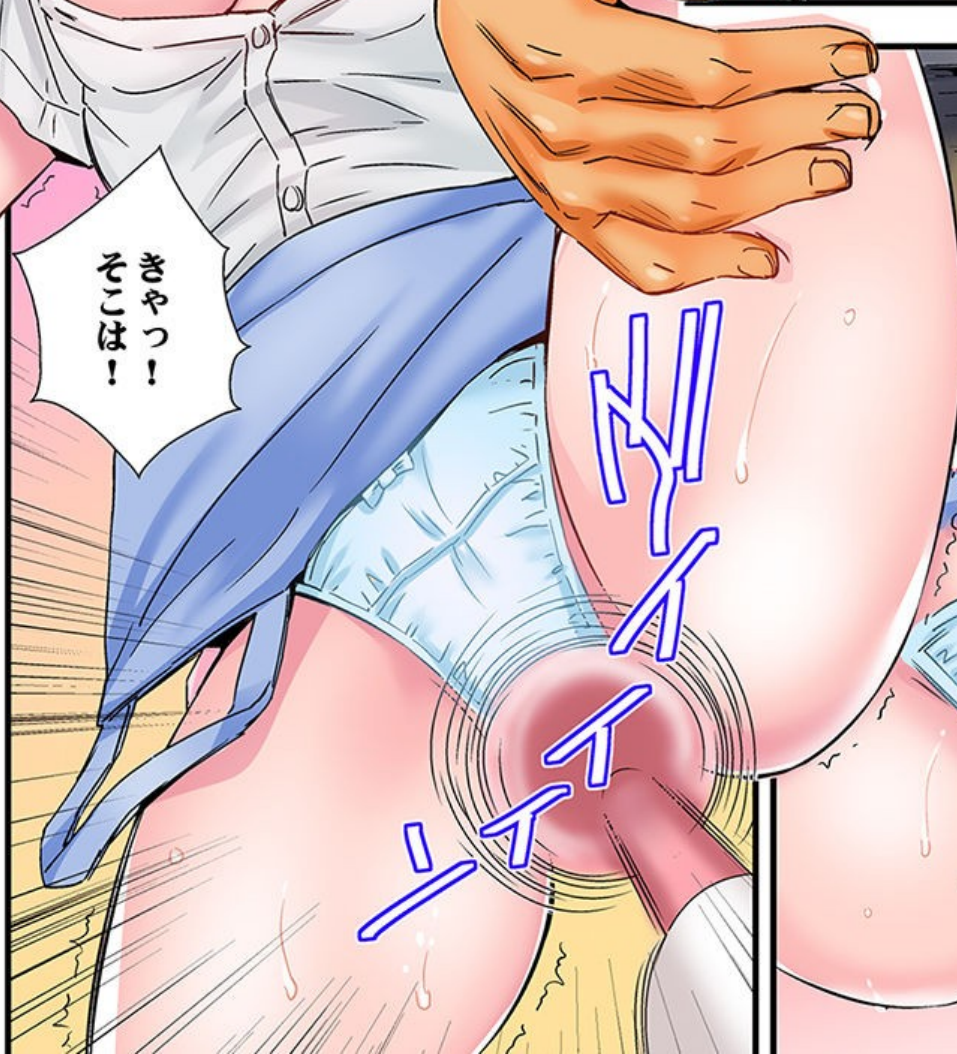
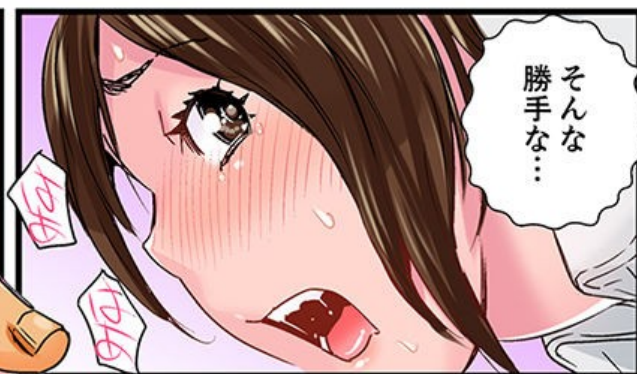
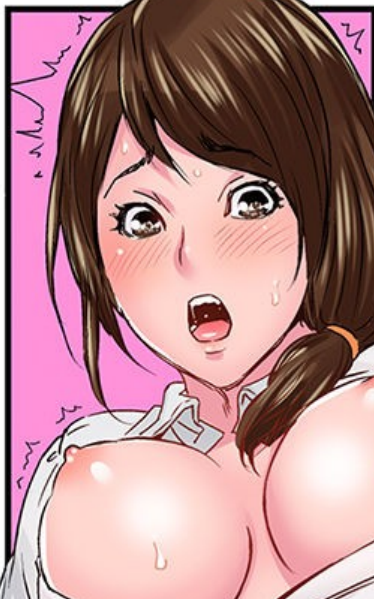
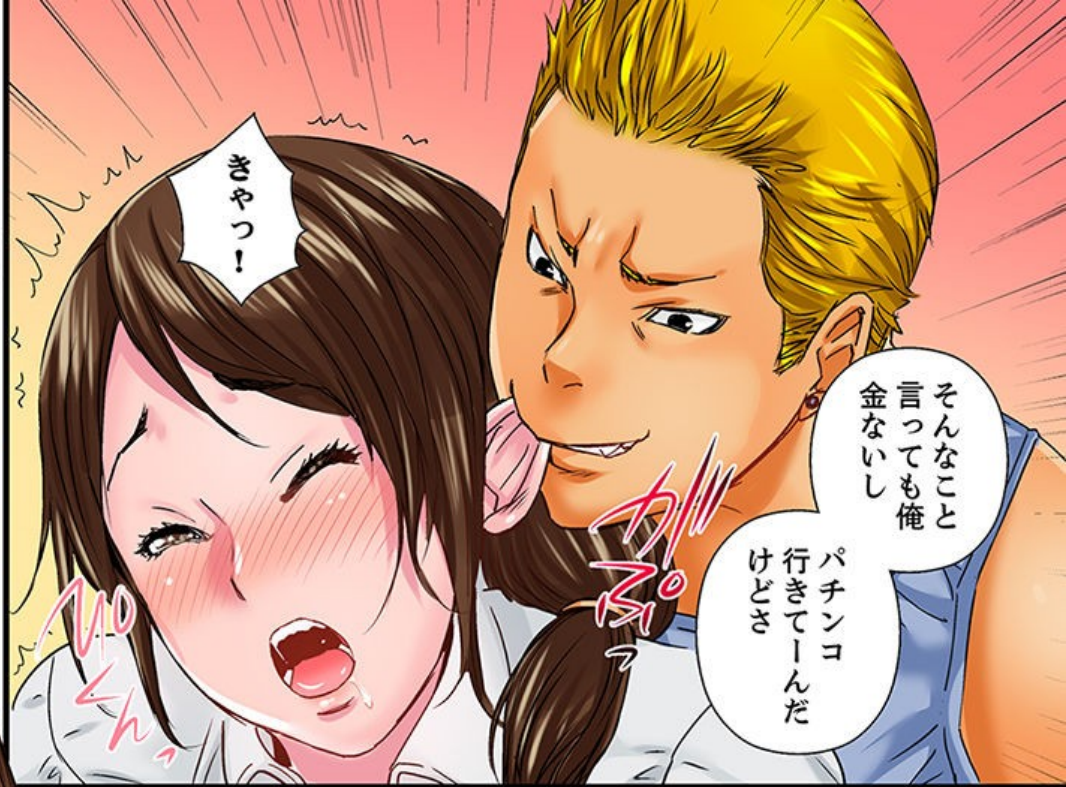


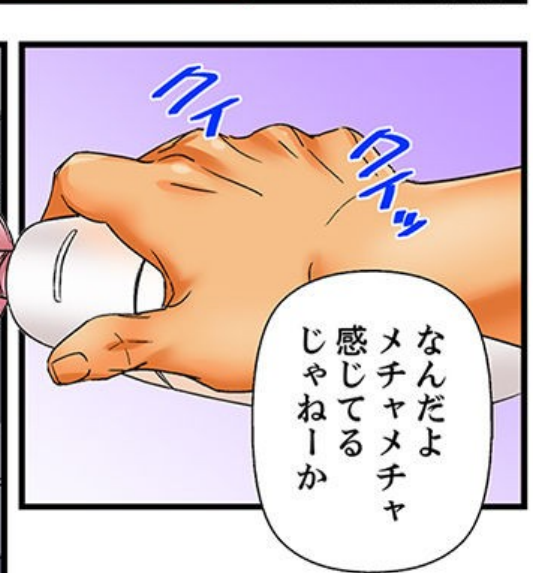
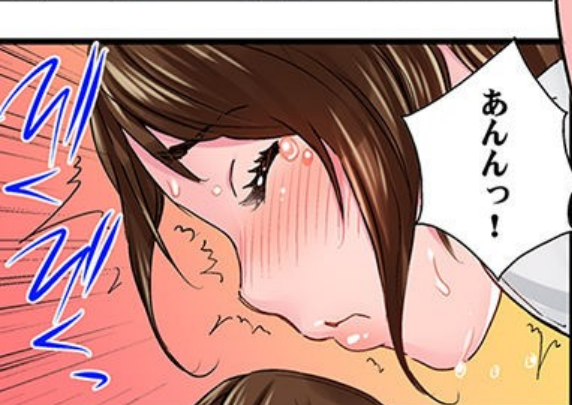












全身
くまなく
愛撫されて

あああ…

頭が
とろけそつに
なっちゃう

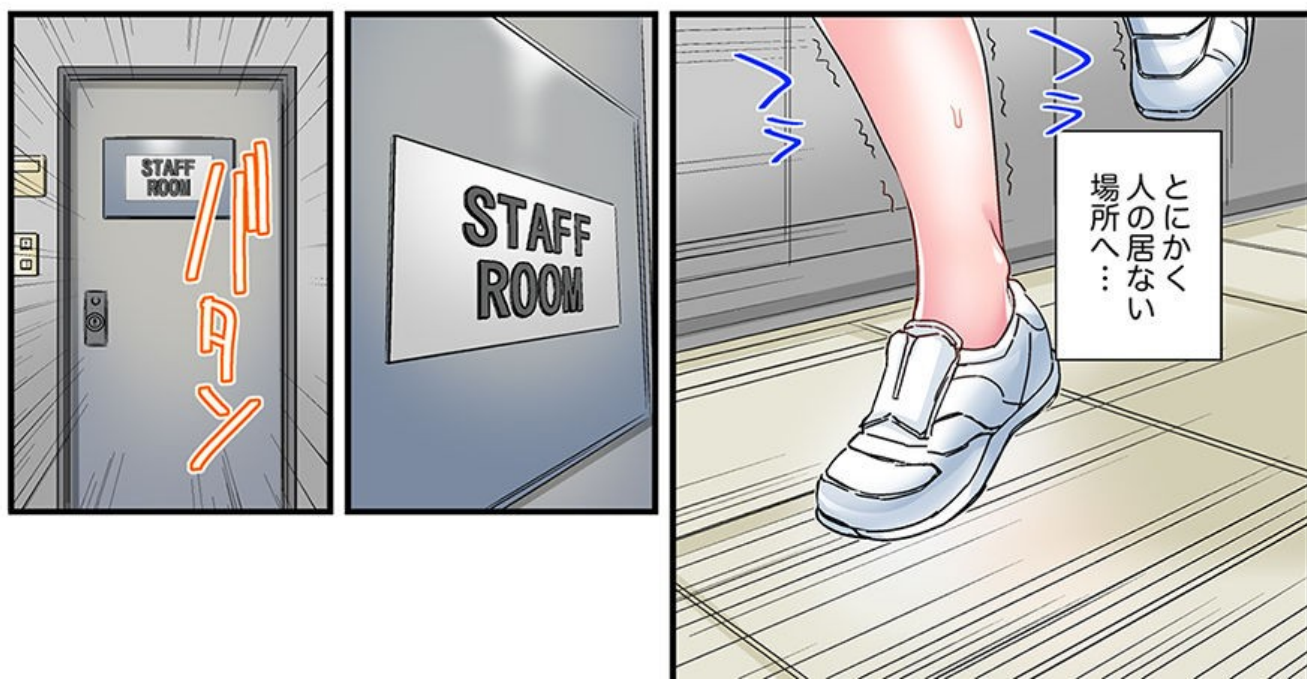
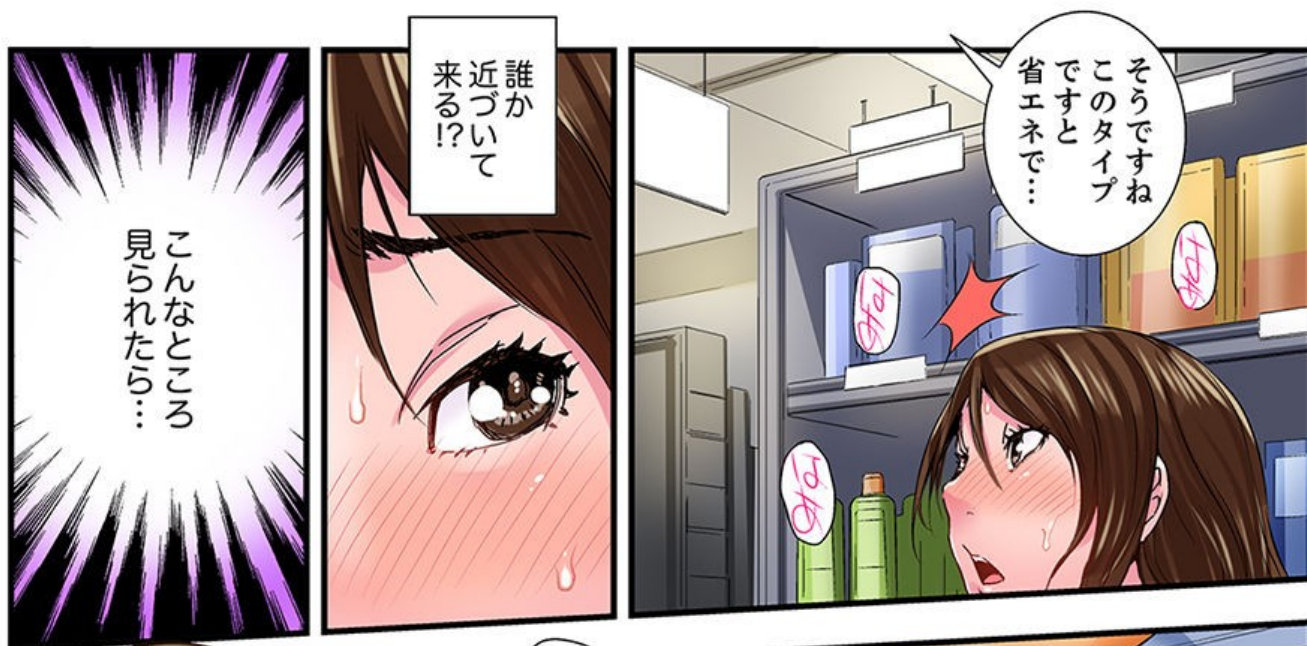
こんなこと
する人絶対
おかしいわ！

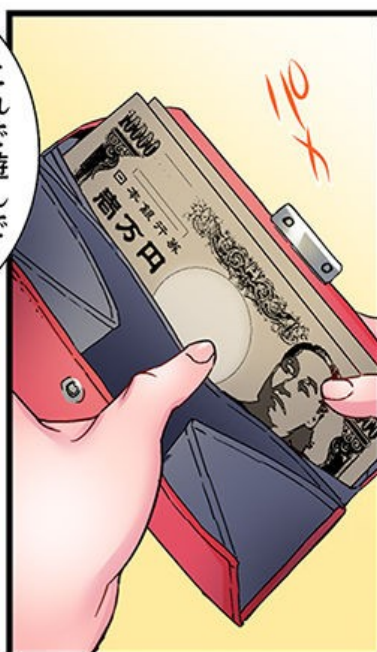
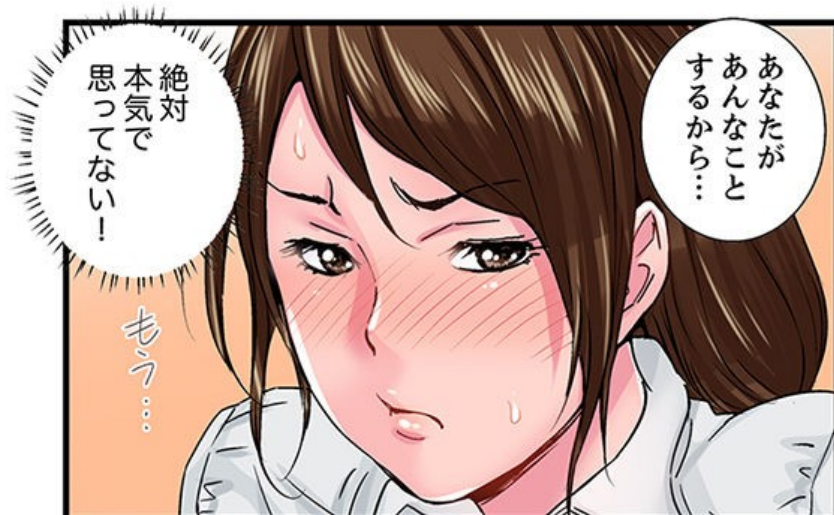
なのに
どうして
わたし
拒めないの？

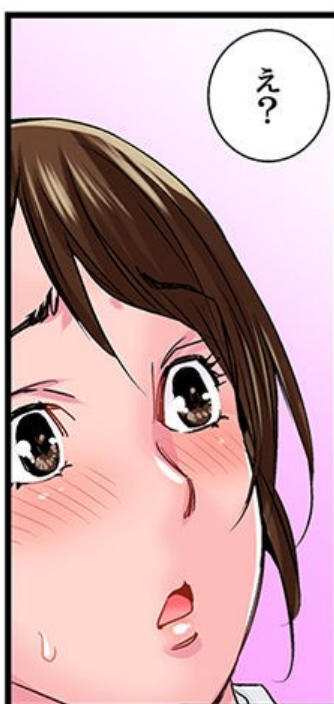
だめっ！
そこを
そんな
直接！

あああつ！

あつ！

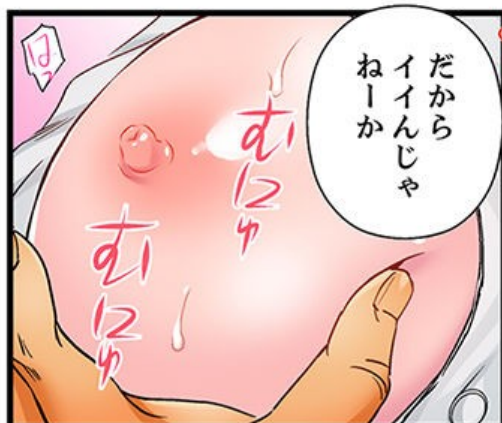








ちょっと！
ダメですっ！
ここは
仕事場
なんですよ！



だから
イイんじゃ
ねーか



拳二さんの
ヘンタイっ！



俺はさ
恩義には
厚い男
なんだよ

小遣いの
お礼に
義姉さんを
気持ちよく
してやるよ



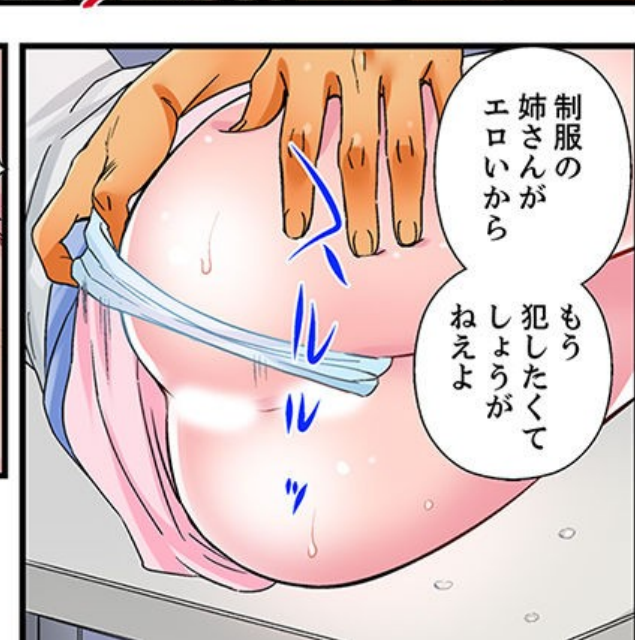
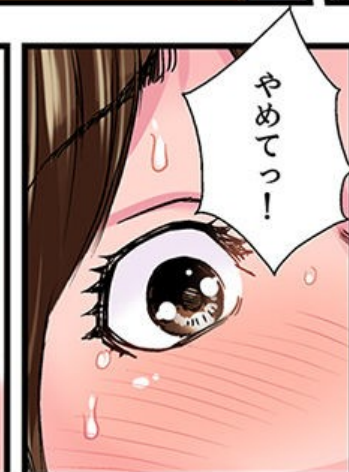
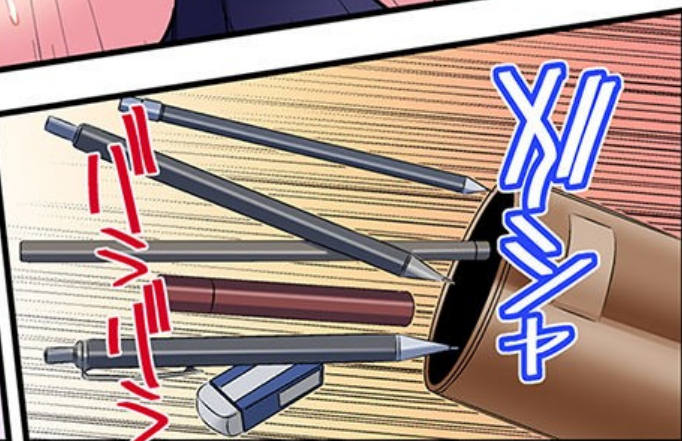
そんな…
あっ！
違いますっ！



義姉さんも
結構
ヘンタイじゃん



ほうら
さっき
弄られて
びしょびしょ
じゃねーか



制服の
姉さんが
エロいから
もう
犯したくて
しょうが
ねえよ





この人に
犯されるのは
もう
何度目だろう

しかもまさか…
パートの職場で
犯されるなんて…

もっともっと
狂わせてやるぜ
義姉さん

夫の
弟さん…
決して
許されない
関係

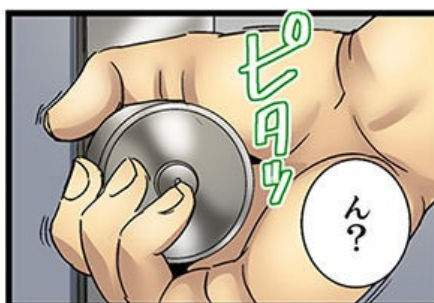
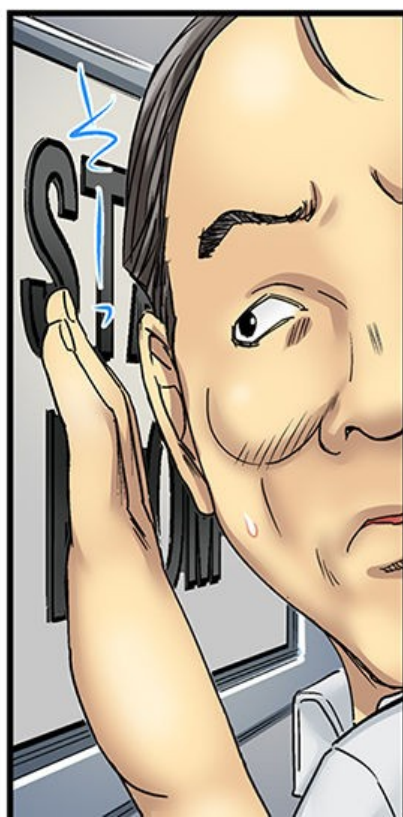
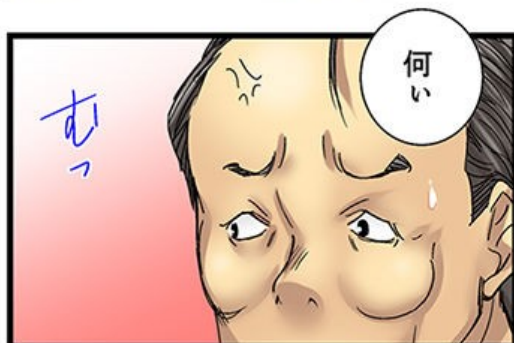
だけど
おかしいの
わたし…

いけないのに…
興奮してる
感じてる！

ごめん
なさい！
英樹さん！！

ふしだらな
わたしを
許してえ！！

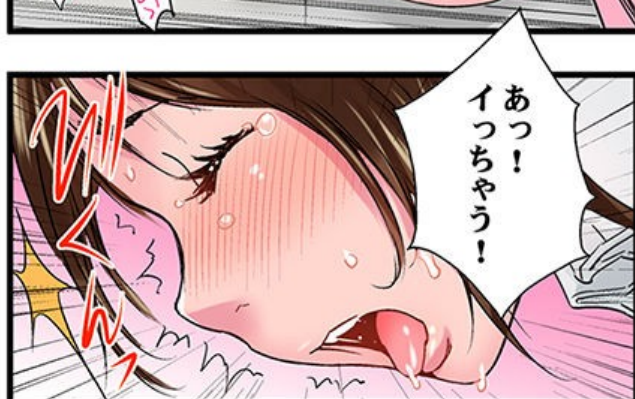
こんなの
だめ！
誰か
助けて！



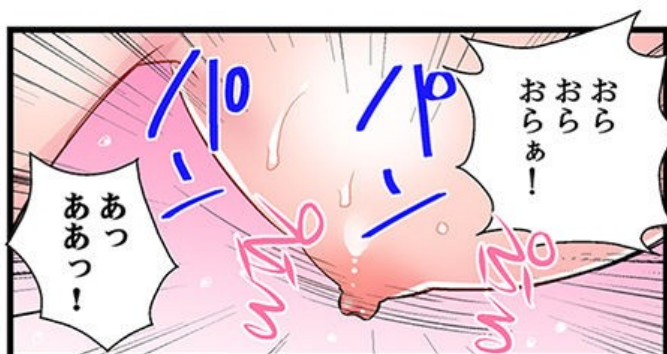


やあつ！
んっ！

へへへ
さつきから
本気汁が
すげえぞ！

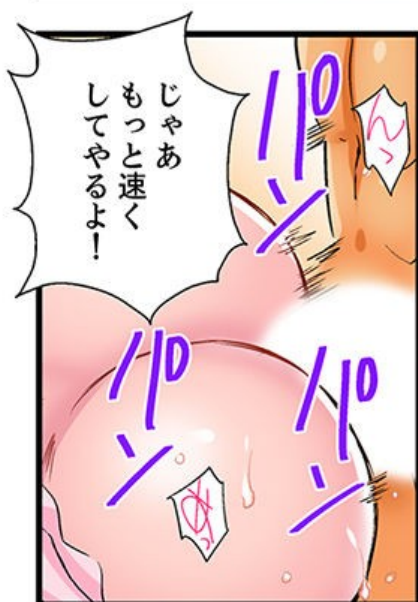


あつ！
いつちやう！



おら
おら
おらあ！

あつ
あつ！



じゃあ
もつと速く
してやるよ！



ウソつけ
おら
おら！



なんだか
義姉さん
すぐイクように
なったな

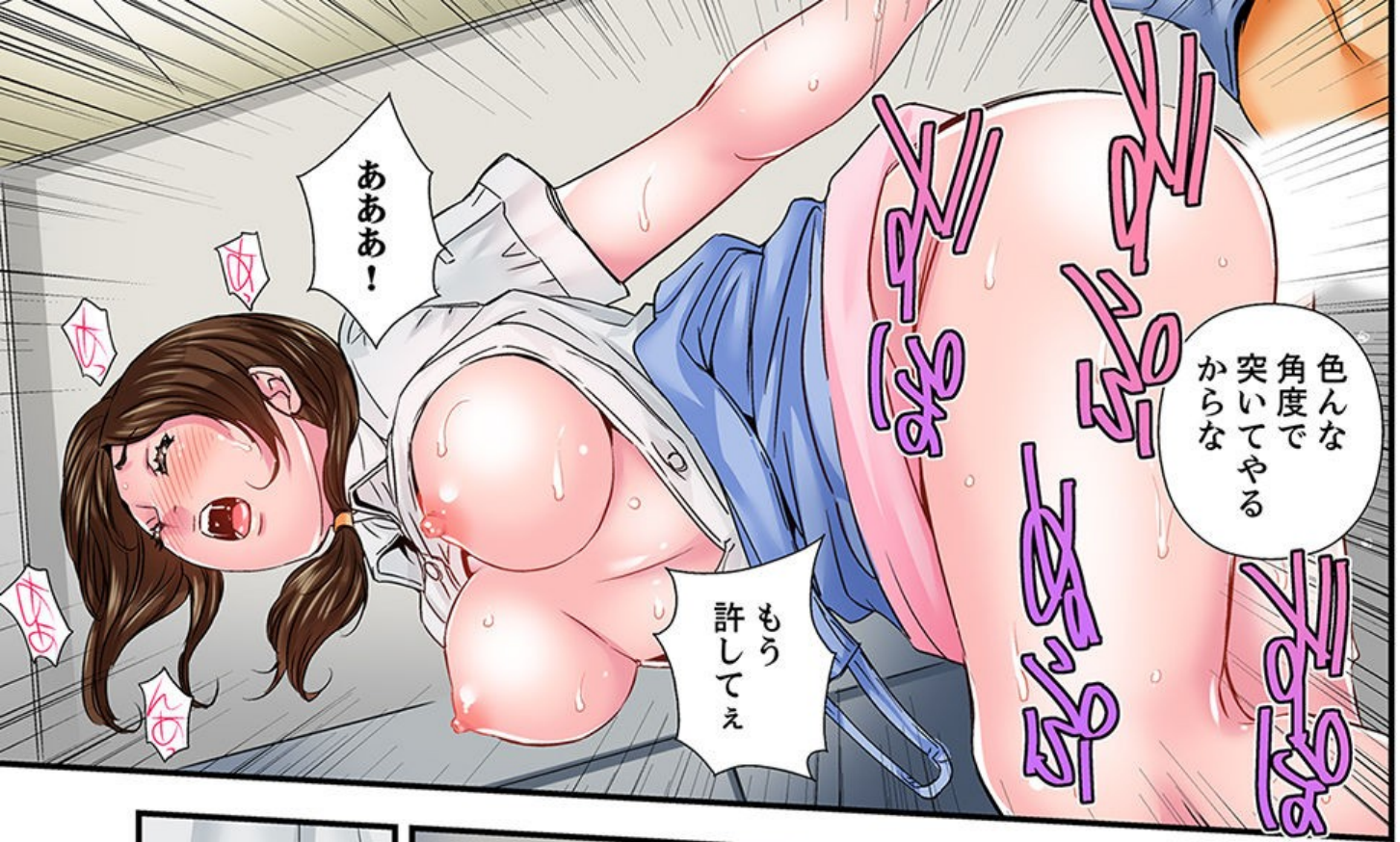
俺の
肉棒に
馴染んで
きたか？
ひやはは！



ひいっ！
スゴイっ！



そ…
そんなこと
ありません！



あああ！

色んな
角度で
突いてやる
からな

もう
許してえ



聴いてる
だけで
ムラムラ
してくる
わい

モニリ



なんと
まあ

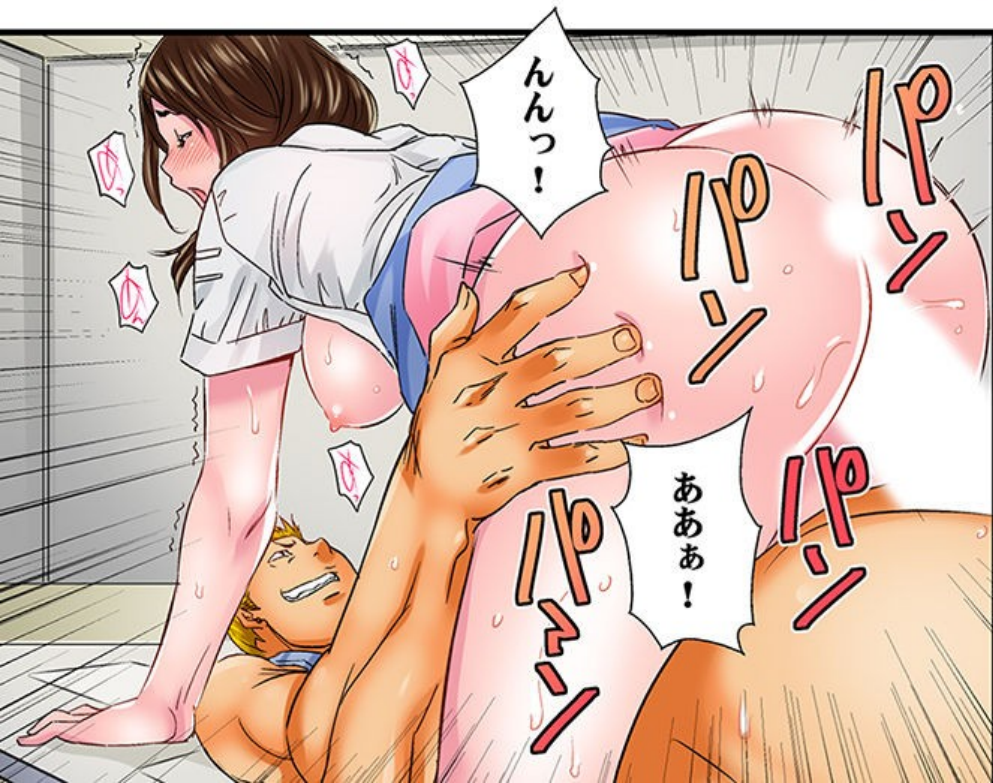
あられも
ない
声出して



あの
おとなしそうな
美人の
堀口さんが...



なんと！
控え室の中で
アし
とるのか！?

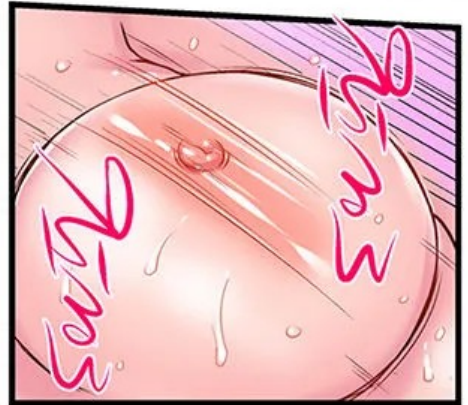


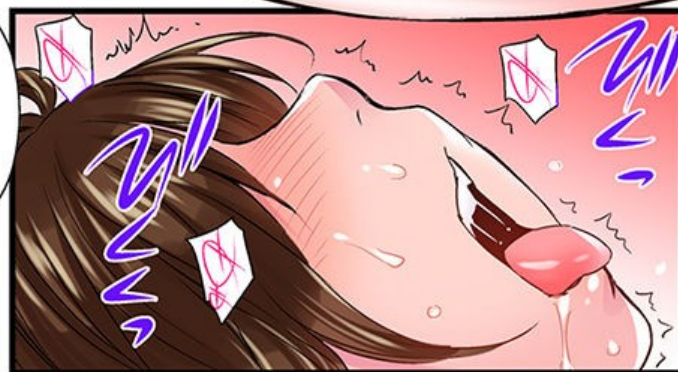
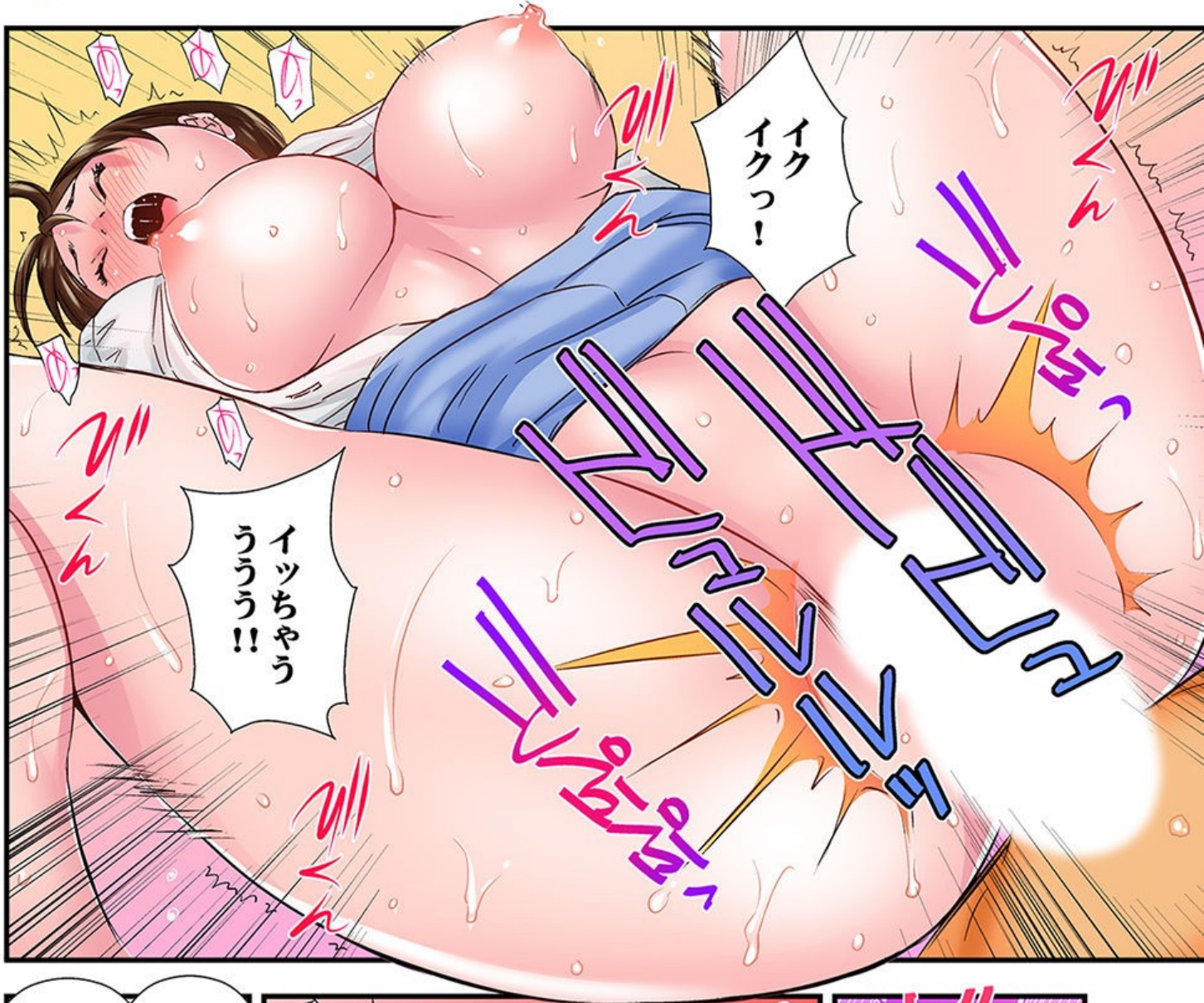
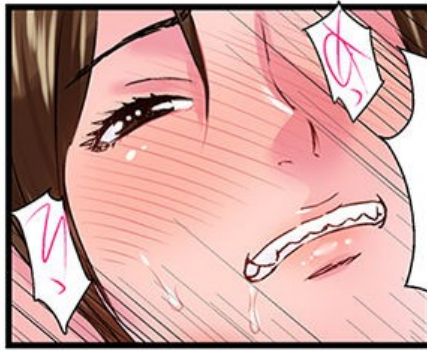
んっ！

あぁあ！

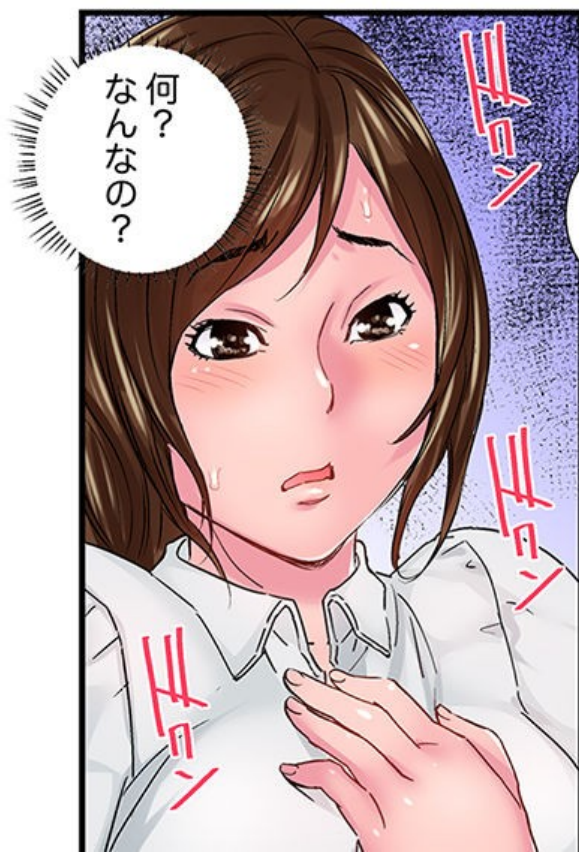
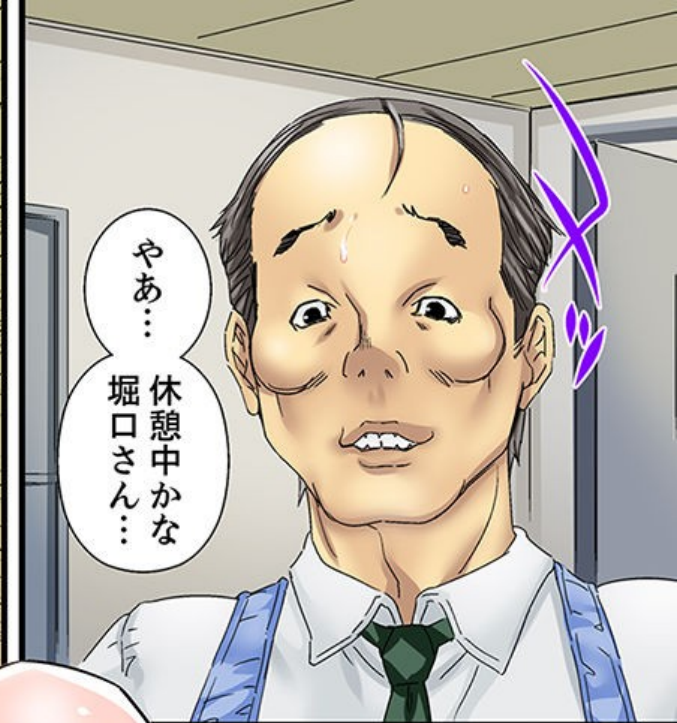


おらおら
もつと
ケツ
振れよ











店長：
まさか
外で聞いて…

どう
しよう



この部屋から
出て行った
男…

いったい
誰なのかな？
ん？



え？
あ…
あれは…



じわ…

もう
これは…
言い逃れの
できる
状況じゃ
ないわ



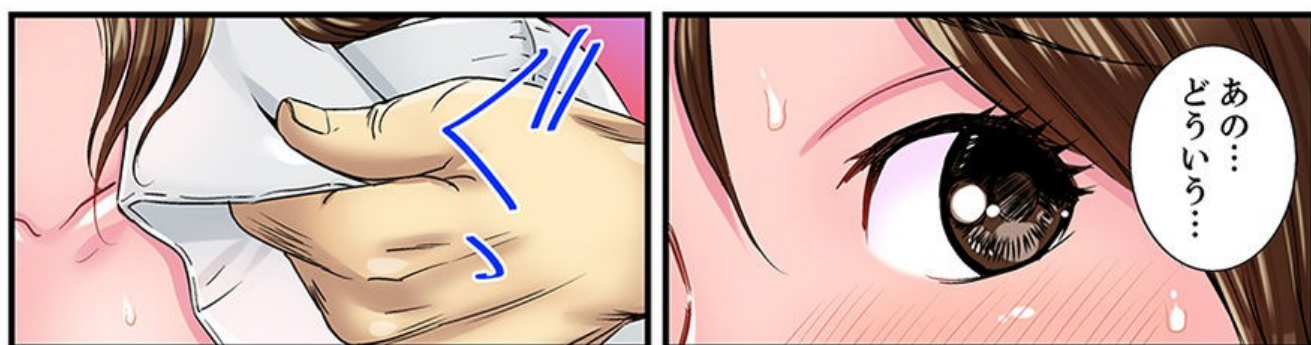
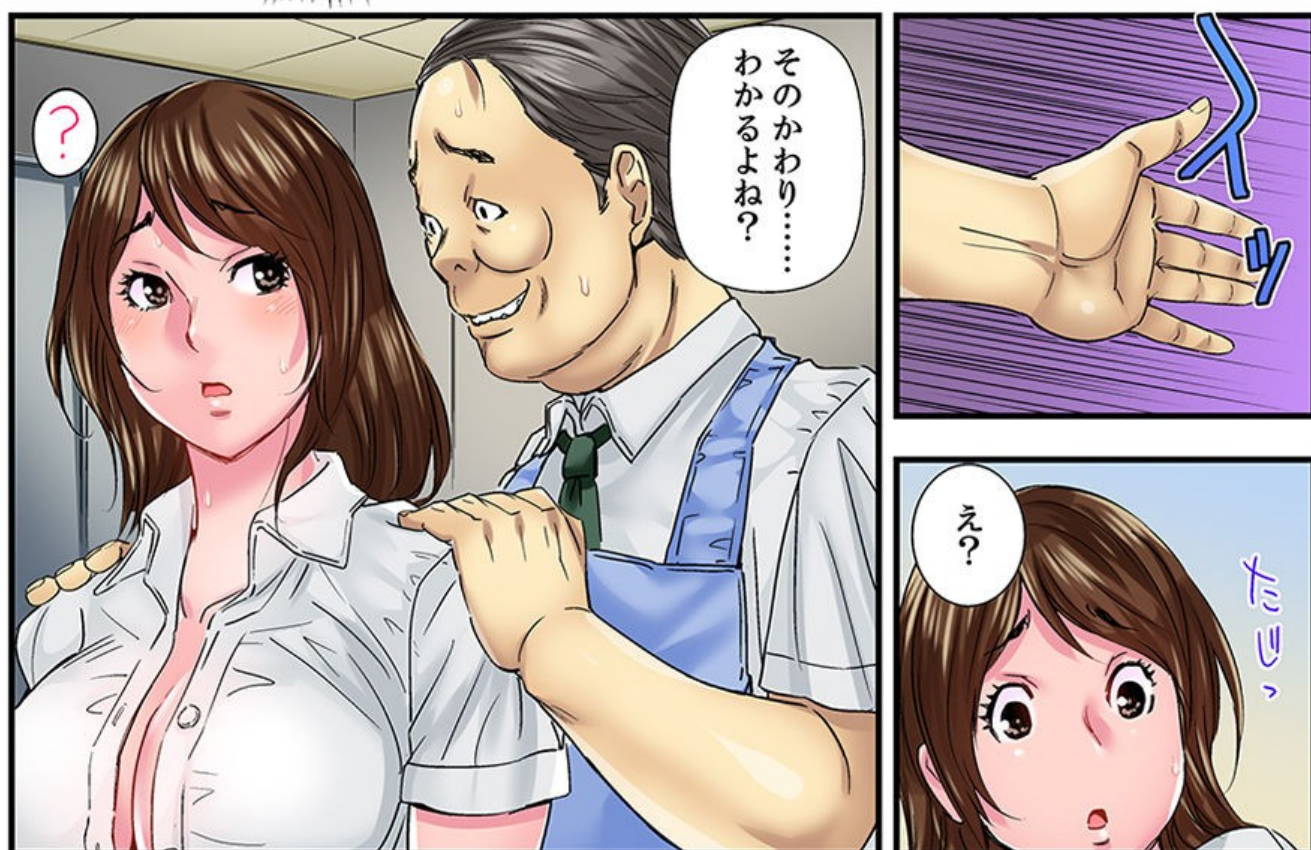
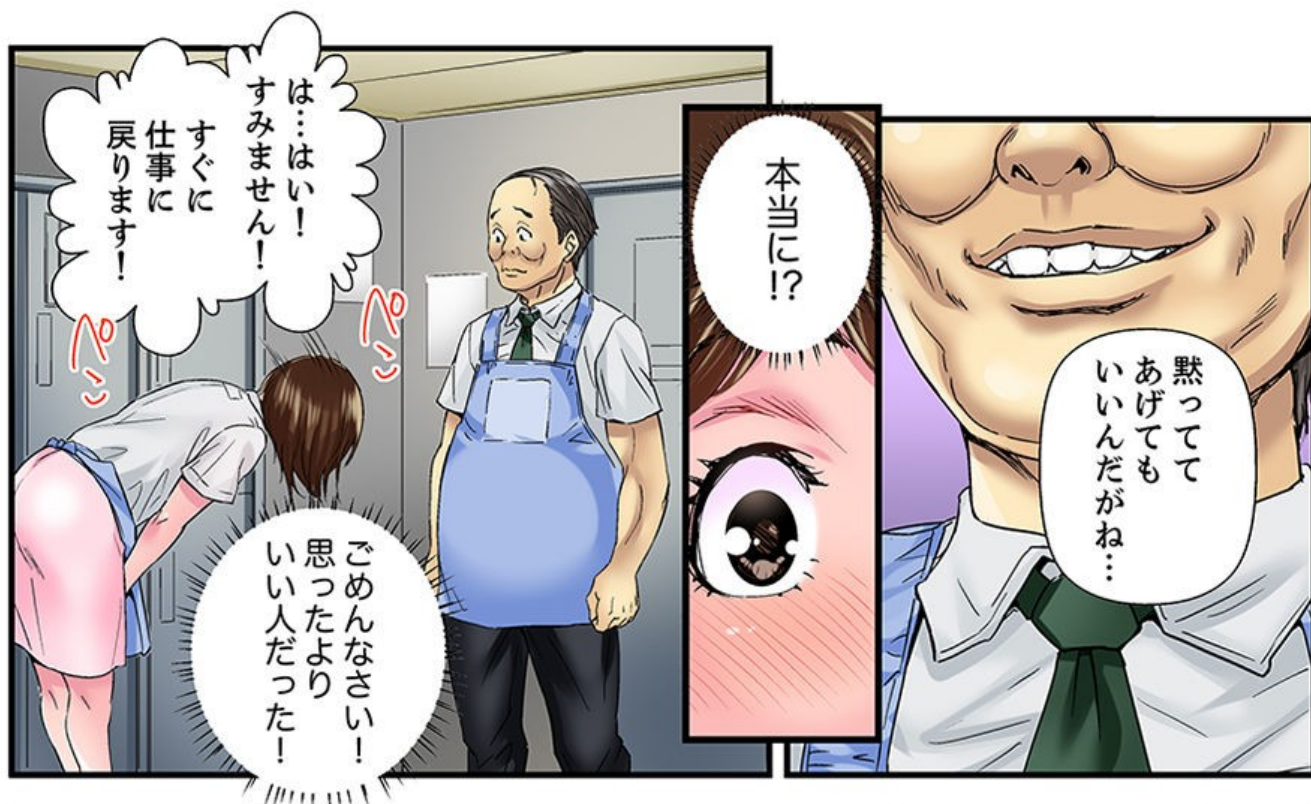
もちろん
旦那さんは
知らないん
だよな？



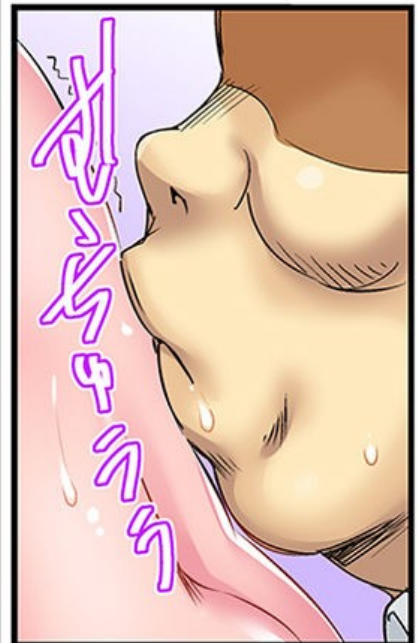
パートさんから
あまり評判の
良くない
店長さん

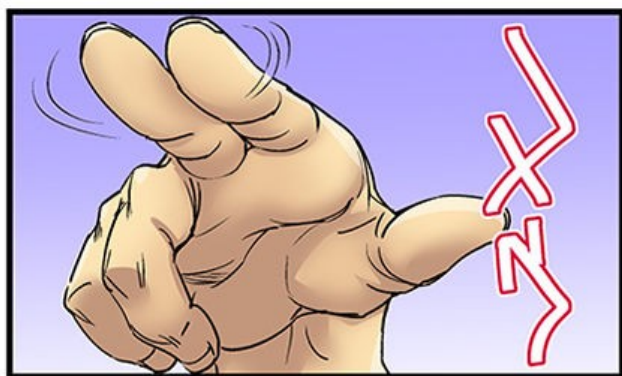
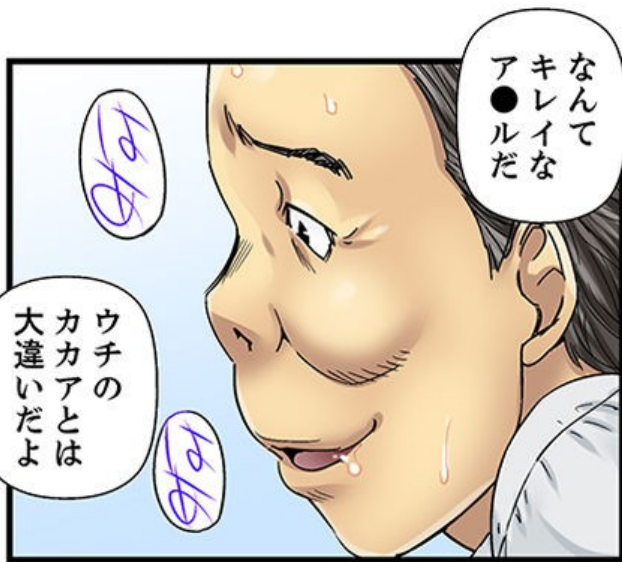
デリカシーが
なくて
威張り散らす
から…

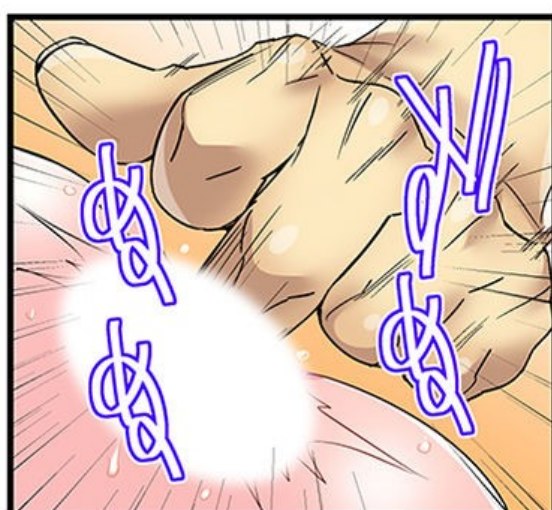
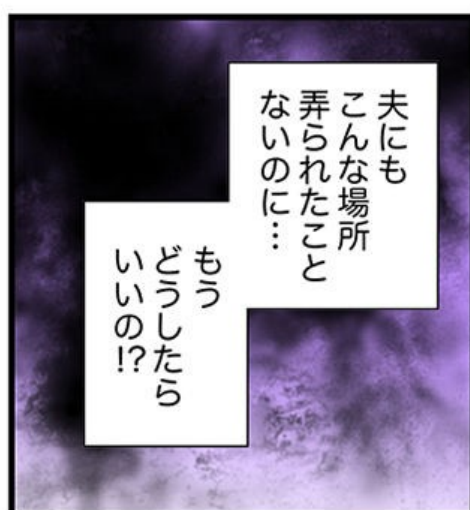
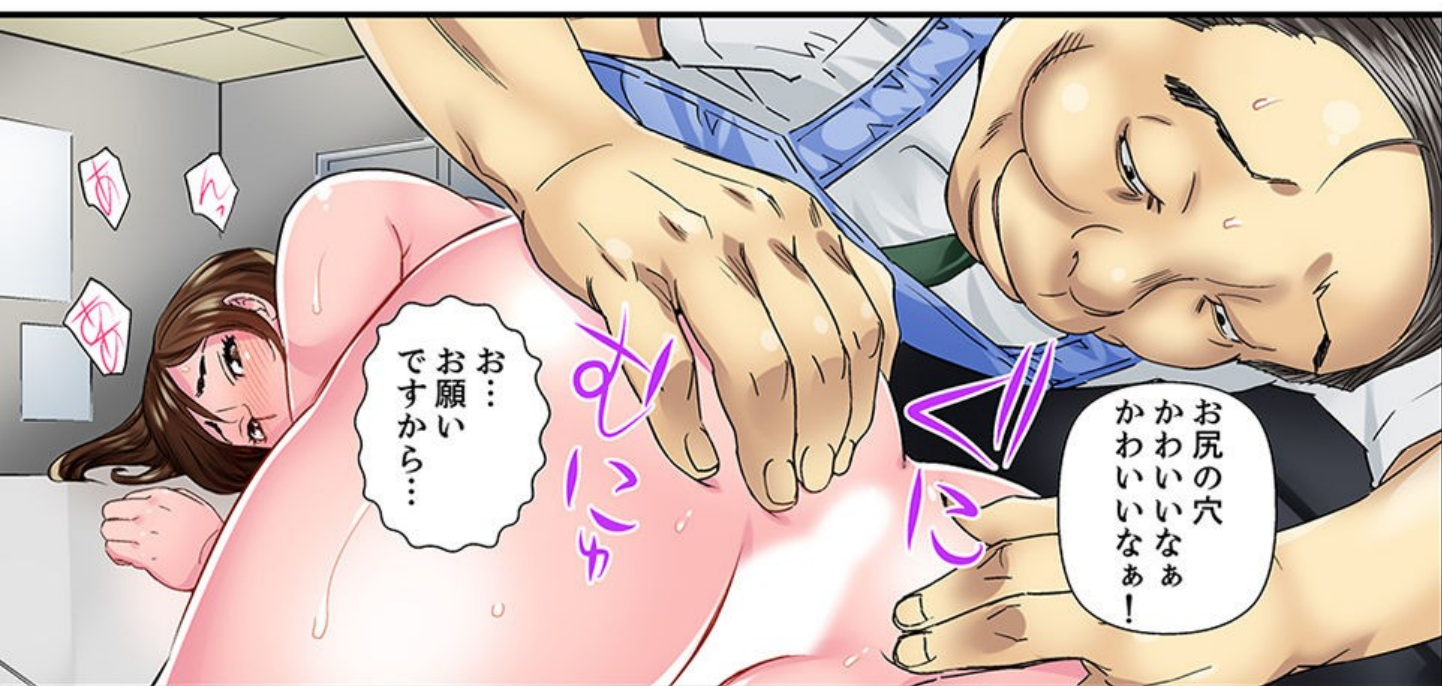
それに
視線が
ちよつと
イヤらしい

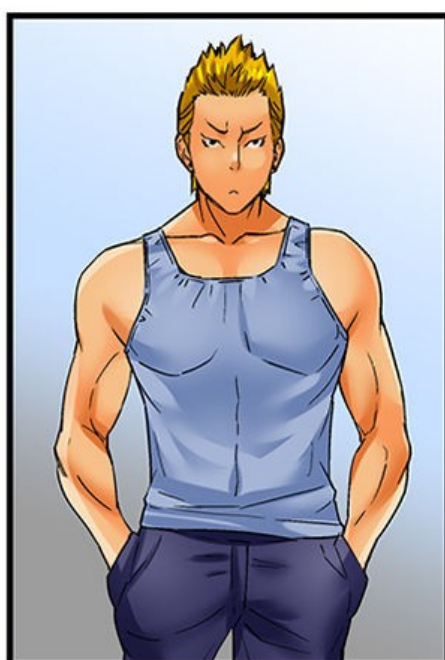


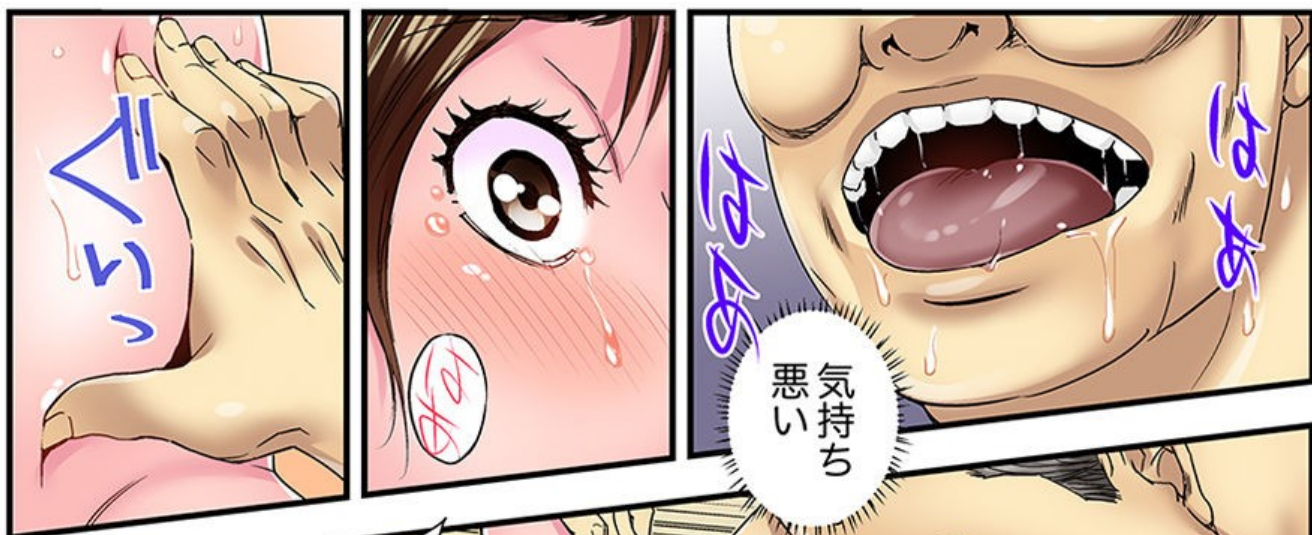












まさか
店長とも

こんなことにな
ってしまっ
たなんて…

あっ！

耐えな
いけな
い

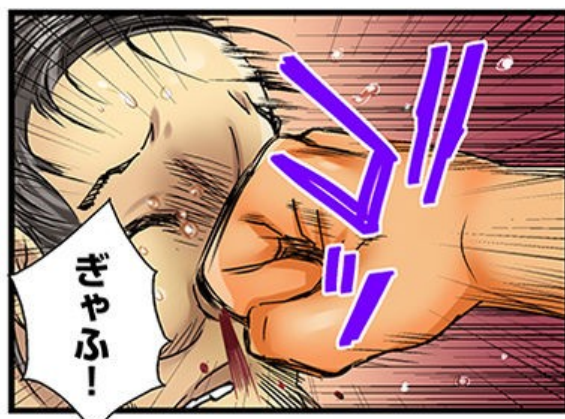
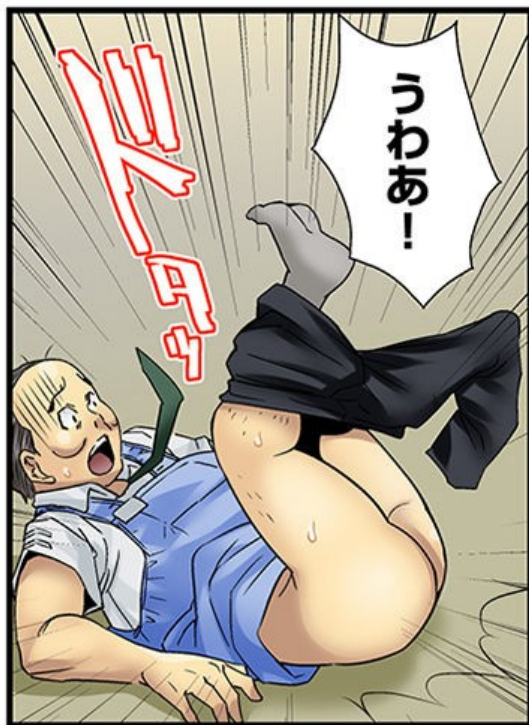
でも…

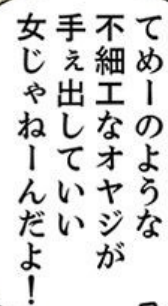
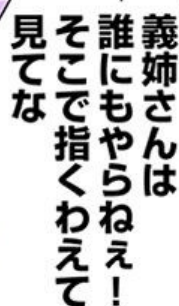
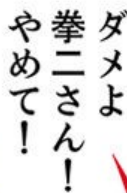
ア
はあ
あ

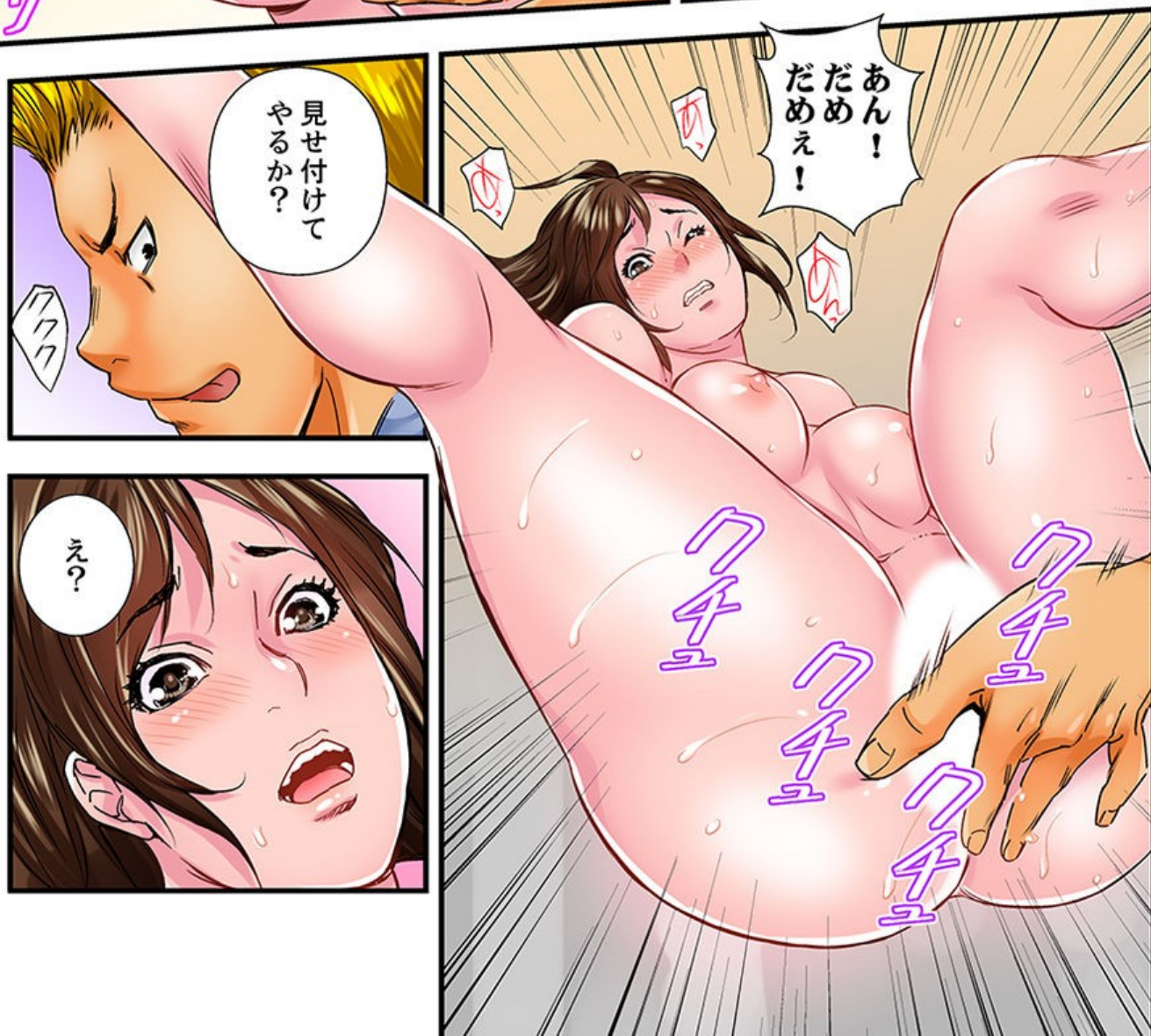
犯され
ちゃう！

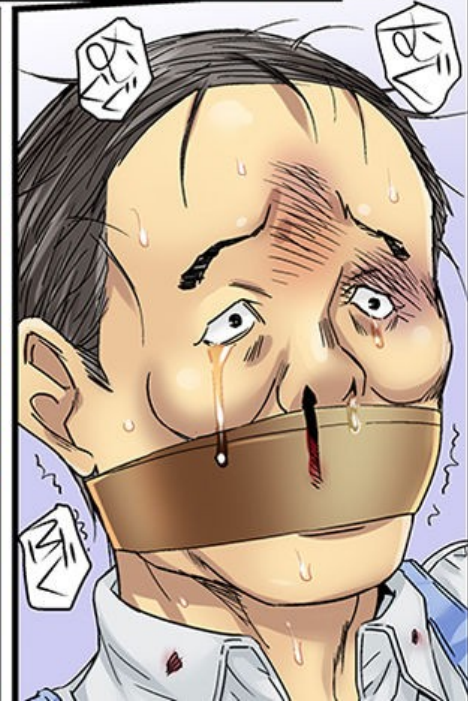
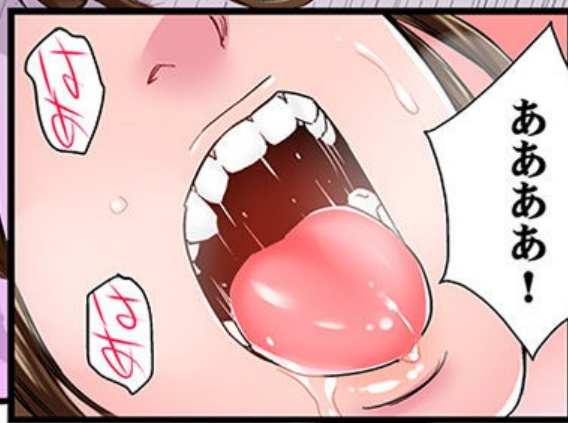
もうだめ…
英樹さん…

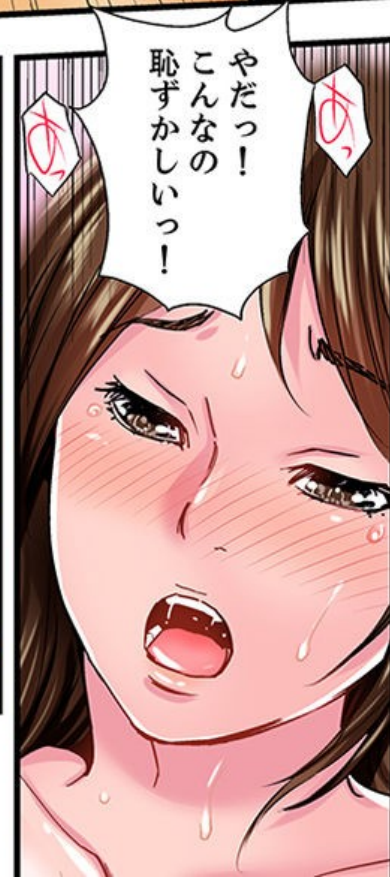
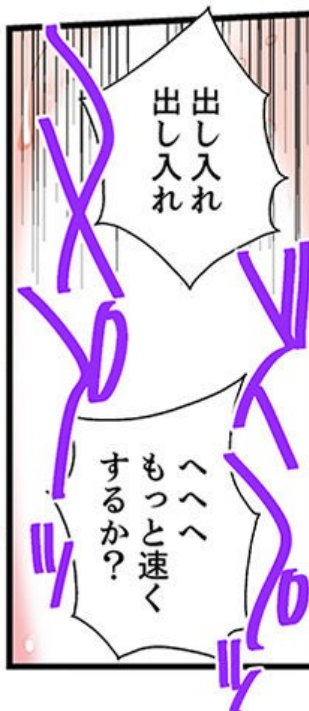
ぐひひ
さあ
入れるぞ













義姉さんも見られて感じてんじゃねーの？

そ…そんなことあるわけ…

うそつけこんなにくるぬるじゃねーか！

そんな…あつ！あつ！

ふぐぐつ



ふははははは！



セクハラオヤジ嬉しいか！

ありがたく拜んでおけよ！

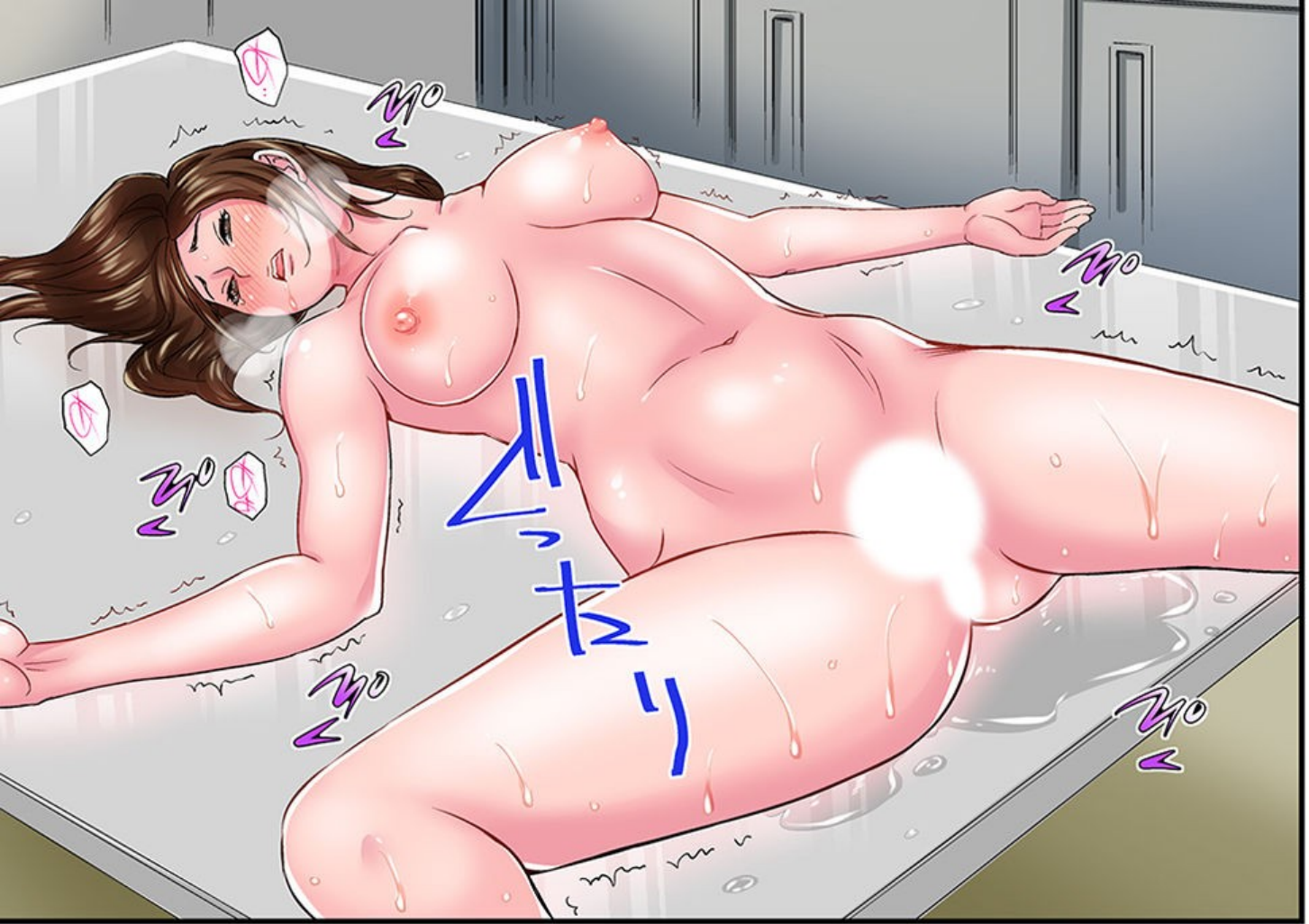


はは！おっさんのチ●ポはち切れそうに勃起してるぜ

どうせ仕事中でも義姉さんのことスケベな目で見てたんだろああん！

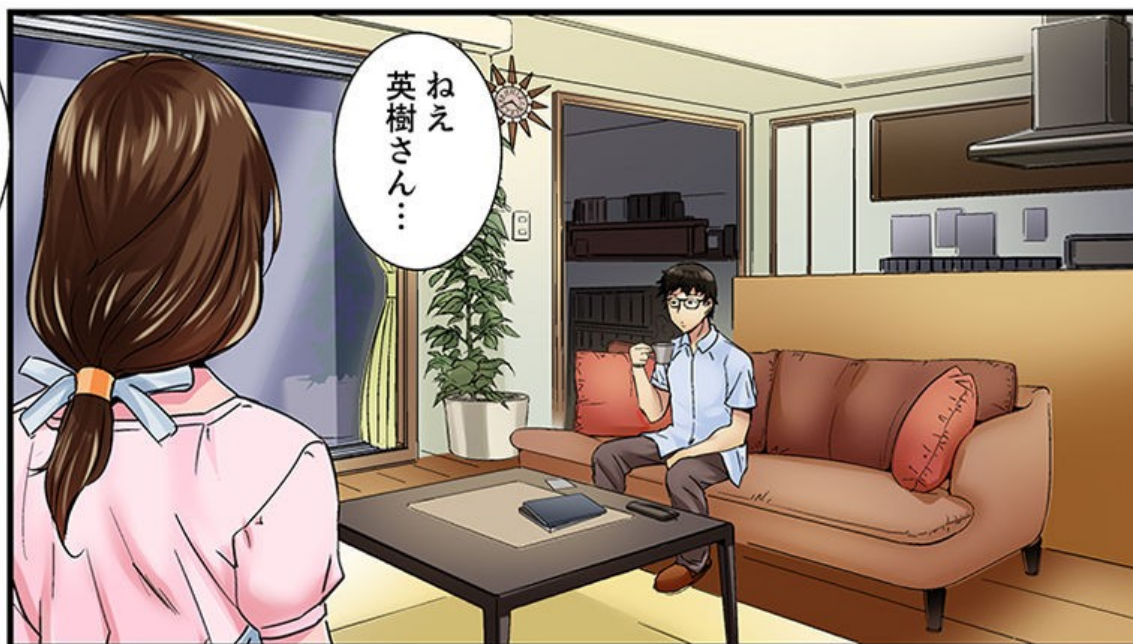








わたし暫く
パートやめて
みようかと
思うの…



ねえ
英樹さん…



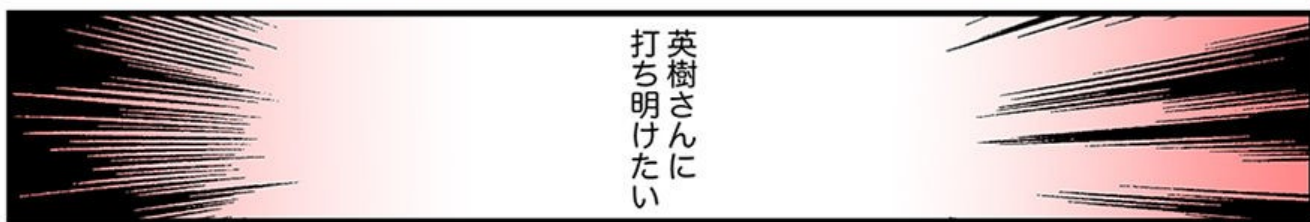
ごめんなさい
少しでも
ローンの足しに
なればと思って
始めたのに…



そっか
悠子がそう
したいんなら
いいんじゃないかな
拳二たちも
居る
ことだしね



ほら最近
家事が
おろそかに
なっちゃって
るし…



英樹さんに
打ち明けたい



サシッ
サシッ
サシッ



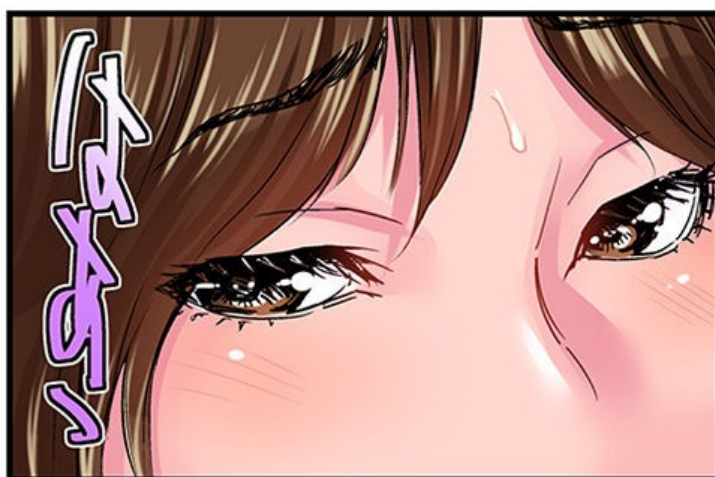
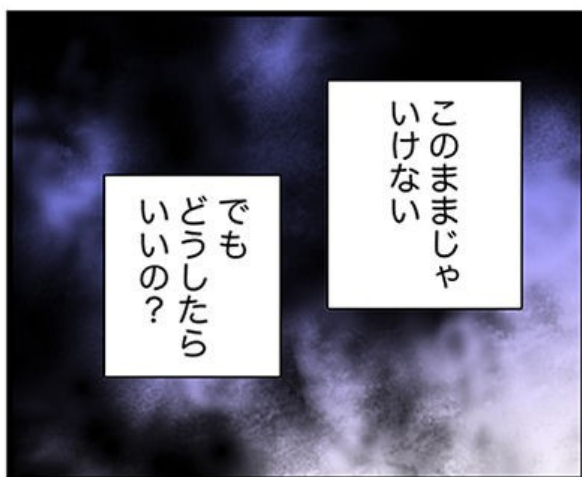
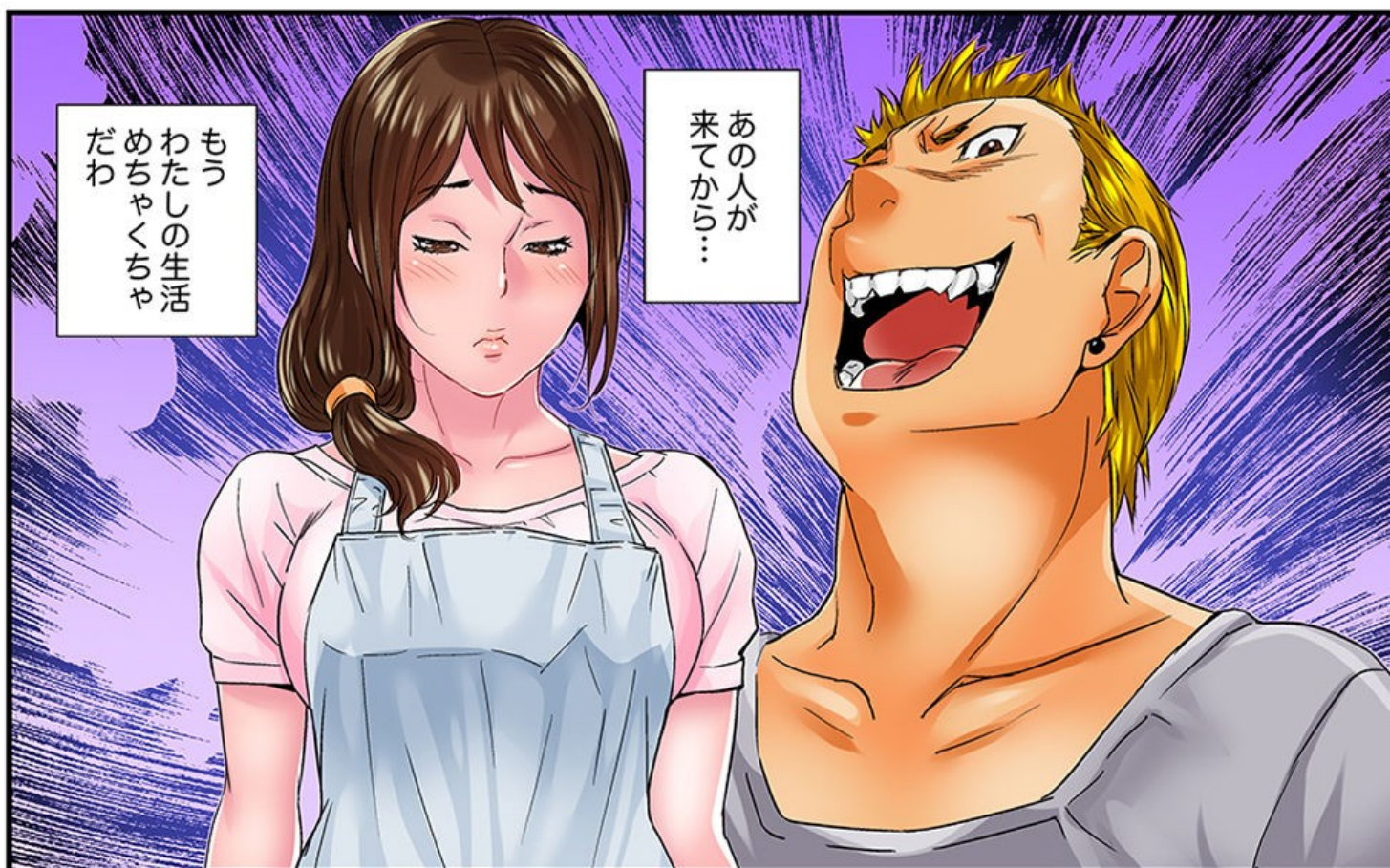
だけど
言えない
言う自信が
ない…
今の生活が
壊れて
しまふのが
怖い



逃げ場だった
パート先にさえ
行けなく
なったこと

何度も関係が
続いてしまっ
ていること





♥ To be continued ♥





ドキドキの数だけ
エッチがある



かわいい女の子に心も体も満たされて…♡



たっぷりドキドキ

めしあがれ♡

Hな大人のための電子コミック

エロマンガ島

新作・人気作が大好評配信中!



私、義弟のアレで…感じてる！
～兄貴よりデカくていいだろ？
【完全版】 1

発行日 2019年 10月 1日

著者 市井時計

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。